

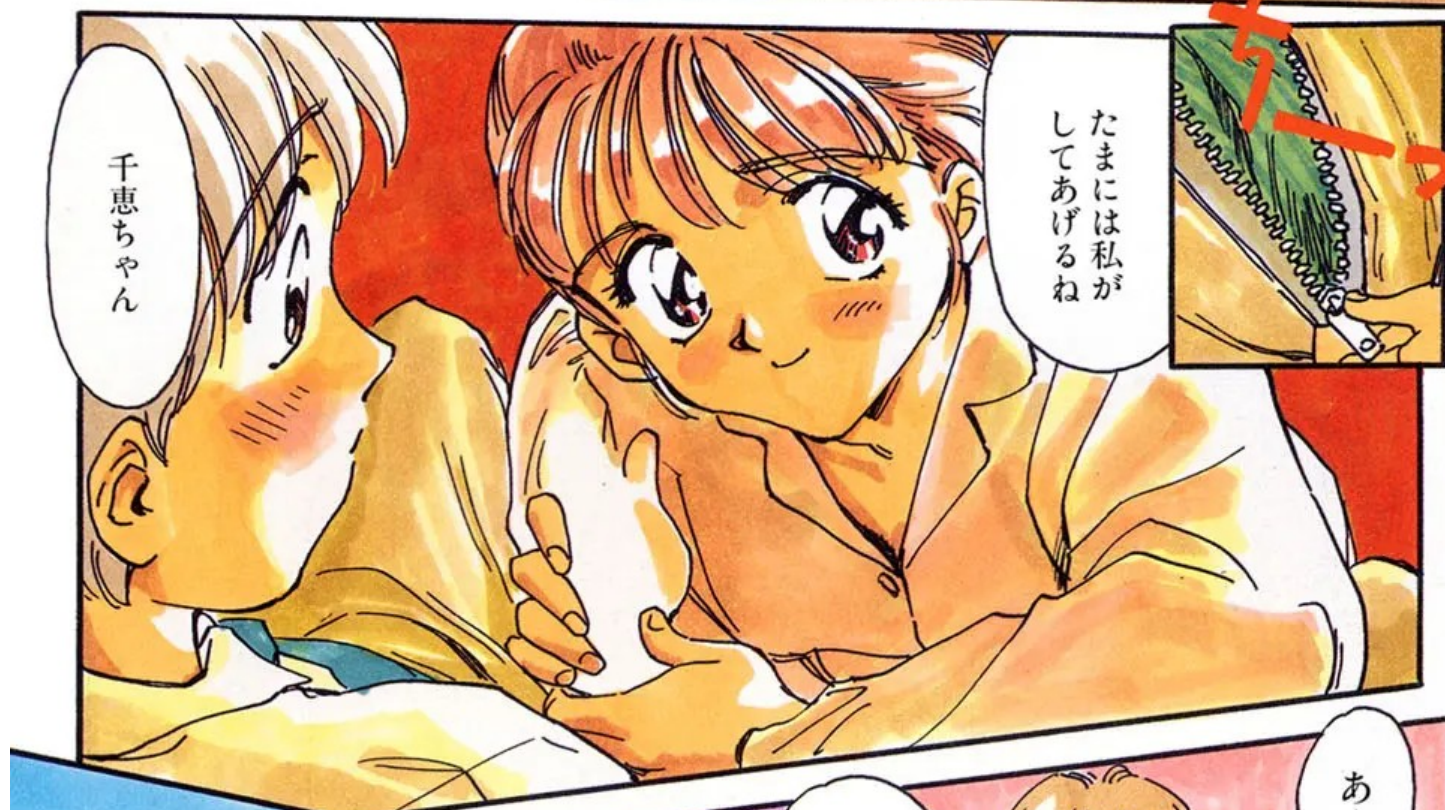
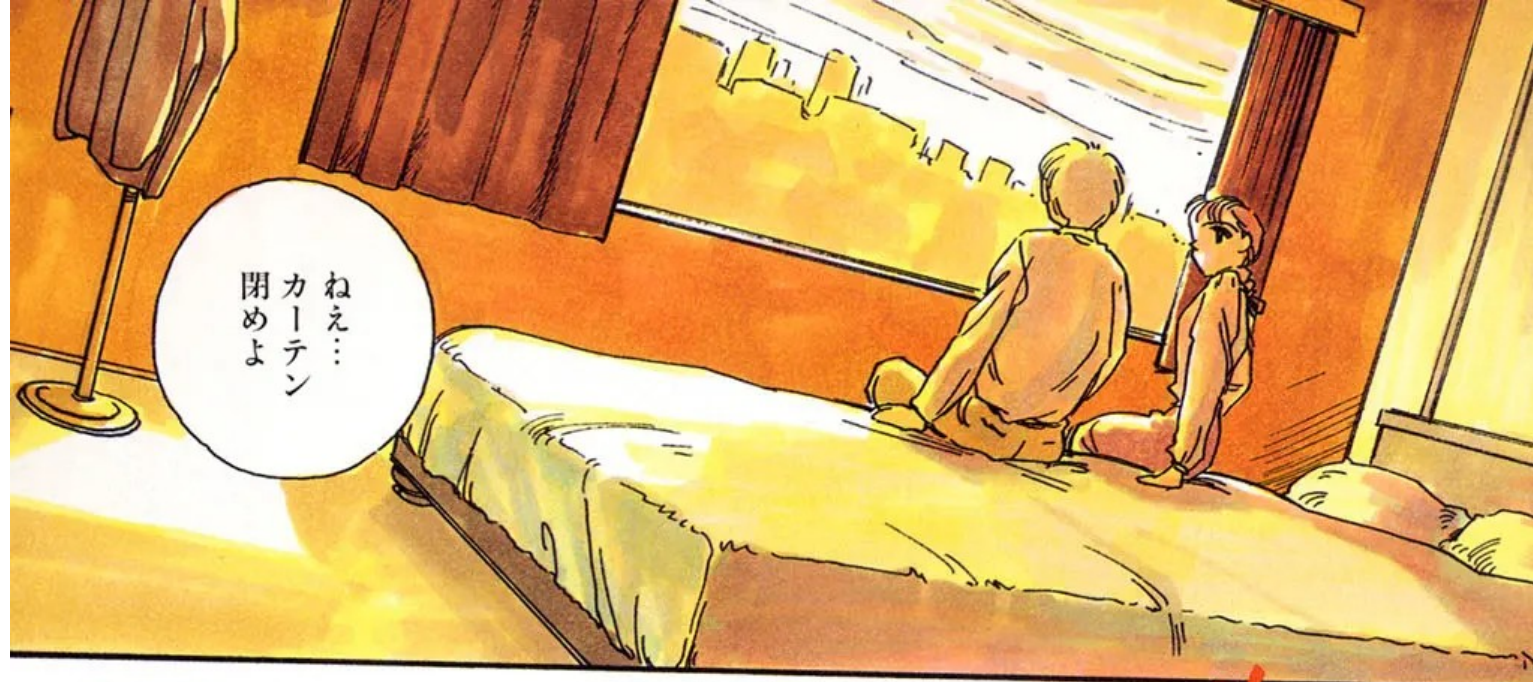
My Life As

すえひろがり

1

成年
コミック



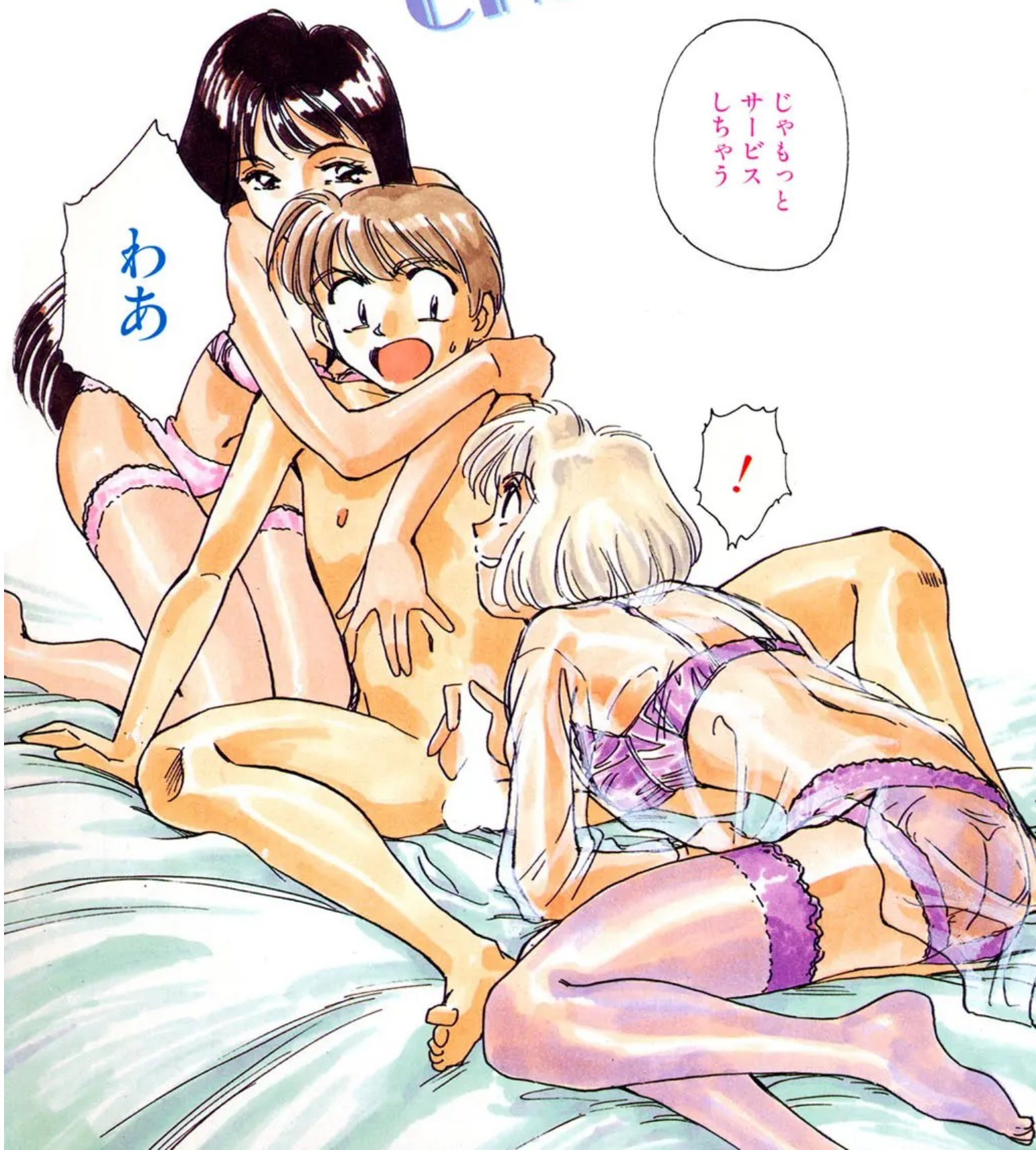


MY LIFE AS A CHICKEN #1

じゃもつと
サービス
しちゃう

わあ

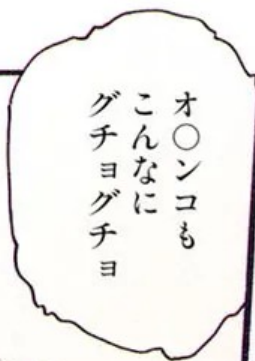
!





かわいい
おっぱいね

ふにゅ
え

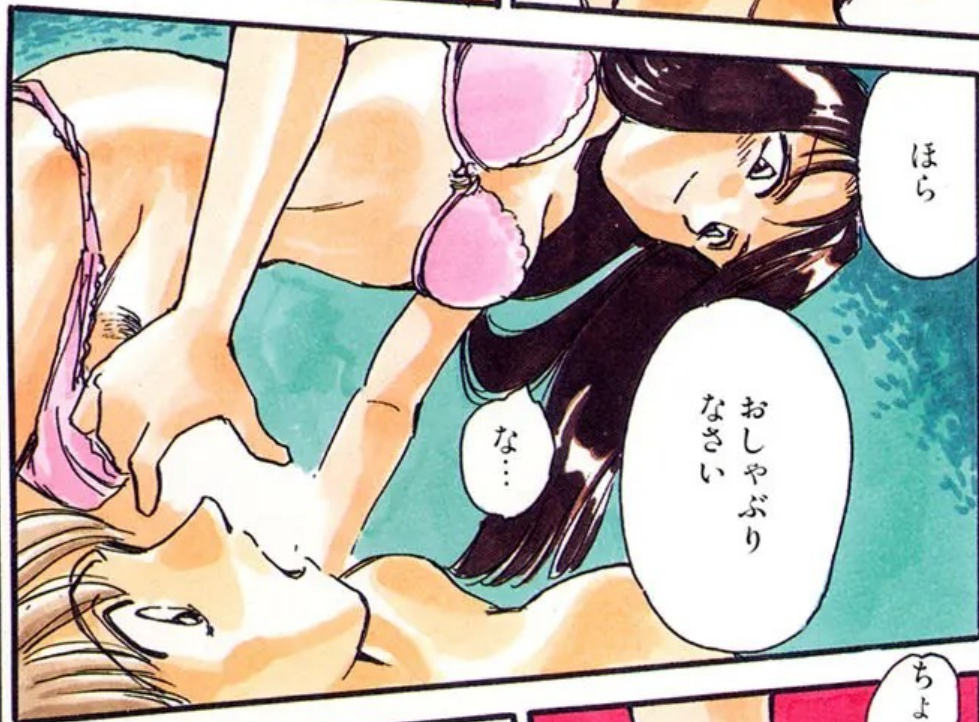


オ○ンコも
こんなに
グチヨグチヨ



え…
梨乃さん
文さん

ふにゅ



ほら

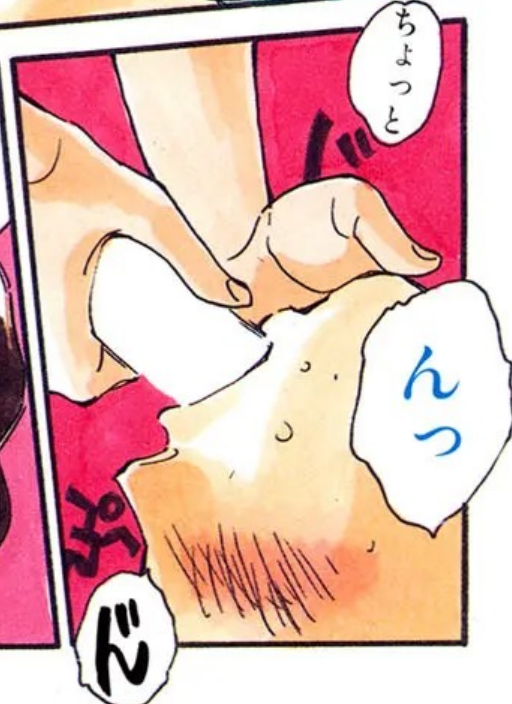
おしゃぶり
なさい

な…



うん…
そう

とっても
いいよオ



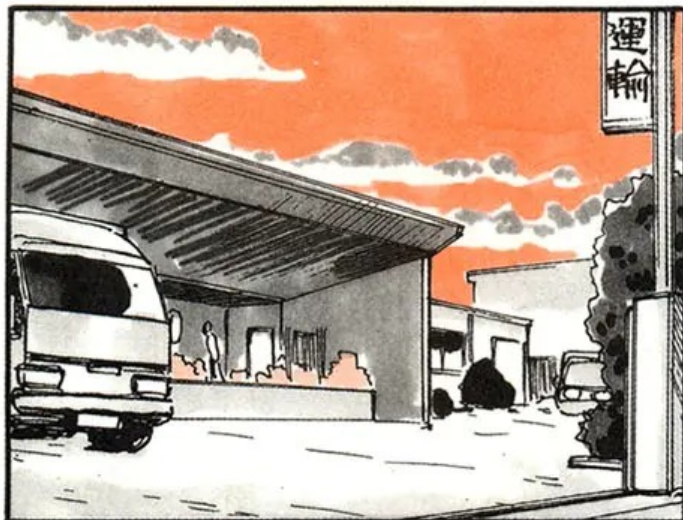
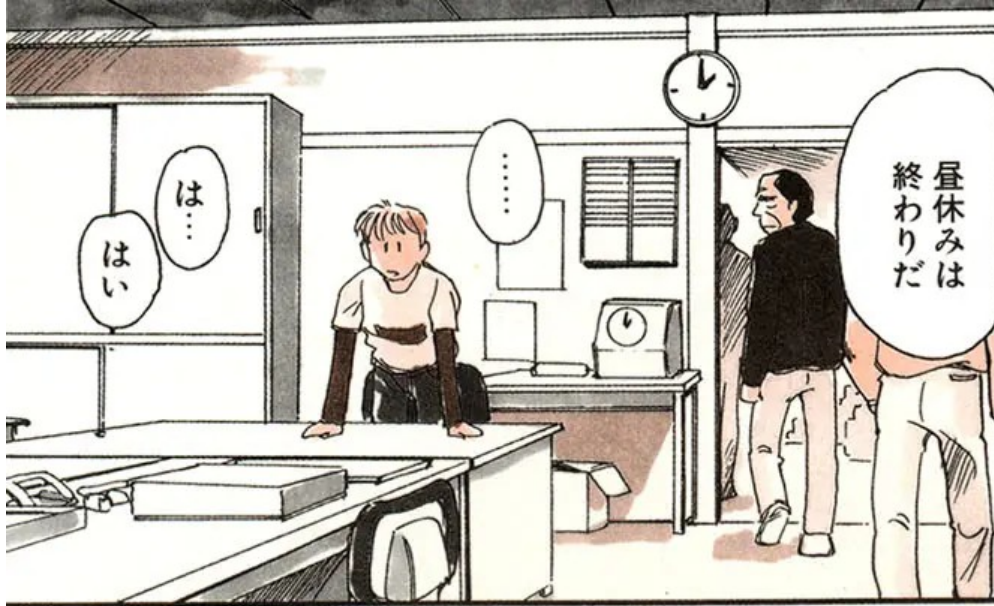
ちよっと

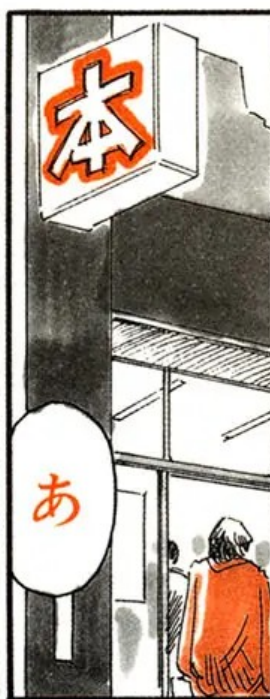
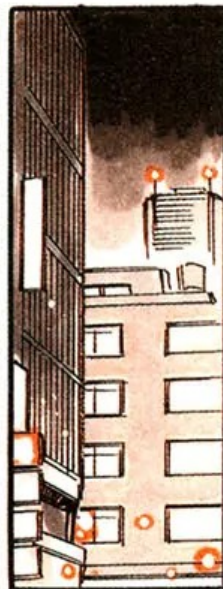
んっ

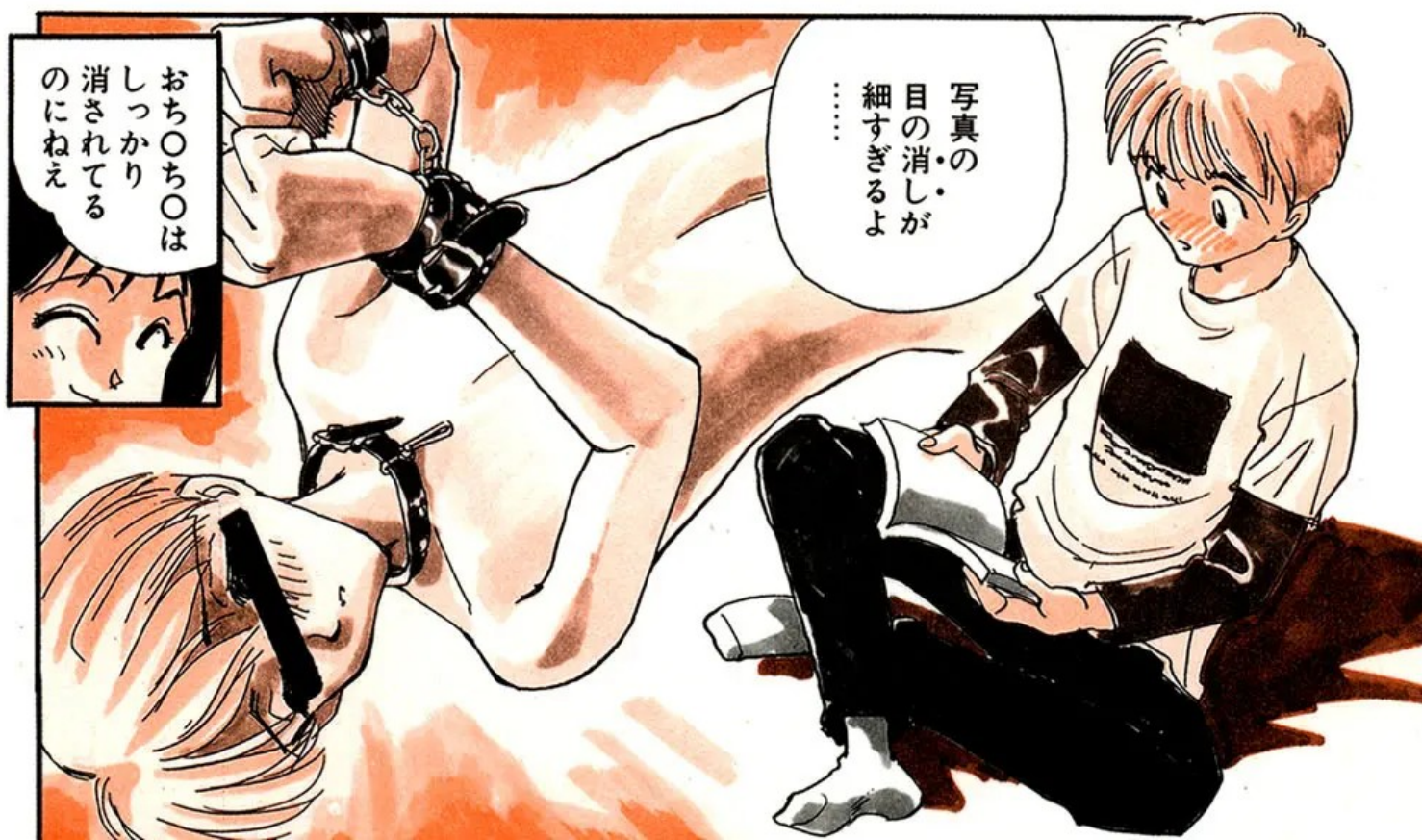
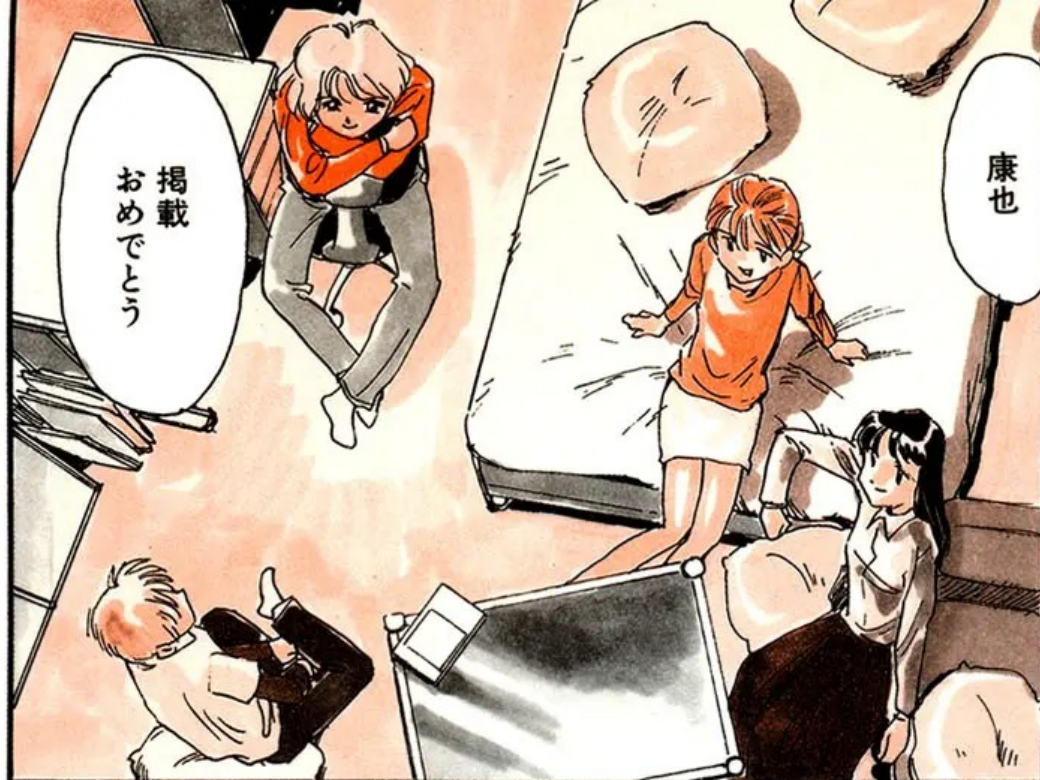
びん



串ざしに
してあげる







知ってる人が
見たら僕だって
わかつちやうよ

日本中に
知られちゃった
じゃん

どーするん？
外歩けないよ

よかったね
康也

よか
ないよっ

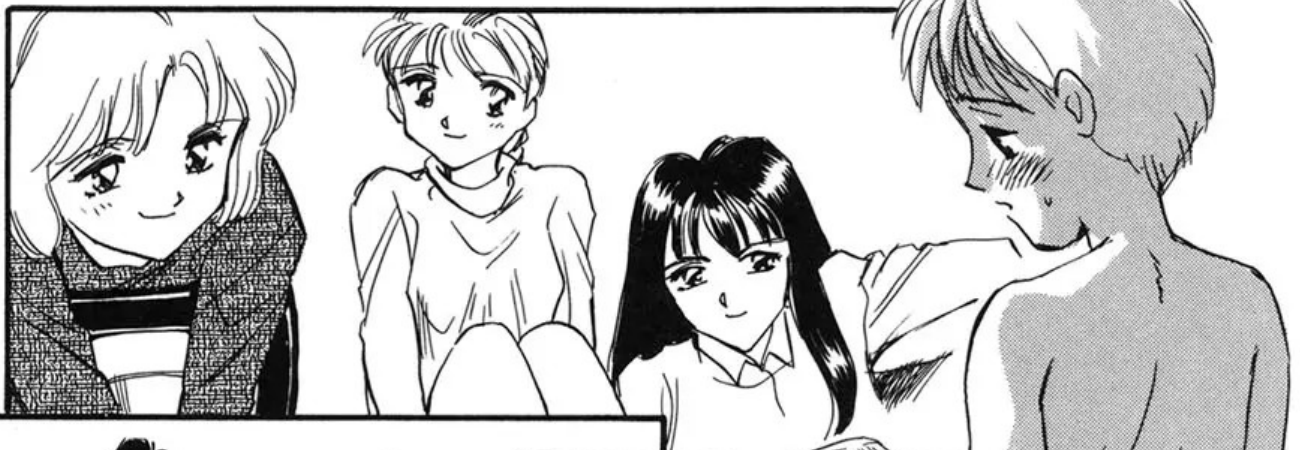
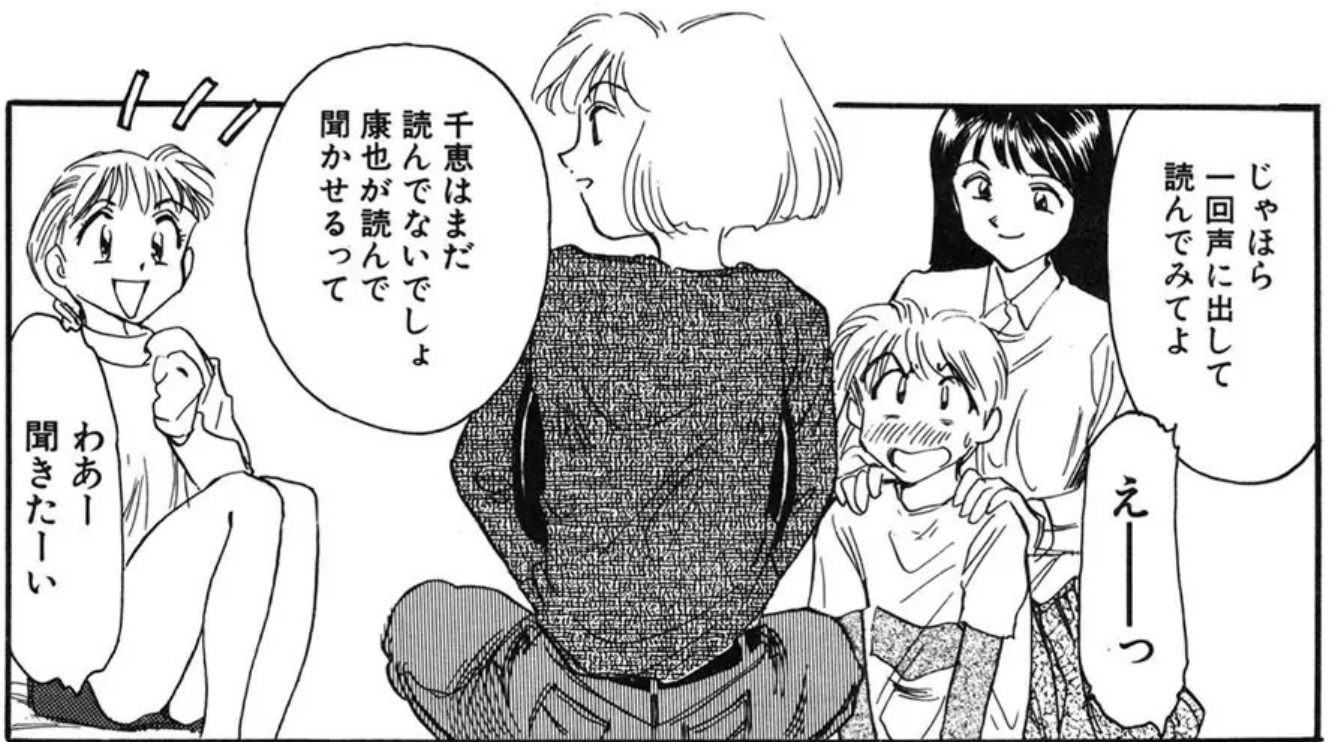
うれしい
くせにーっ

さつきから
目がうるうる
してる

うれしい
でしょお

一生懸命書いた
文章だもんねー

そ…そう
だけど…



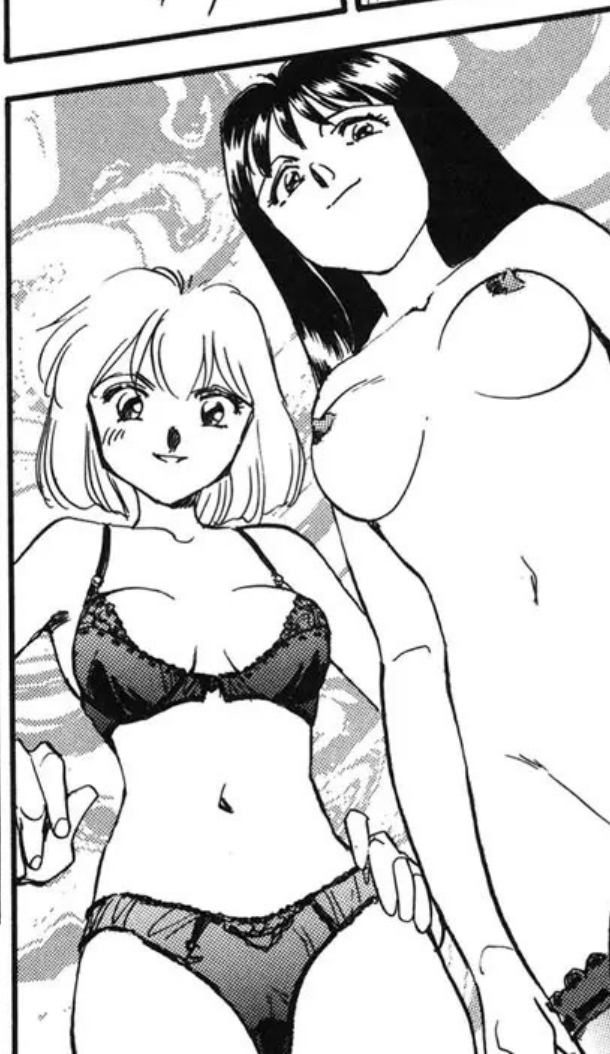
僕は父親と一緒に
住んでいましたが
乱暴な父が嫌になり
半年前に家出しました

…こうして僕は
バイトをしながら
RさんとFさんと
三人で暮らす
ことになりました

…友達とも別居してた
母にも頼らず公園で
寝泊まりするような生活を
一週間くらい続けたあと
二人の女子大生に拾われました

…その日はそれまでの
Hとは様子が
違ってました

足で踏まれて
射精したとき
男として情けない
と思いつつも
脳がしびれた
ようになり
抵抗する力が
なくなっていました



そして二人を
ご主人様と呼ぶことに
不思議な興奮を
感じていました…

…バイト先の喫茶店で
仲良くなったＣちゃんは
偶然にもご主人様の
後輩でした……

僕は恥ずかしくて
顔を上げられ
ませんでした

画面からは
お尻をたたく音と
その回数を数える
僕の声が……

こいつの本性を
教えてあげないと

…そう言って
ご主人様はビデオの
再生ボタンを押しました

あ

ちちゃんが
ひとときわ高く
僕の名を呼んで
腰をがくがく
ふるわせました

気付いたときには僕も
宙に射精していました

父と暮らしてたときより
今の方が全然幸せです
もう親の元へは一生
戻らないと思います



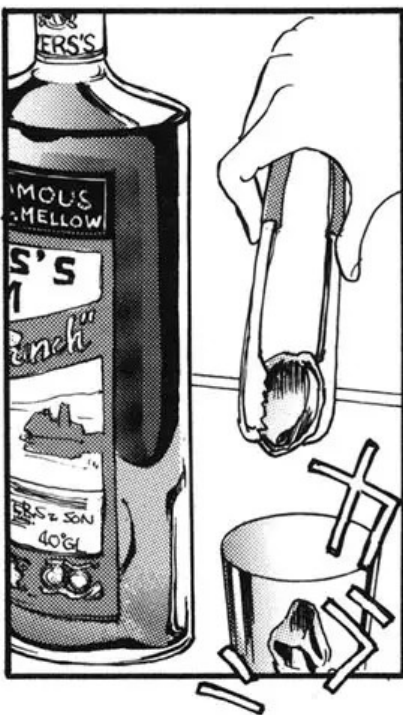


—その晩僕は
久しぶりに
御主人様と
千恵ちゃん
の中に入れた

都合四回出して
三回お尻に
入れられた

何回目だったか
いくときに耳元で
梨乃さんと文さんが
ずっと一緒だよって
ささやいた

僕はその言葉を
疑わなかった



幸せそーな
カオしてるわ

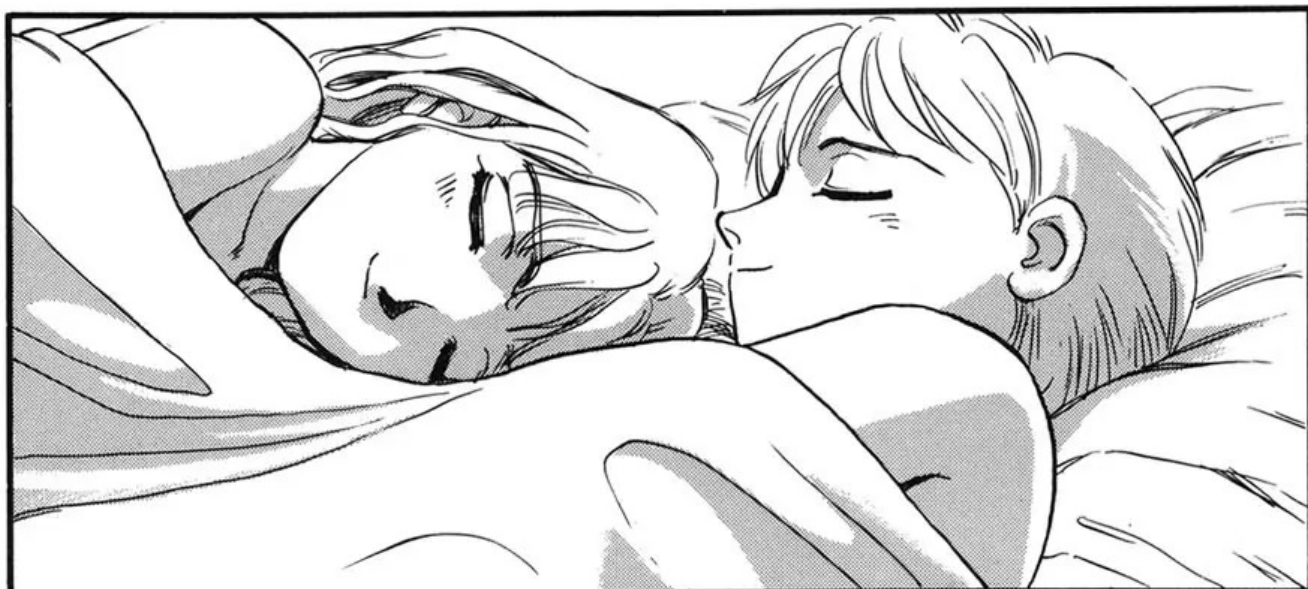
あの子…
あたしたちに
家出の経緯を
しゃべったとき
気が楽になった
って言ってた

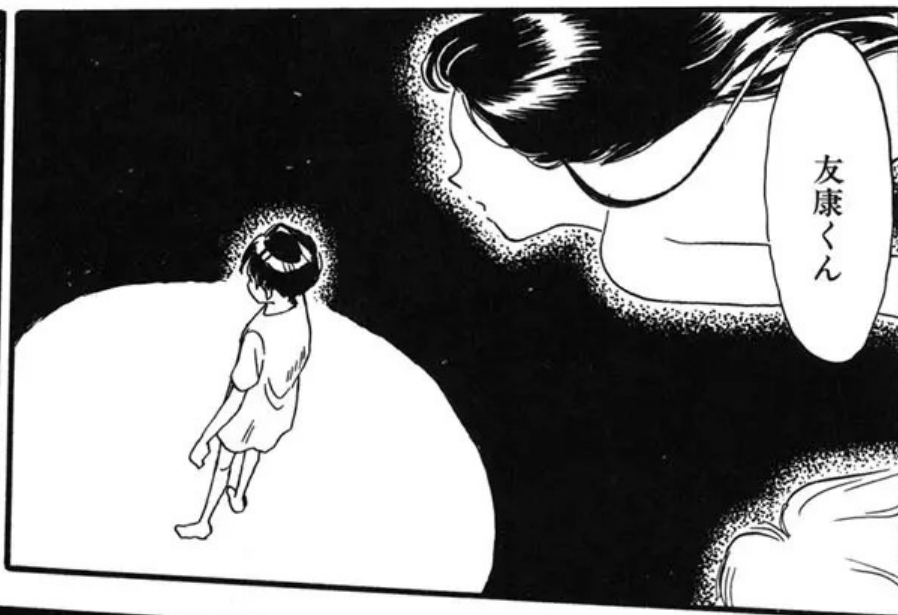
きつと文章に
することでも
心の整理が
ついたはずよね

まったく
あたしたちが
カウンセリング
してるような
もんだわ

でも…結局
家出の本当の
理由は
書かなかったね

……

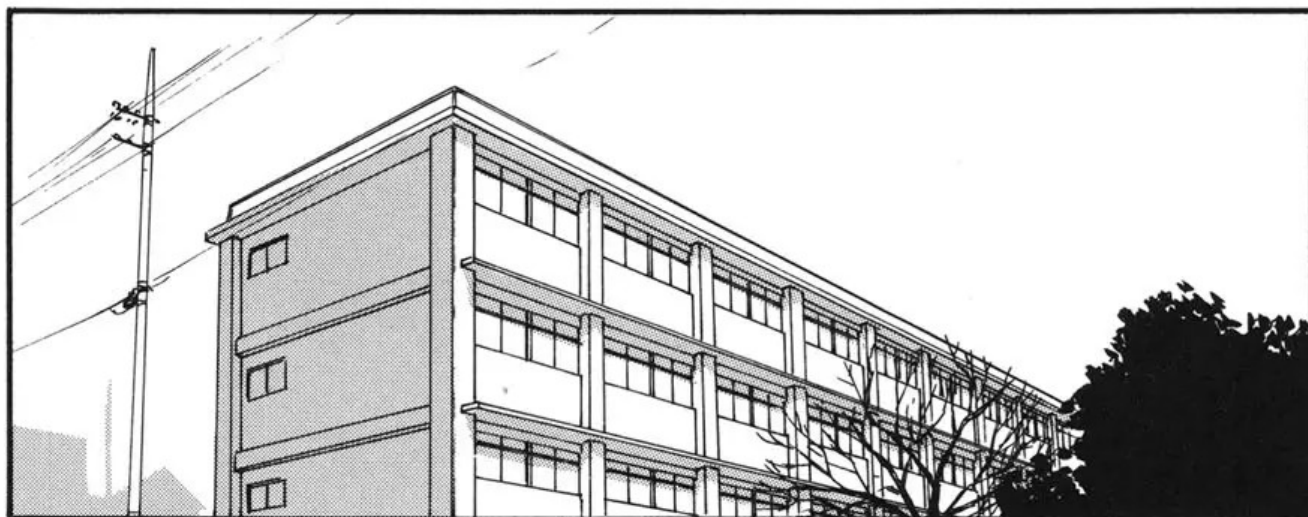




MY LIFE AS A CHICKEN #2

会えたら
いっぱい
かーいがつて
あげる♡



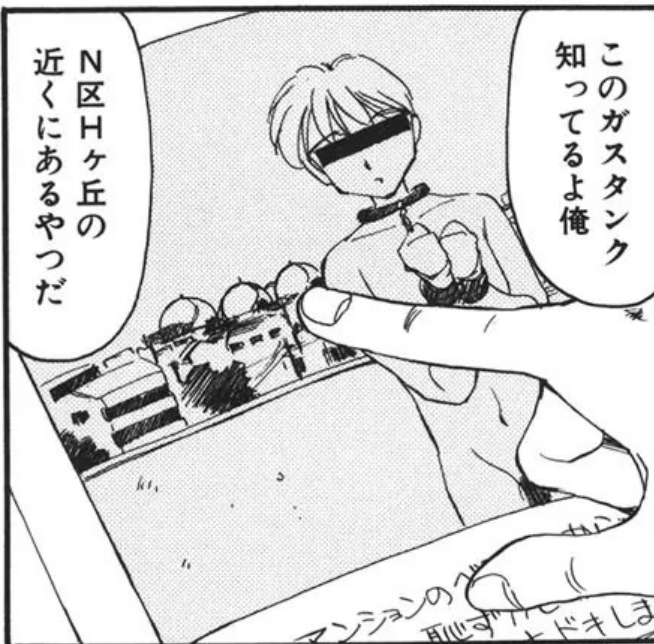








N区Hヶ丘の
近くにあるやつだ



このガスタンク
知ってるよ俺



あのさほら
ここ見ろよ

ここ



やべ

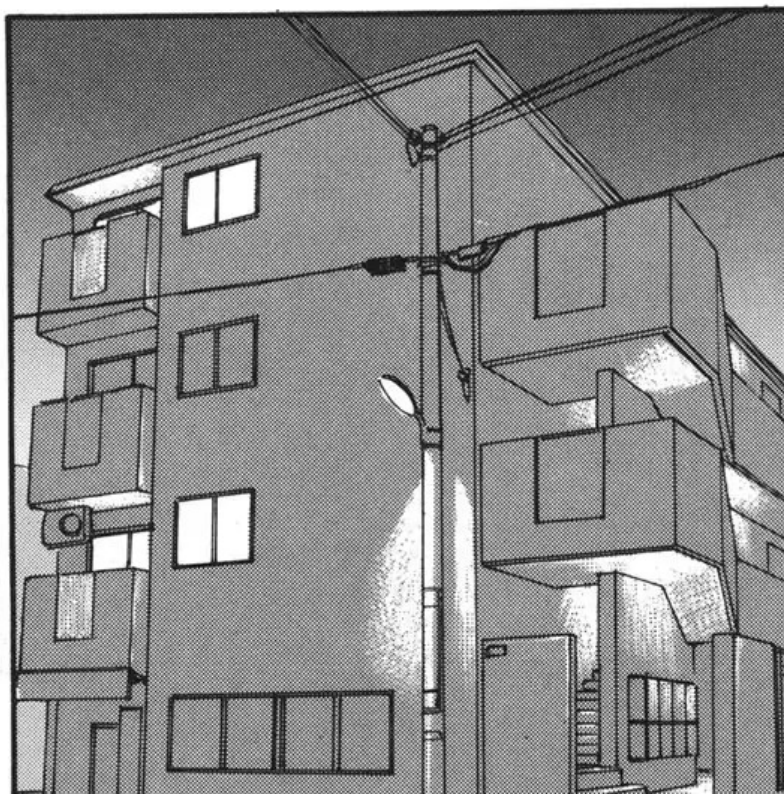
おらー席に
つかんかー

じゃな
ミサト

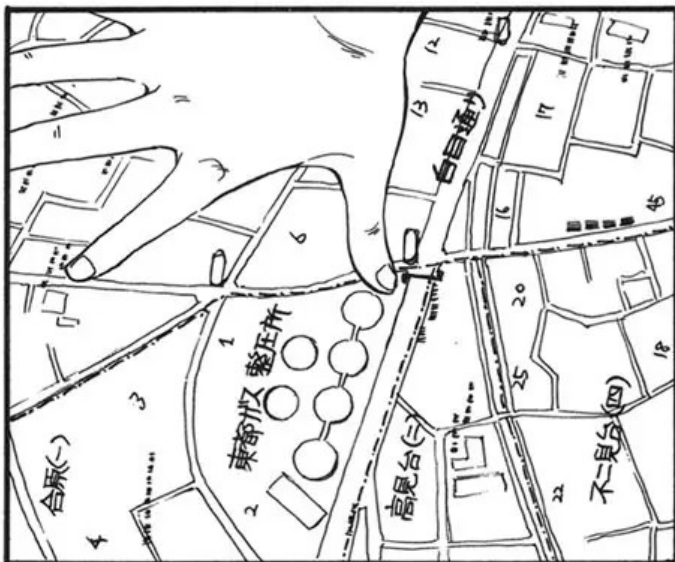
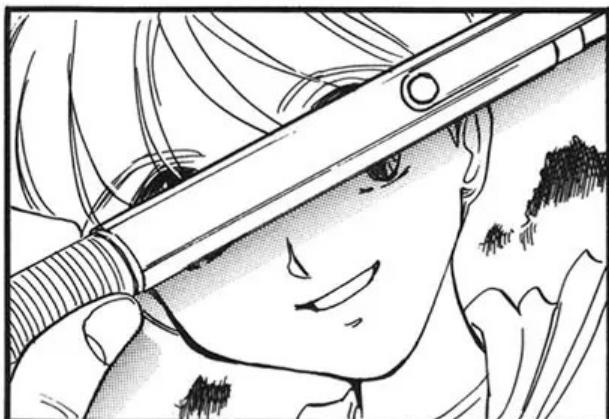
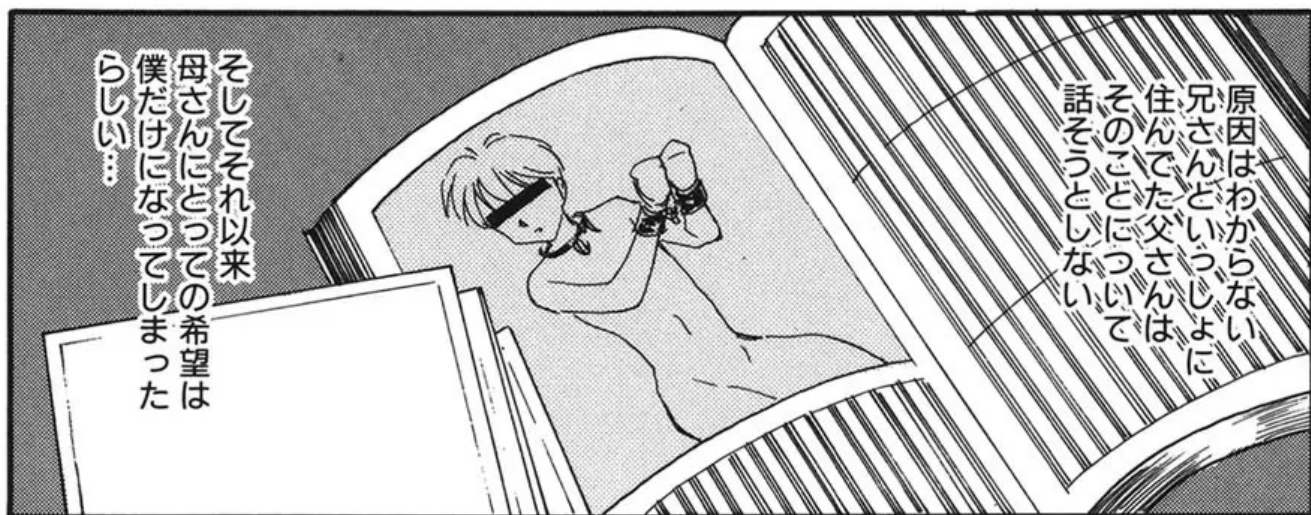


昔友達んちが
そばにあって
よく行ったん
だよな

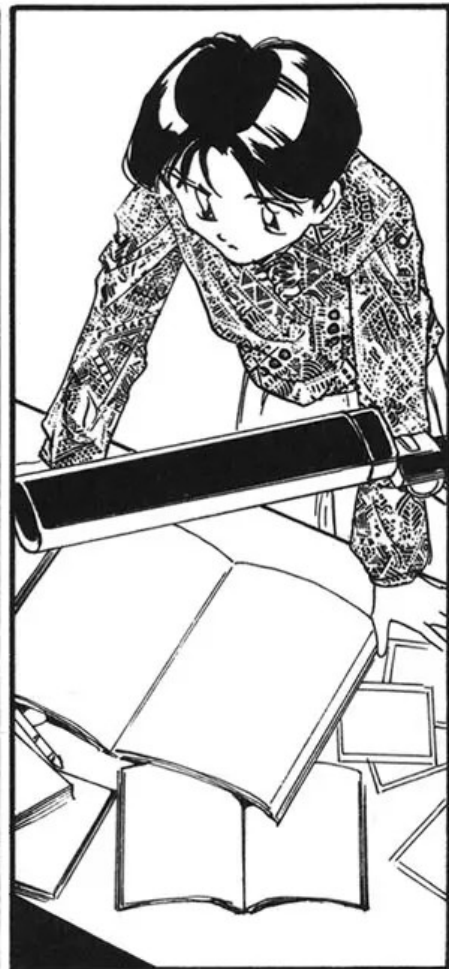
この写真
あぶねーよ
住所割れちゃうん
じゃねーのこの人

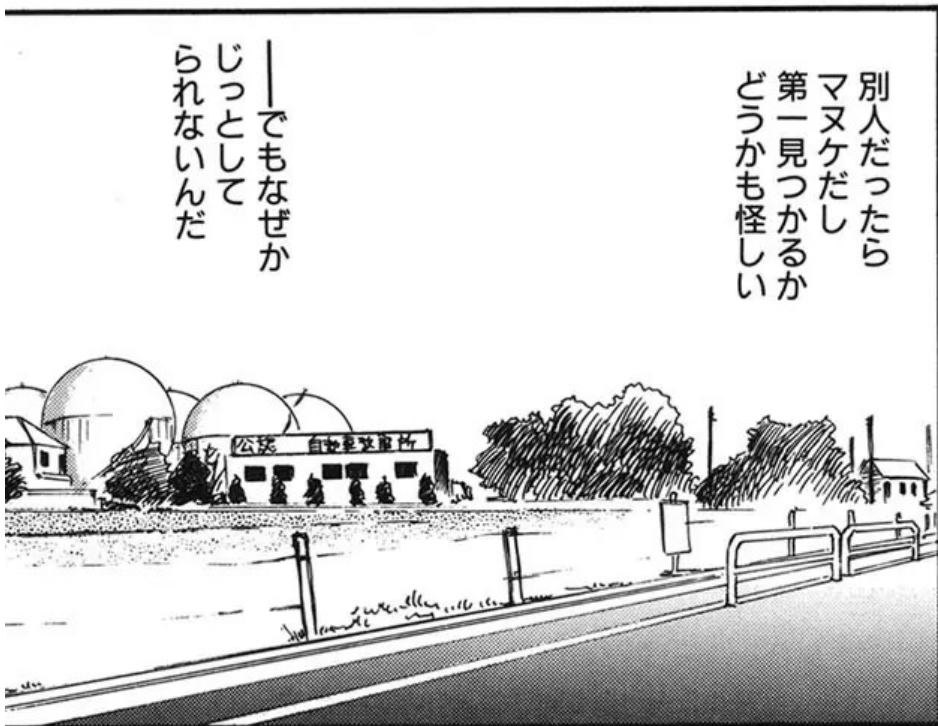
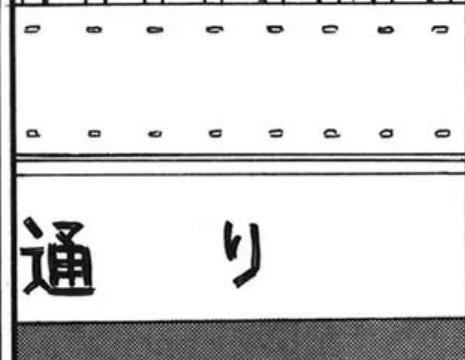


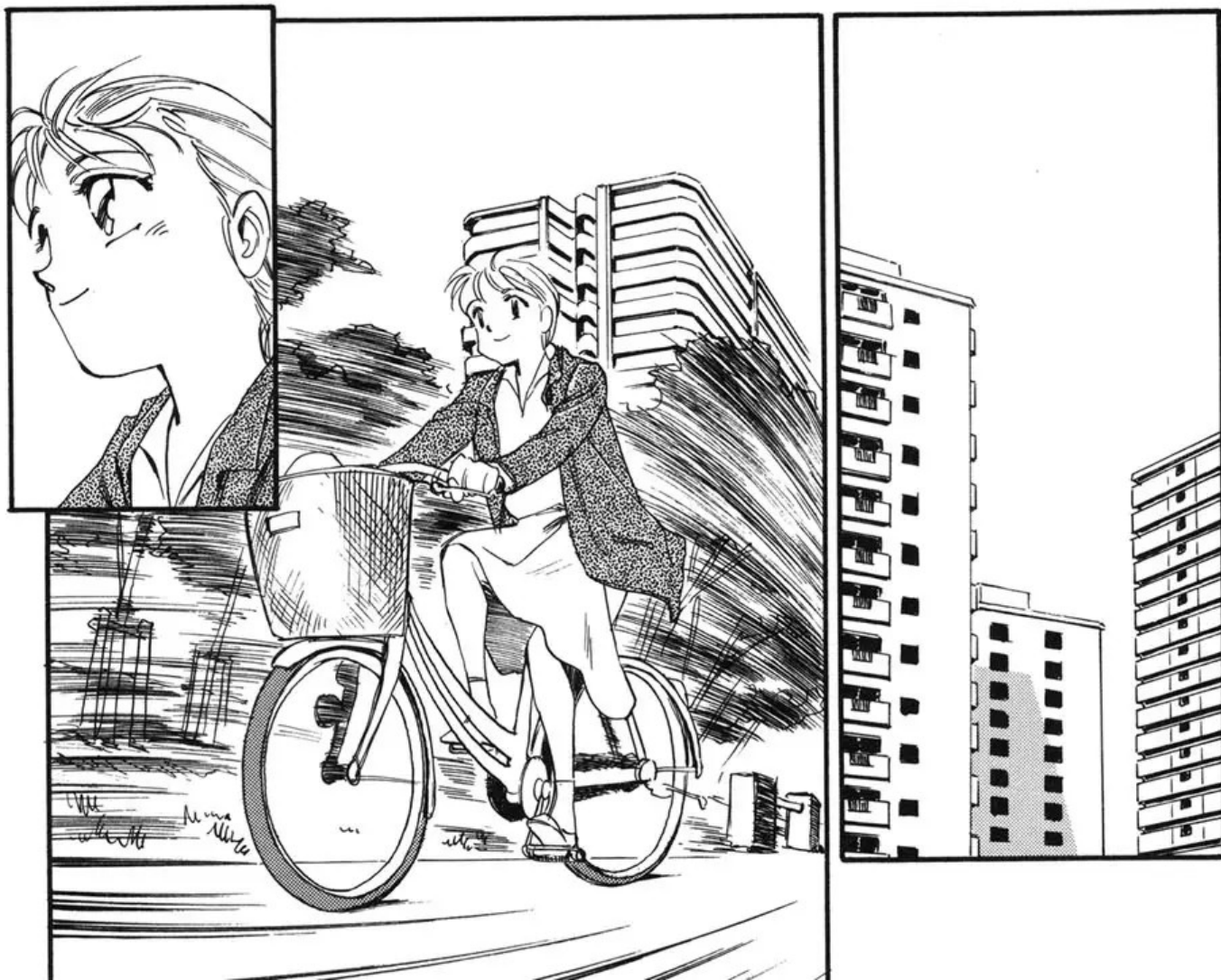
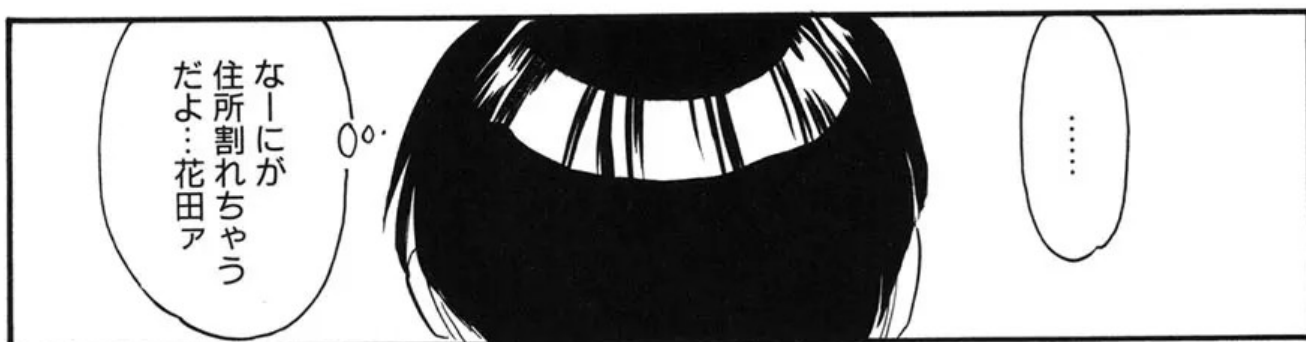


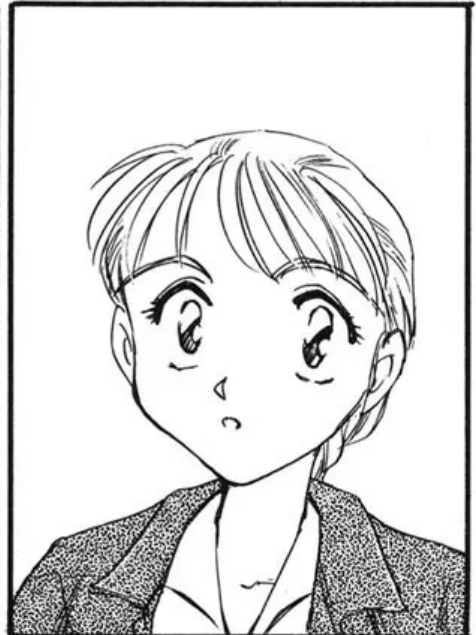
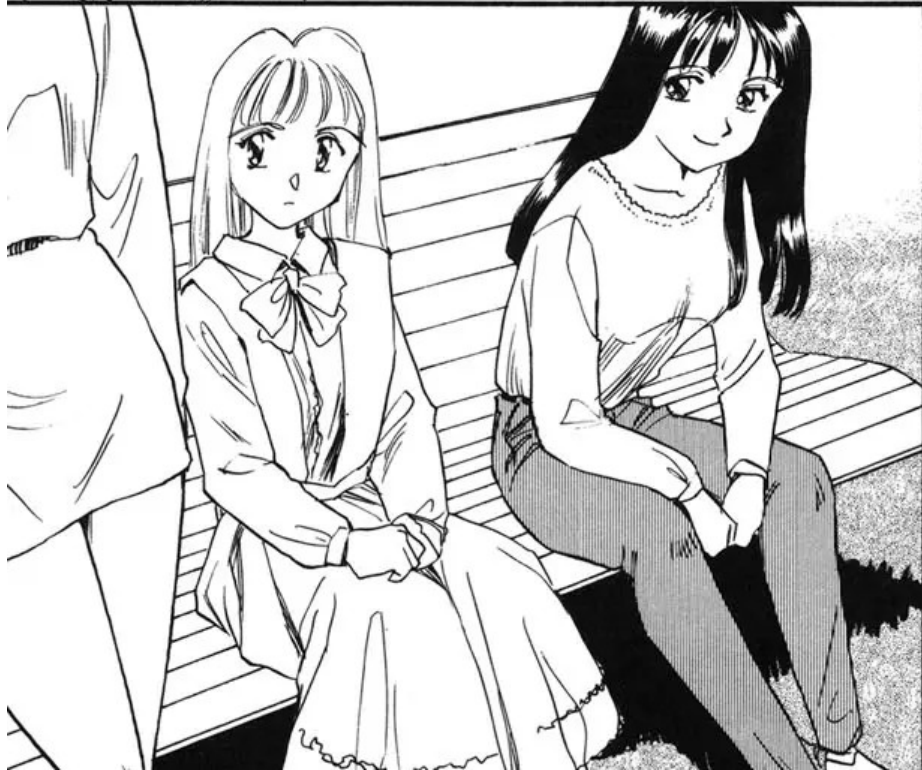
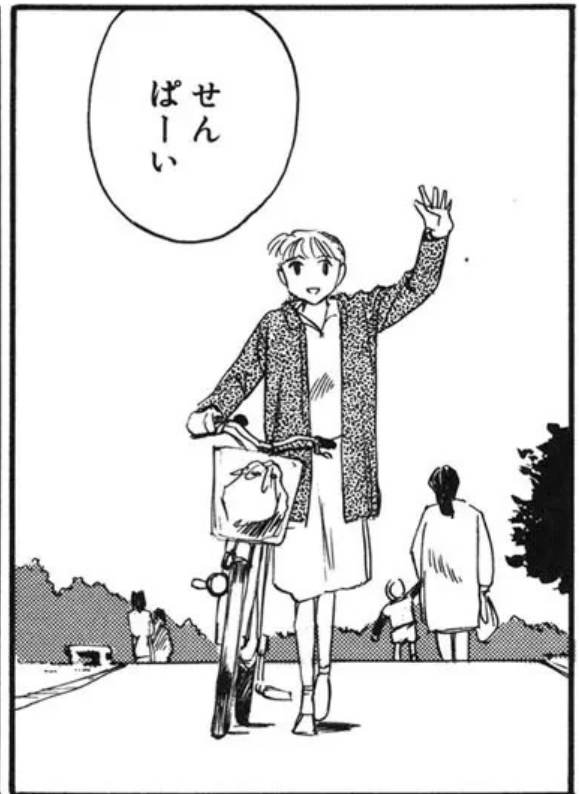
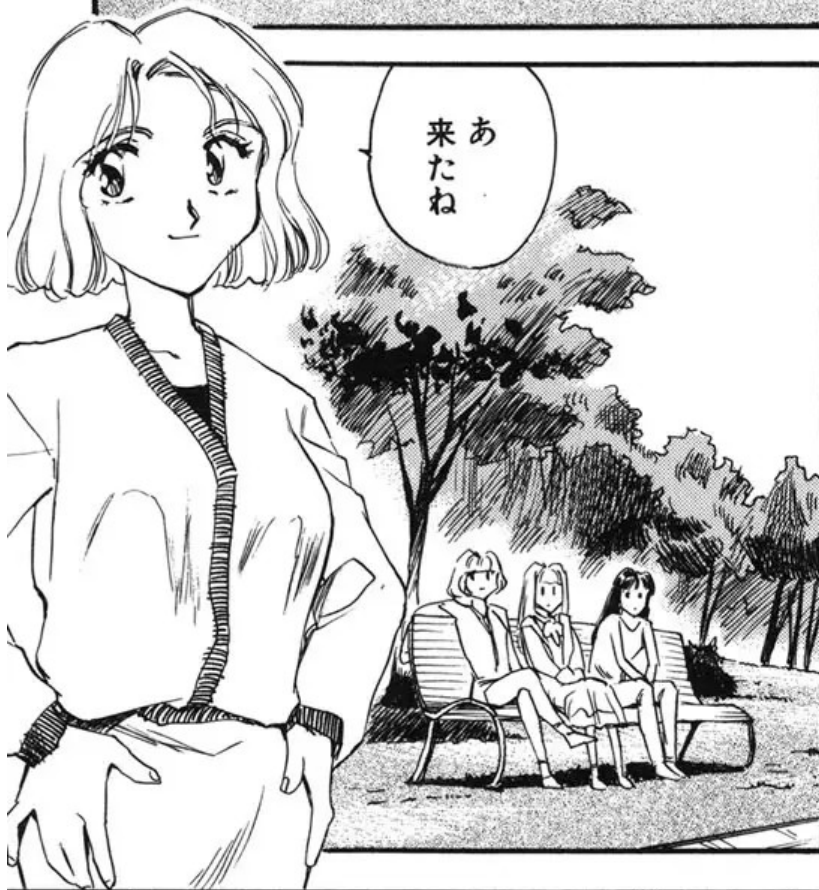


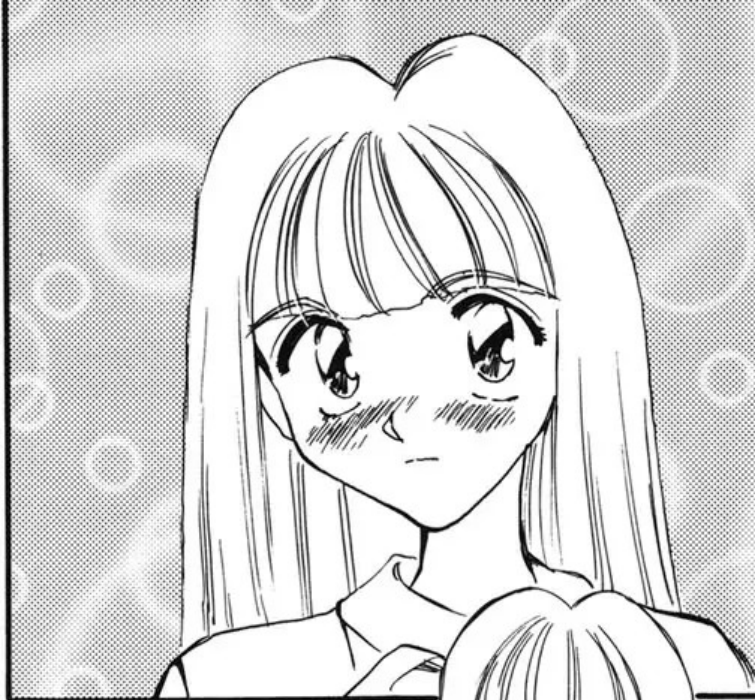
が嫌になり 半年前に家出しました。

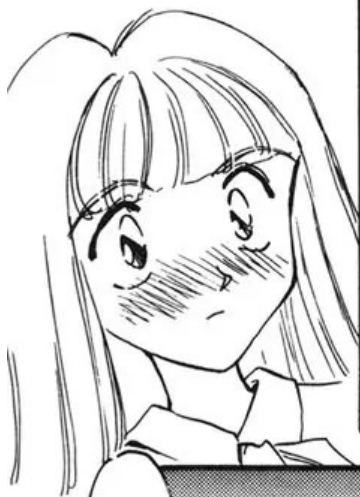


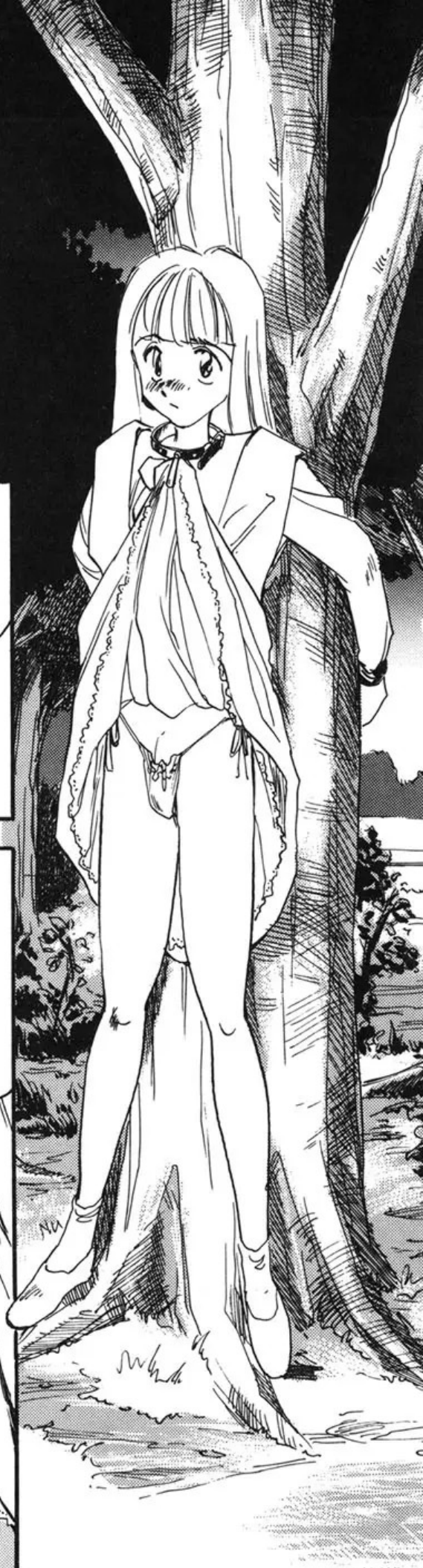
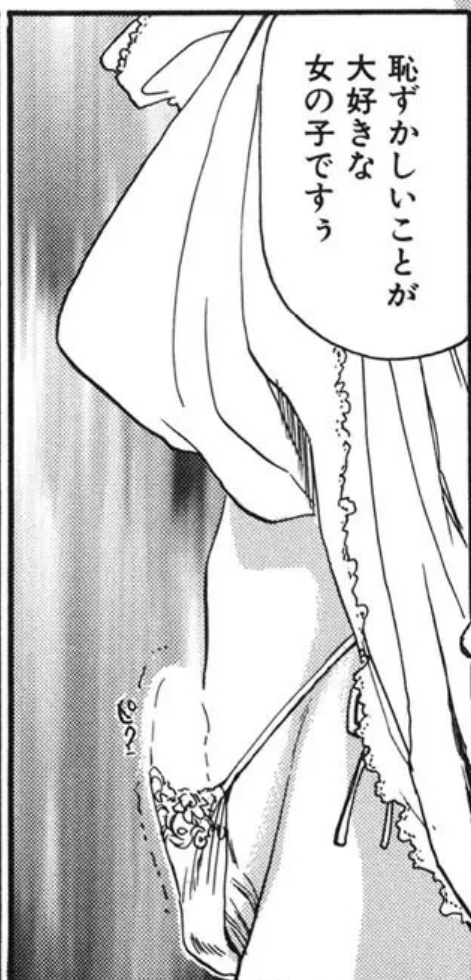
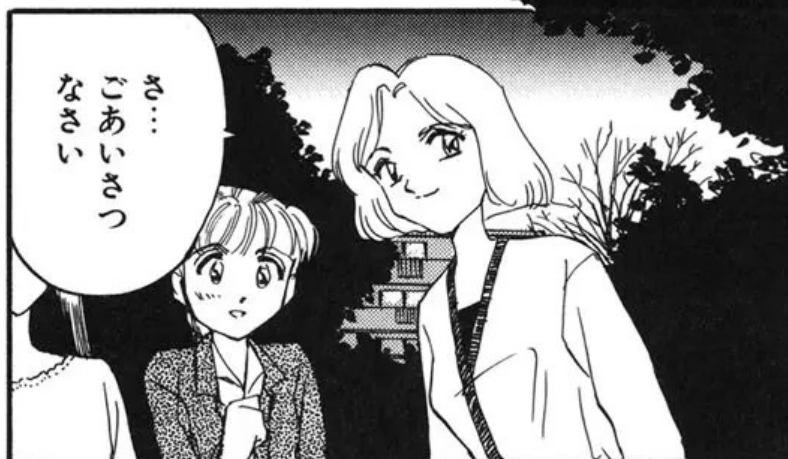












なーに鼻に
かかった声
出してんのオ

ご…
ごめんなさい

まるつきり
女の子…

すつかり世界に
入ってる

…にしても
これ
なあに？

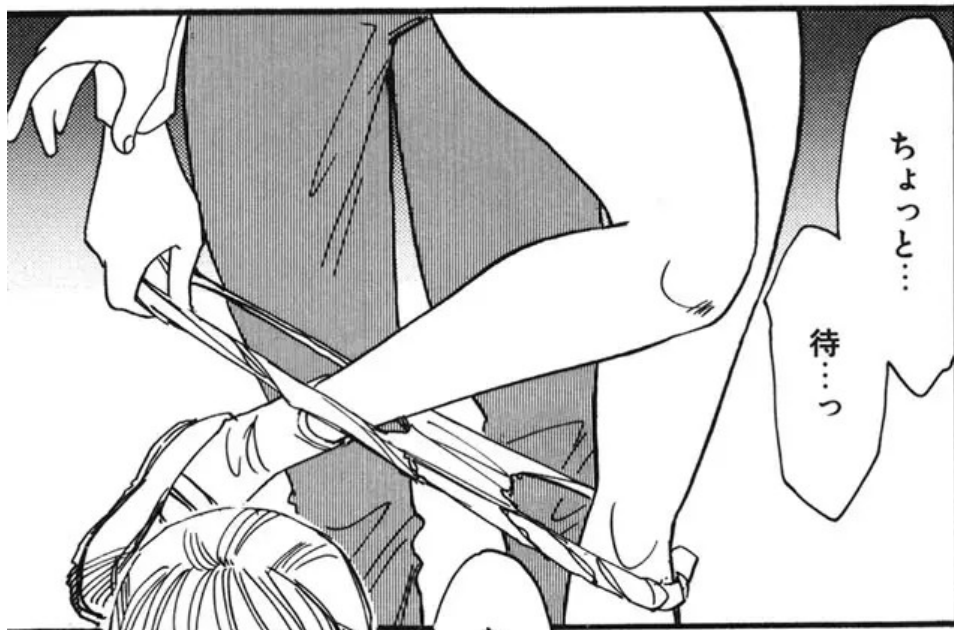
ずいぶんがかい
クリトリスねー

ぴくぴく
ふるえてる…

せっそーが
ないんだから

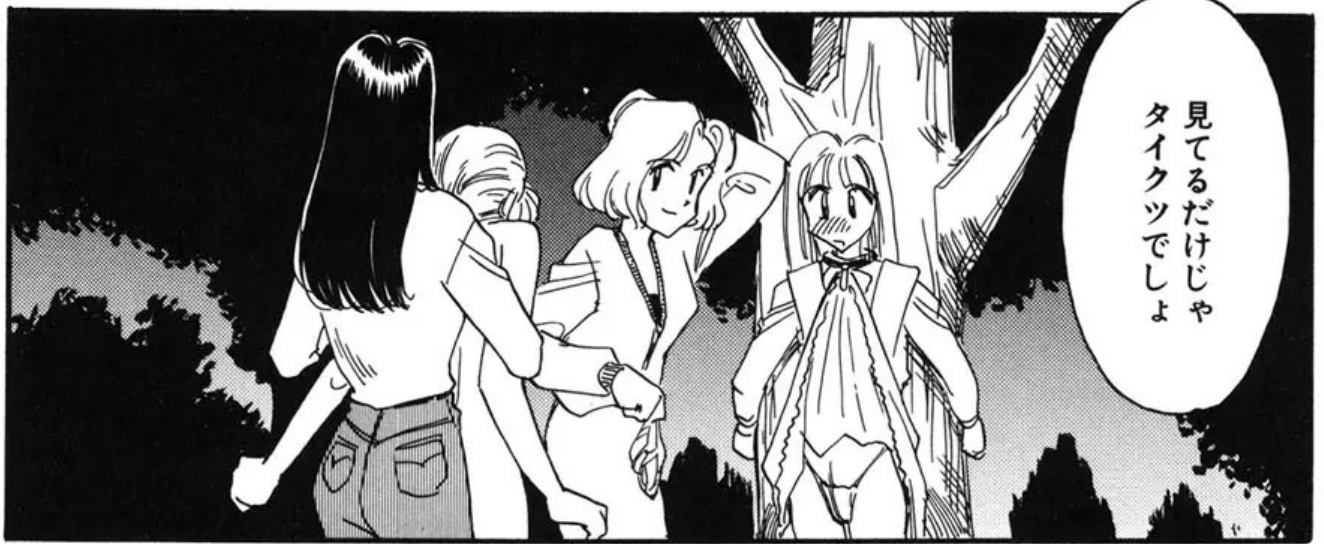
屋外で
こんなもの
さらして
喜んで…



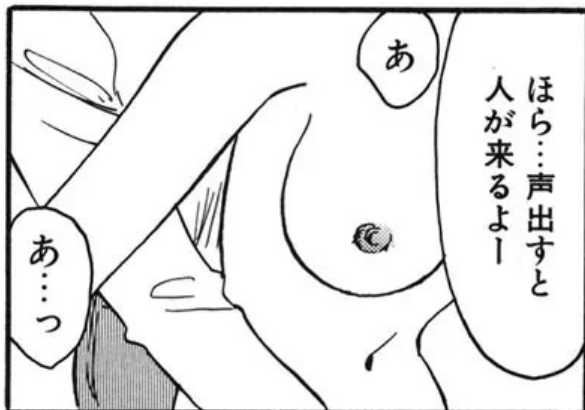


MY LIFE AS A CHICKEN #3





女中のくちくち





そんなに
広げられたら
…康也に
嫌われちゃう
よう…

なに
言ってるの

本当はこんなに
入るくせに！

ぐんぐん

あひ

ぐっ

あっ

ゆっくり
狙って…

こっちに
連れてきて

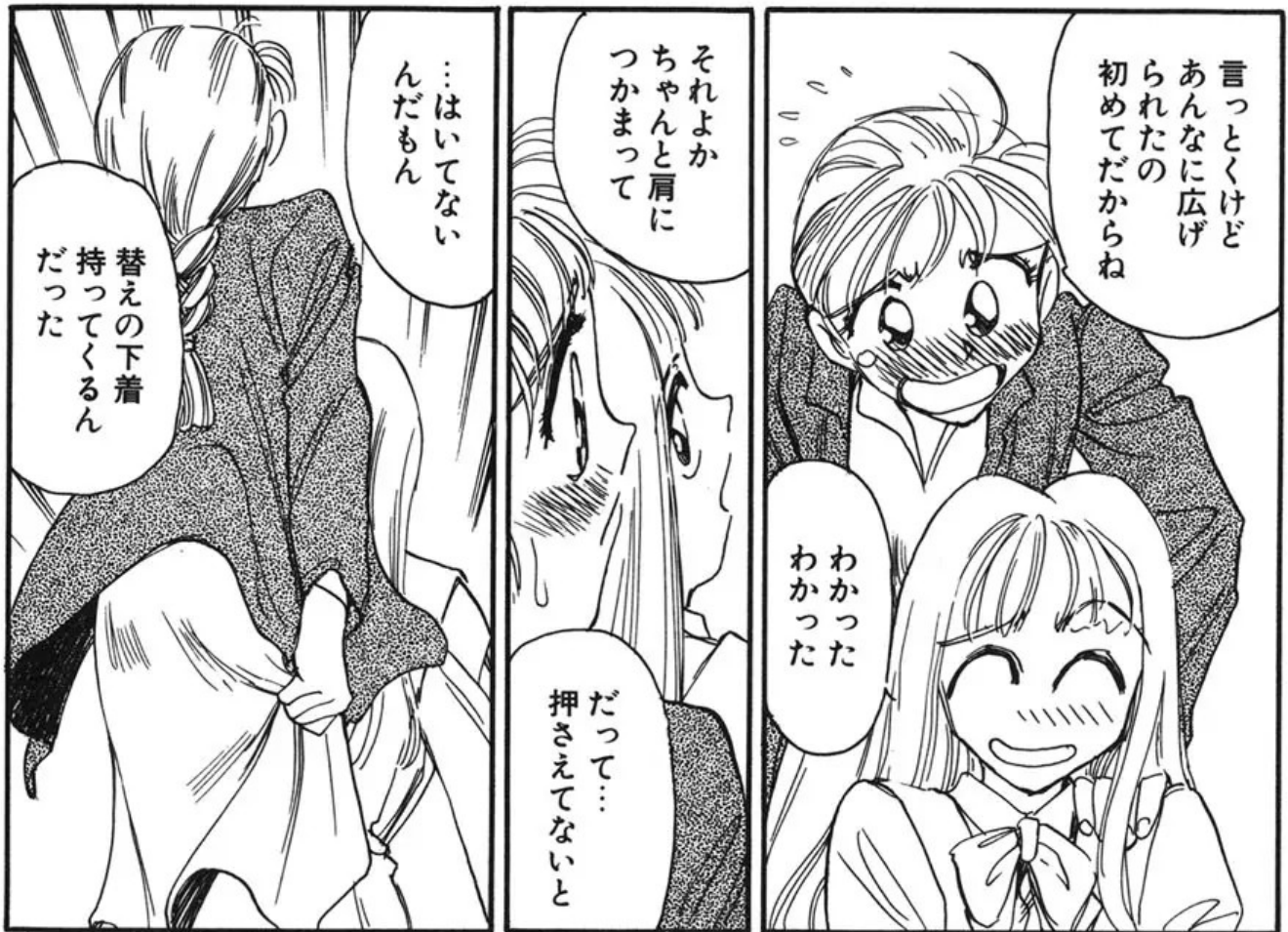
いくのは
まだ早いよ

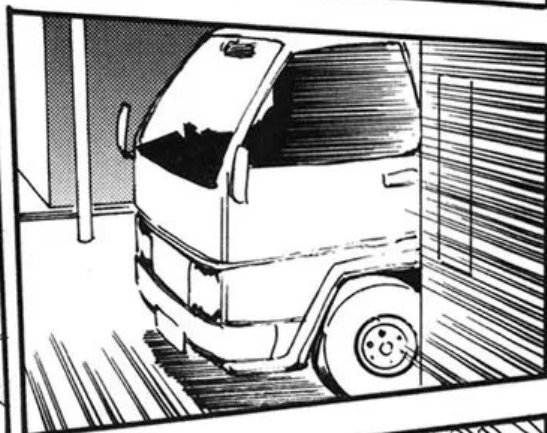
角度的に
ちよつと
キツイかな？

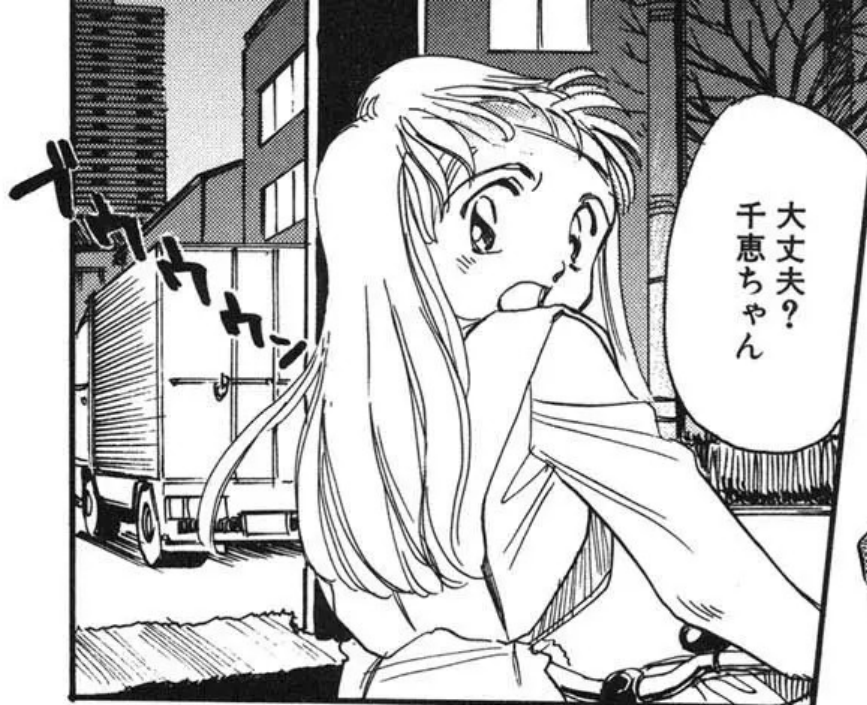








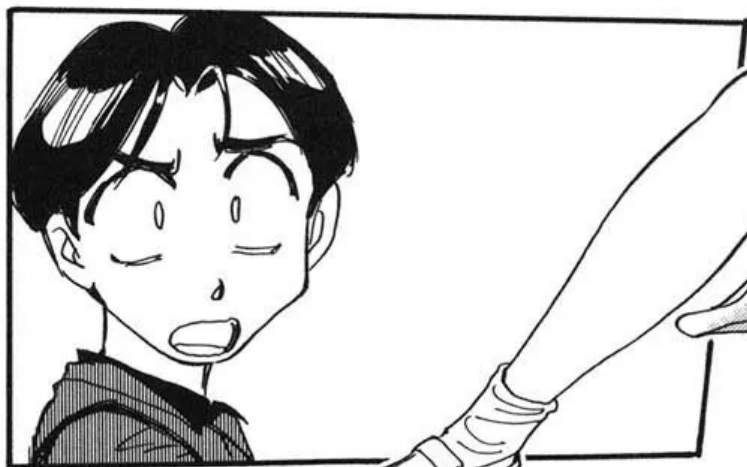




大丈夫？
千恵ちゃん



いったーい



兄さん!?



あれ？
あ

やべっ

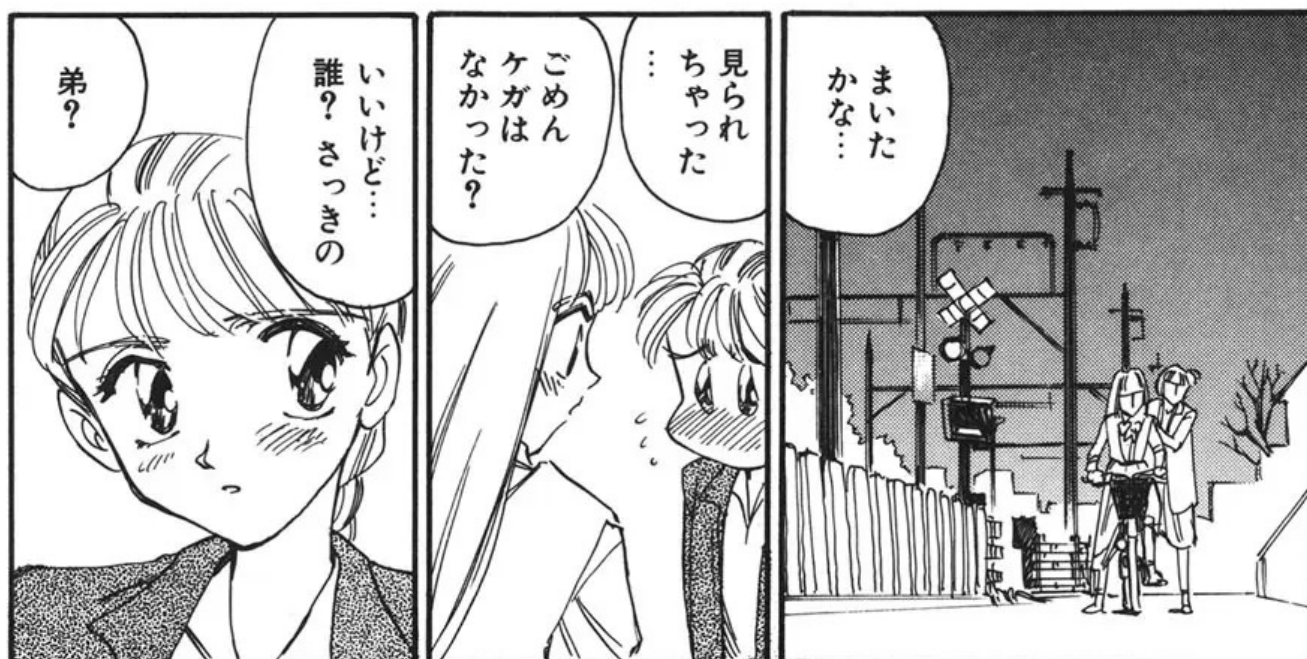
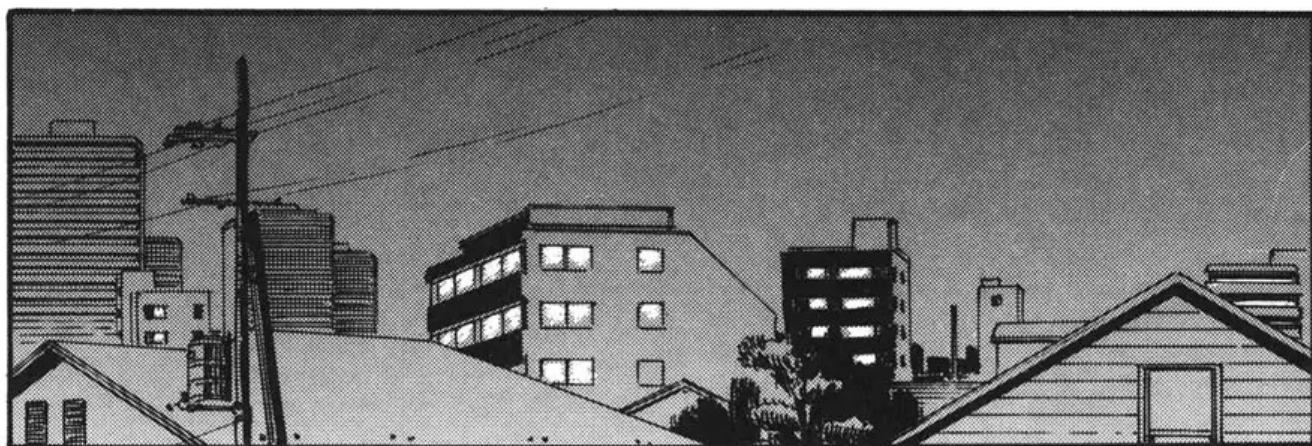
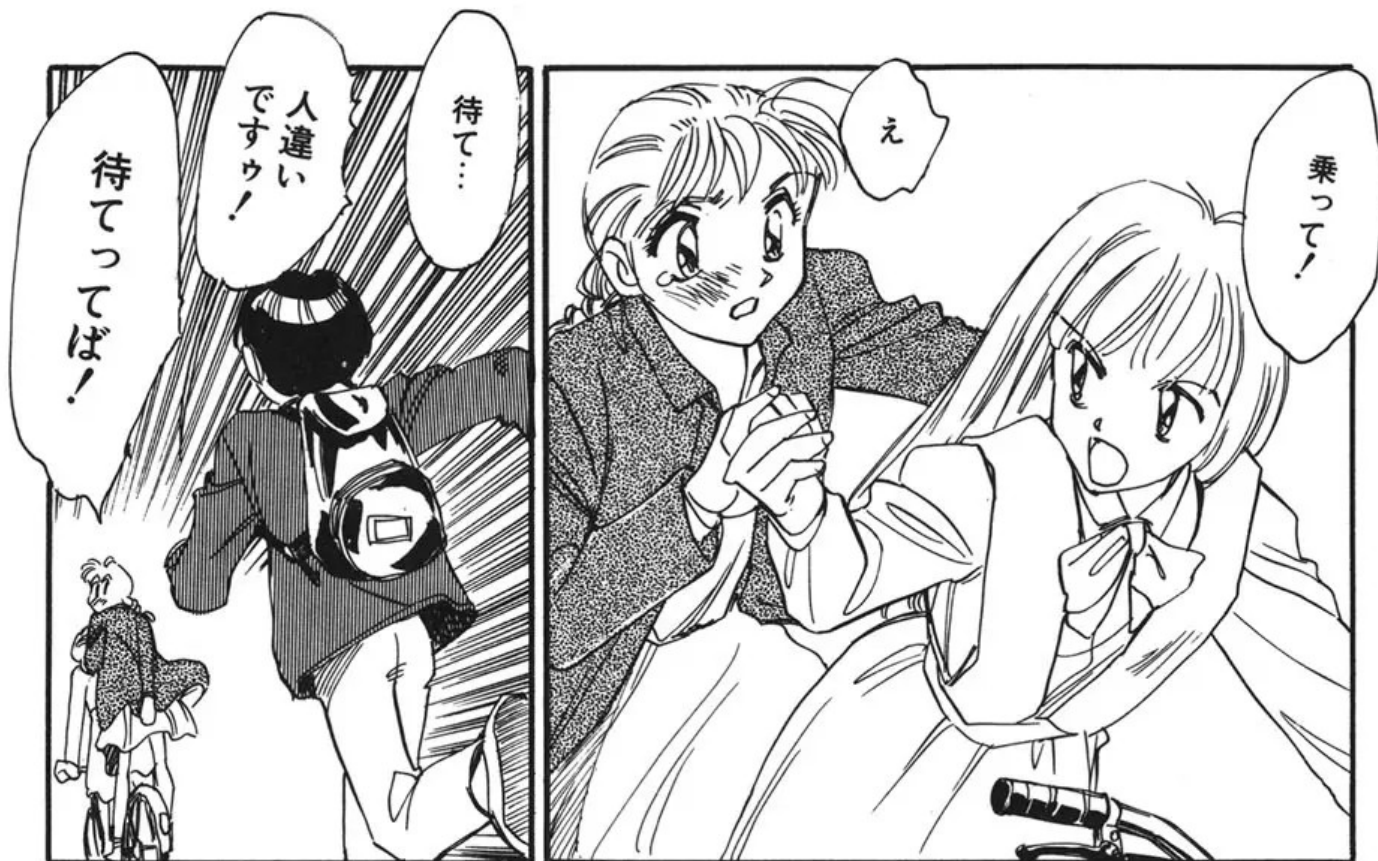


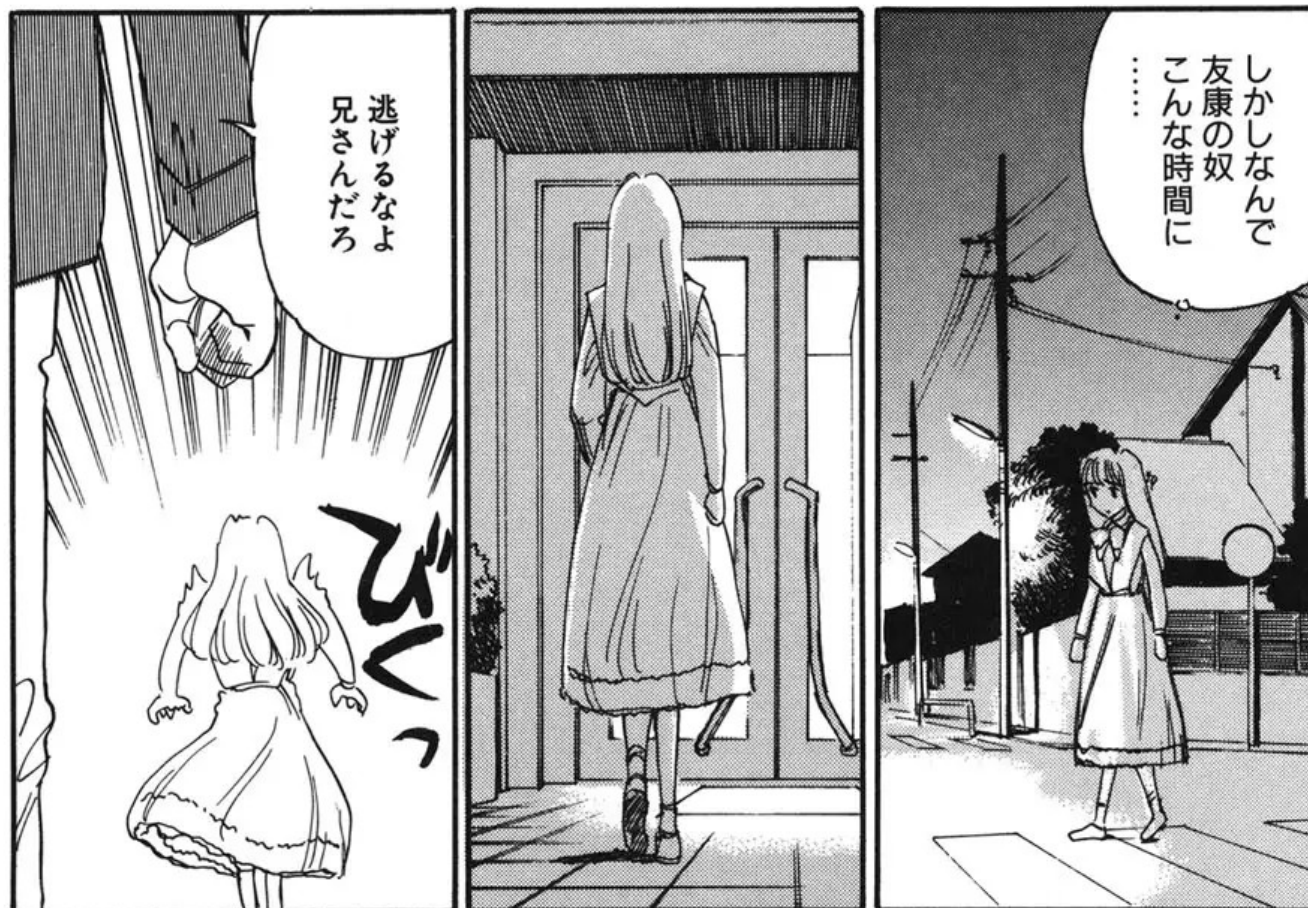
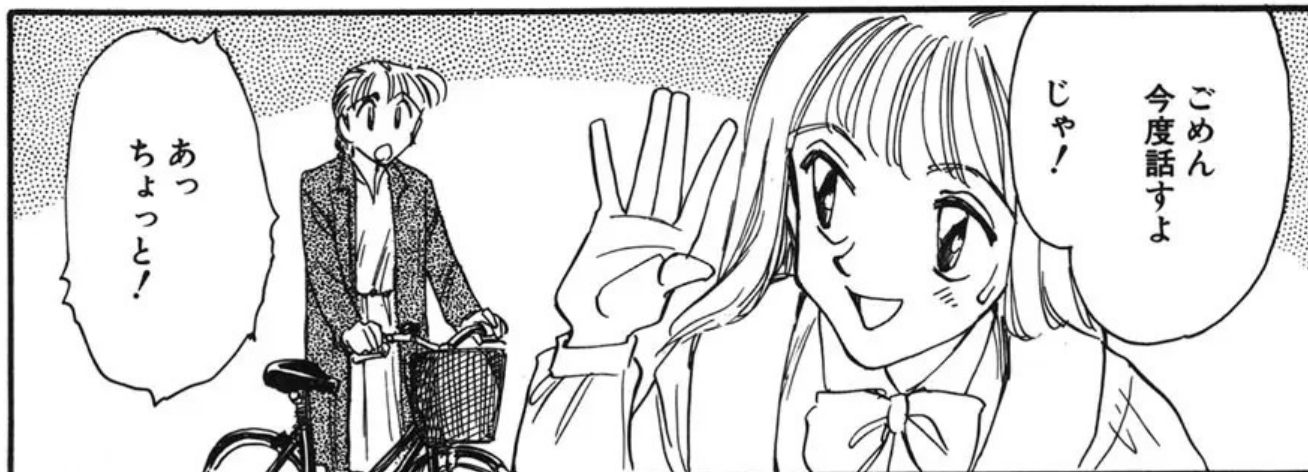
わあ!?

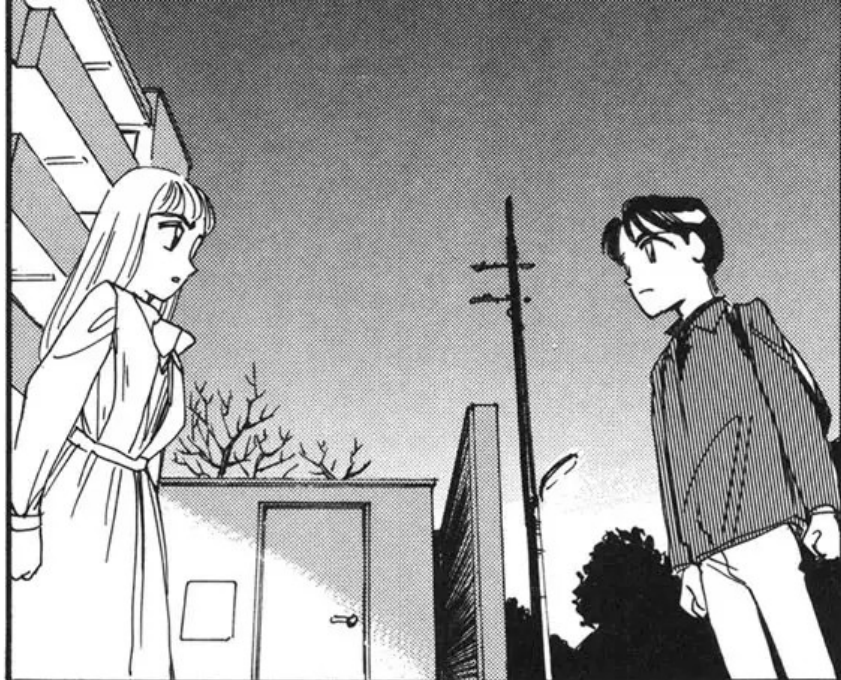


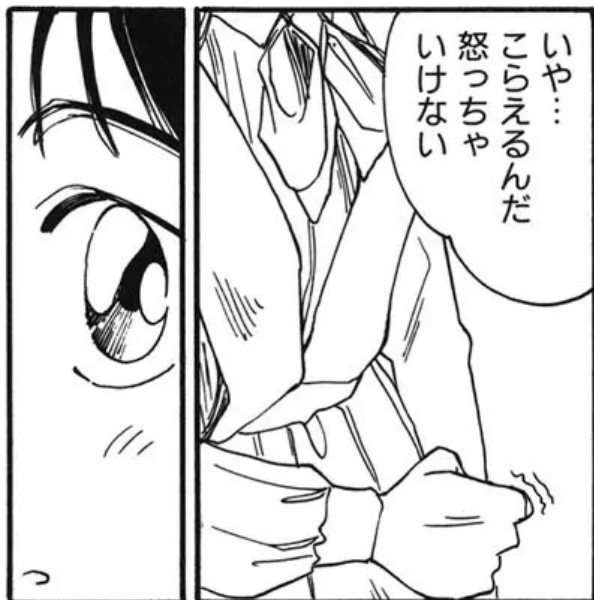
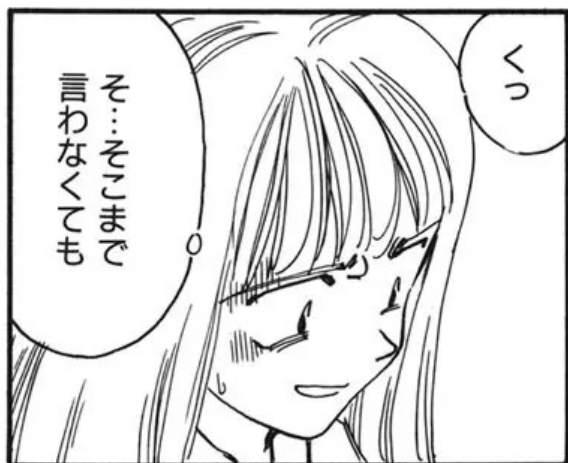
待っ…

え









変態に見えても
仕方ないと思うけど

もう少しこつちで
暮らしたいんだ

いつか時期が来たら
自分から帰るから
それまで誰にも言わないで
そっとしておいてくれないか

頼むよ

.....

……そっか
そんなに変態の
暮らしがいいの

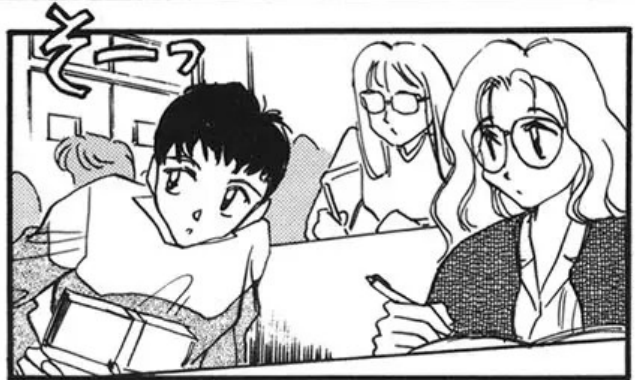
わかったよ
勝手にすれば
いいよ

まいったな
僕の家族は
いつからこんな
メチャクチャに
なったんだろ

……ふう



MY LIFE AS A CHICKEN #4



家庭教師の
バイト
見つかったの

ずーっと
探してた
もんね

ラッキー
じゃん
芹菜



山代さん

コンパの出欠の
確認してるん
だけど

えっと…
あたし今日
バイト
あるから…

そっかー
残念

また
今度

ごめんね
呼び止めて

山代さん
呼んだって
ムダよ

酒の席は
苦手って
言ってたし

ふーん

かわいー
のになあ

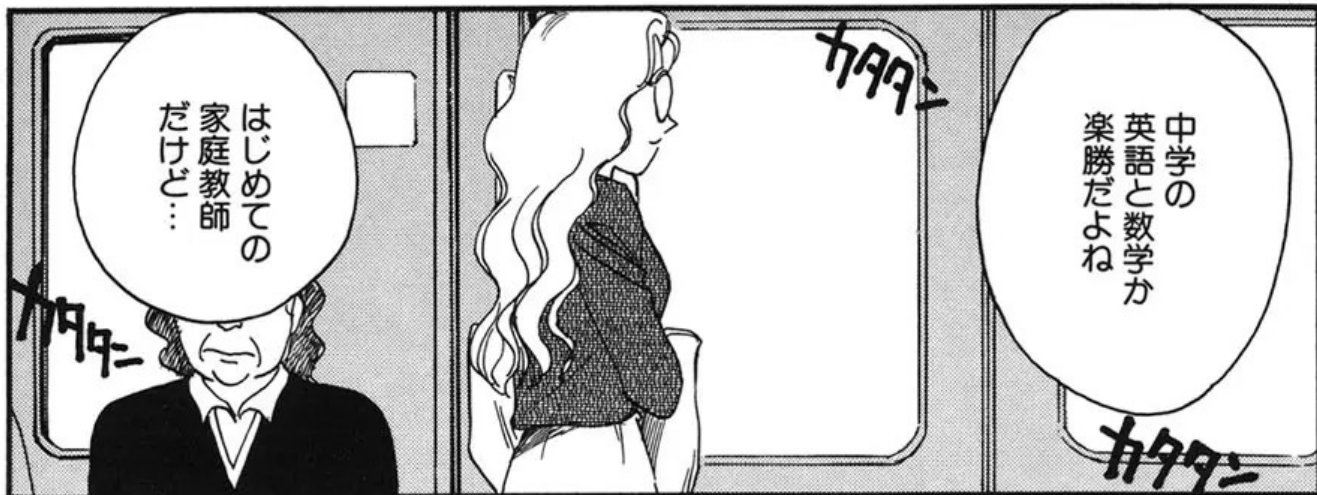
酔って変なこと
するつもり
だったんでしょ
このキス魔

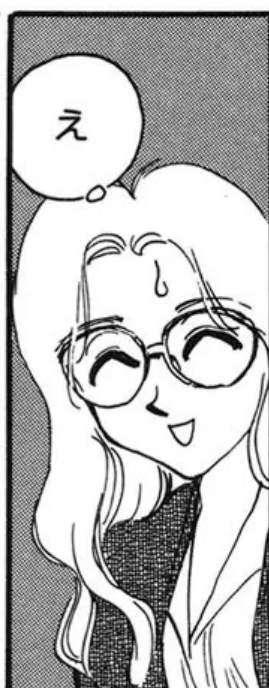
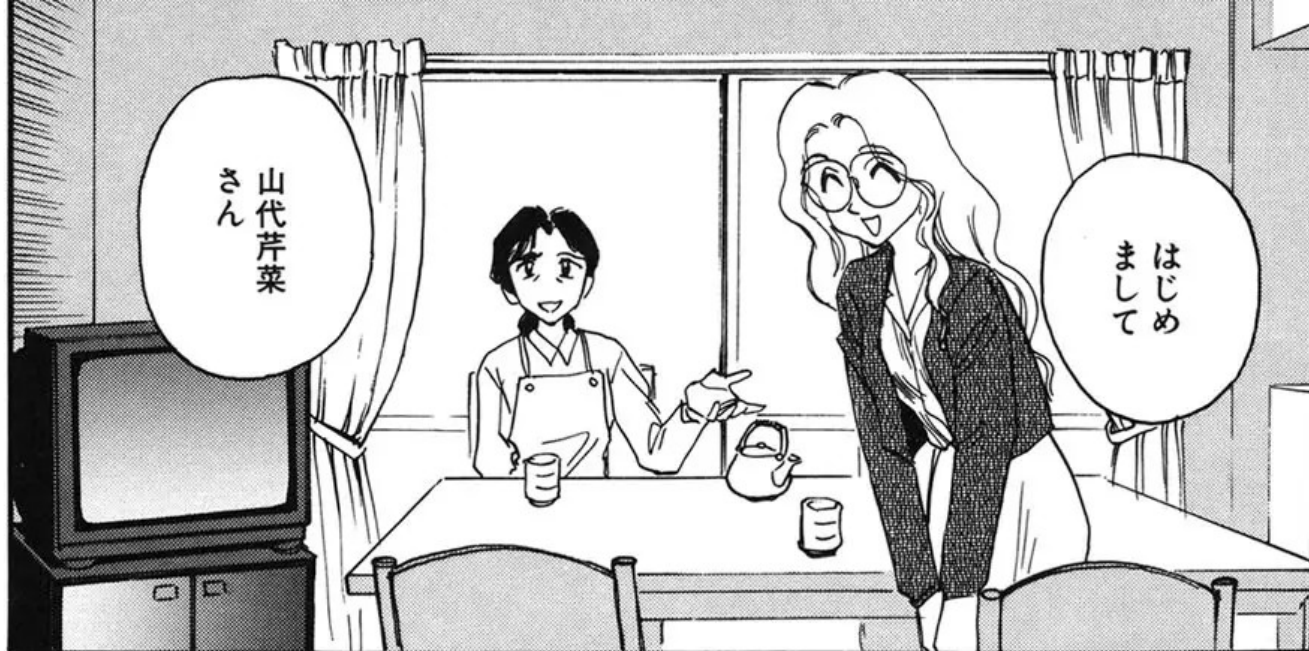
いやー
はっはっは

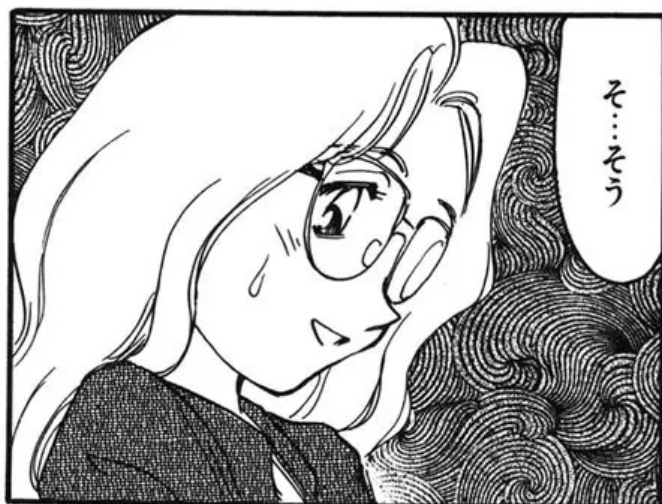
そーいや梨乃っち
男と飲むの嫌なん
じゃなかったっけ

少人数で
飲むのはね…
女の子が沢山
いれば
平気なの

今日はうちの
同居人も来るし
文^{ぶん}っていう
文学部のやつ
なんだけど





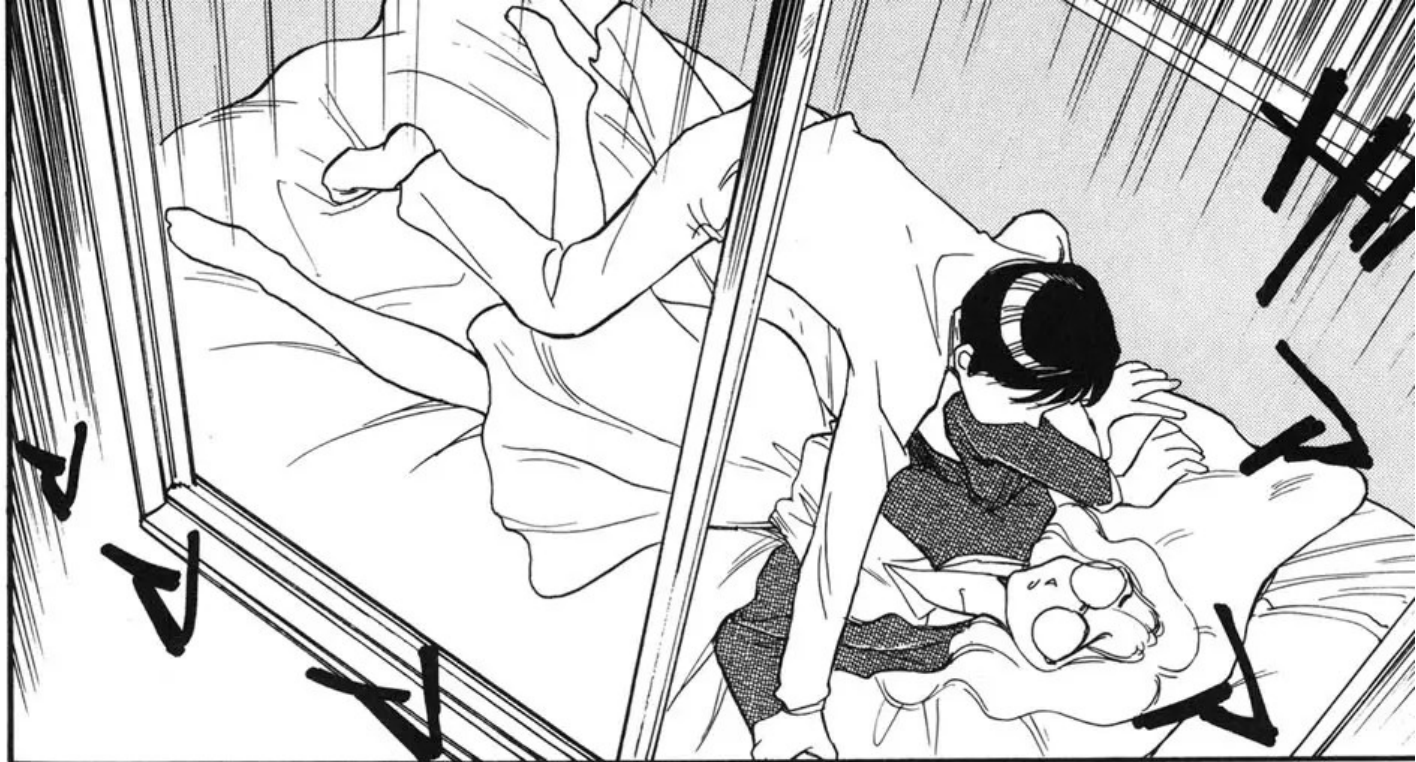






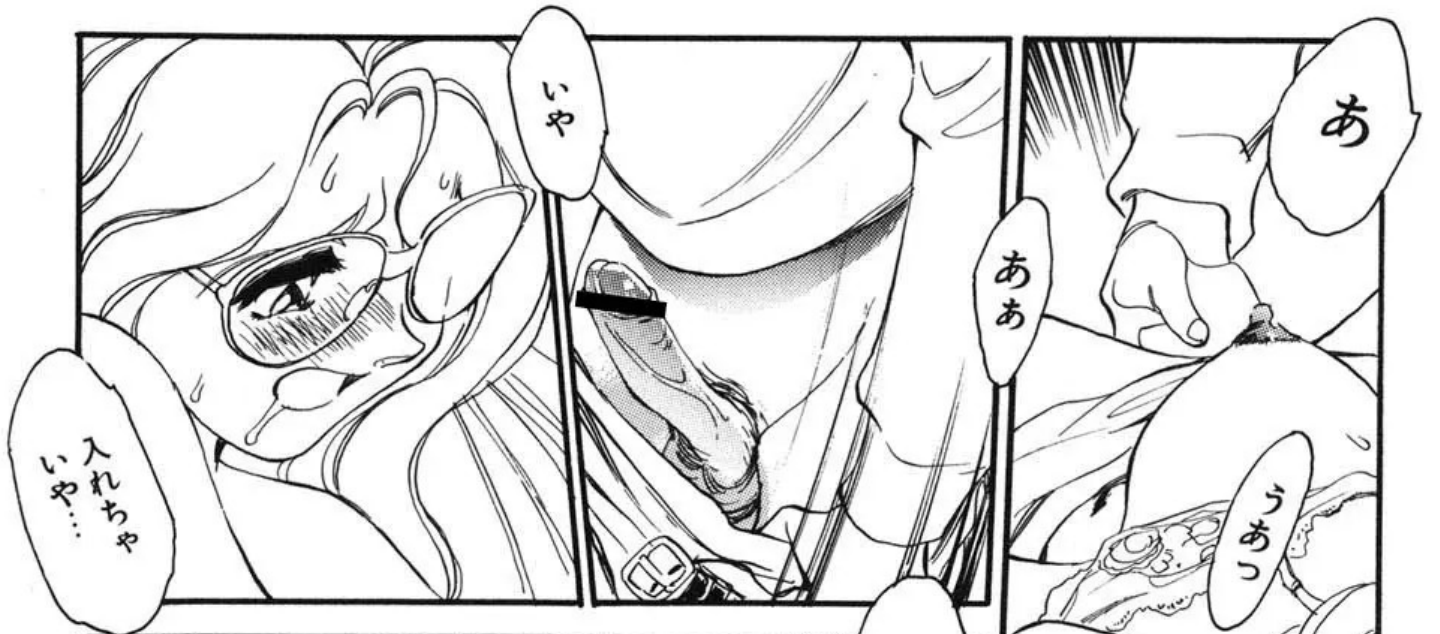
弟に会ったことは
結局御主人様ズには
言いそびれてた！

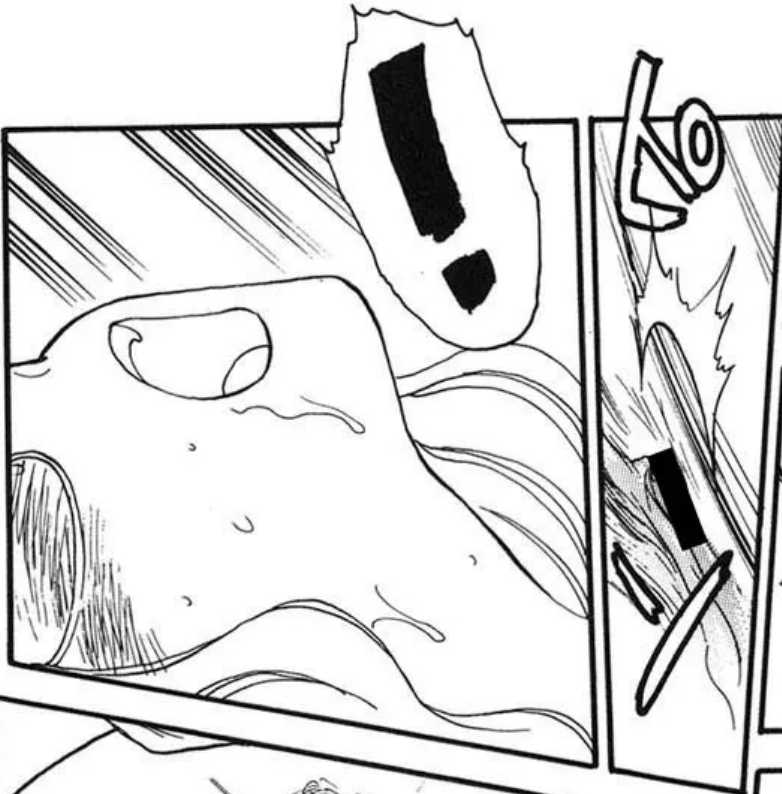


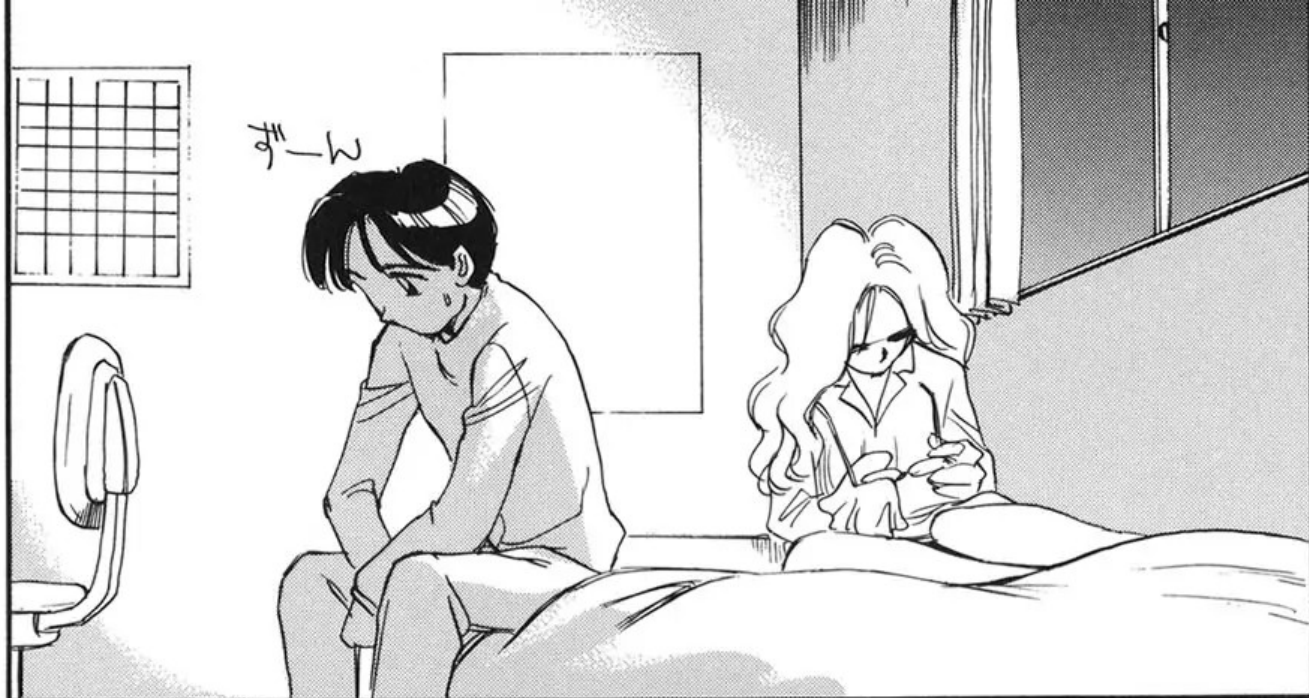


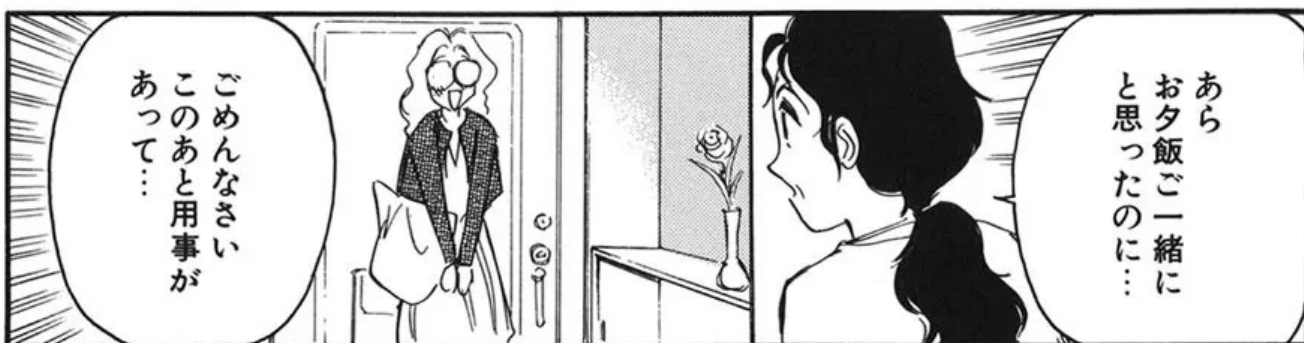


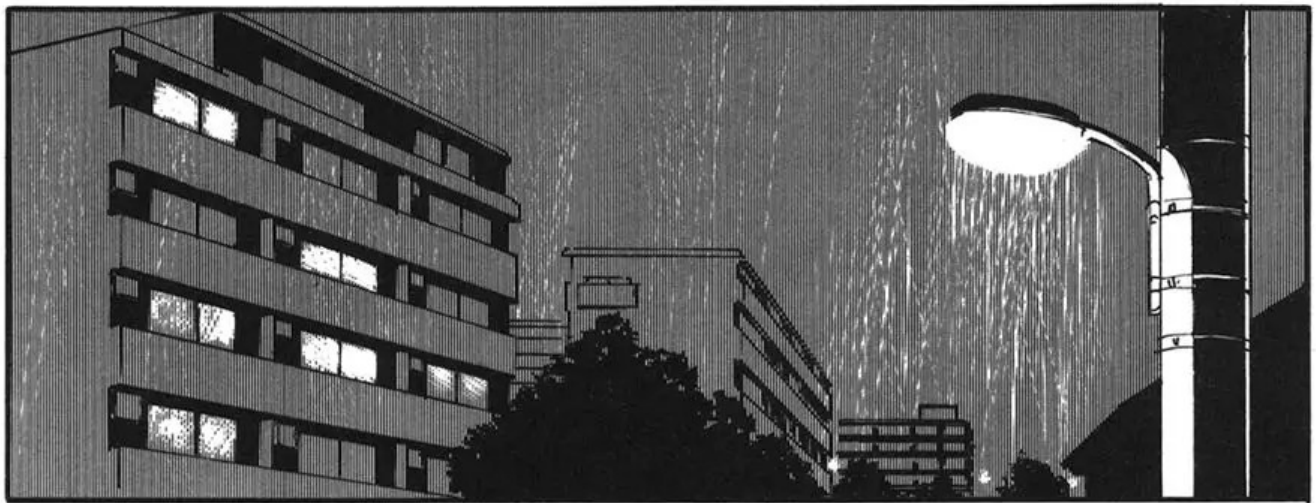












そしたら
御主人様ズにも
迷惑がかかる
かもしれないし…

この女たちが
私のかわいー息子を
ラチカンキンしたのよ！

やめてよ
母さん！

最近の若い女は
とんでもないわ

あの子供の悲鳴が
毎晩聞こえて
ましたわよ



女装まで
させてたそうよ

まあ変態

タチの悪い
宗教じゃ
ないの？

こわいわあ

ひーん



ロシアで
人身売買

首領様の
スパイ

即刻出てって
もらいましょ

うわー

…考え
すぎかな

途中がせいが
存続したぞ



…でもやっぱ
見つかった
以上



僕はここに居ちゃ
いけないんじゃない
だろうか…





はい

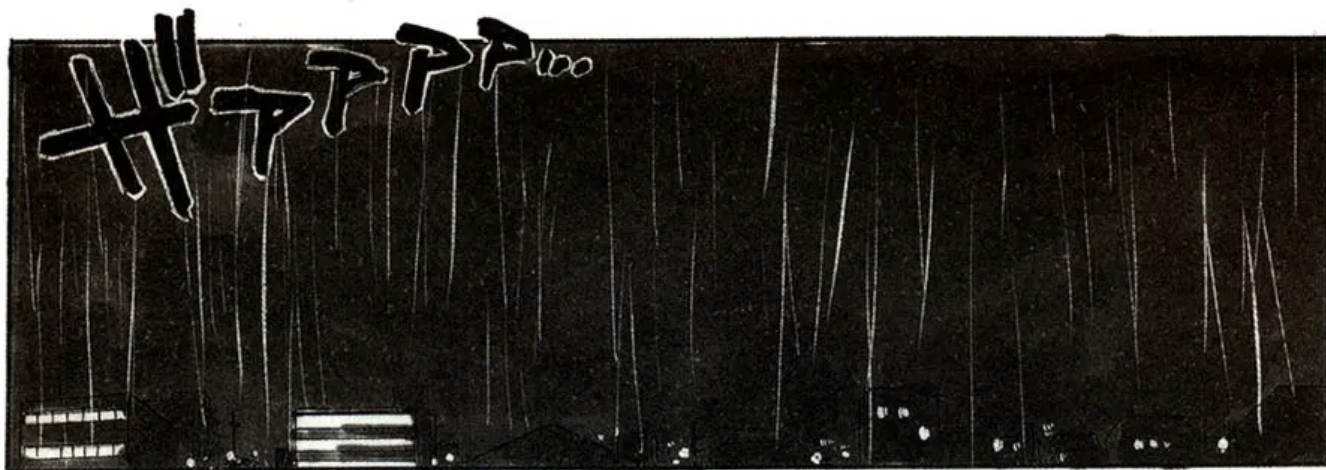
あ
千恵ちゃん



MY LIFE AS A CHICKEN

#5





黙ってろって
言ったら
わかってくれた
みたいだし

ううん
それはないと
思うけど



…やっぱり
あの人
弟だったんだ

じゃあ
親にバレたの



もし何かあっても
迷惑だなんて
思わない

心配すること
ないよ



でもいつか
バレて
みんなに迷惑
かかるかも

そう言って
くれるのは
嬉しいけど

お姉様たちも
きっとそう言う
と思うよ

あたしたちなら
気にしなくて
平気だから

う…うん
でも
…やっぱ
つらい

信じて
くれないの？

そんなんじや
なくて

ねえ
ウジウジ悩んでも
仕方ないんじや
ないかなあ

いつかは結局
開き直らなきゃ
ならない時がくる
と思うんだ

それともまさか…
今からまたどこか
家出する？

あたしやお姉様を
置いて…

嫌だよそんなの





ご主人様にも
話してみるよ

…ごめん
ちよつと弱気にな
ってみたい



……
そんなつもりは
ないけど…



だめだ
もっとしっかり
しなきゃ



はあ



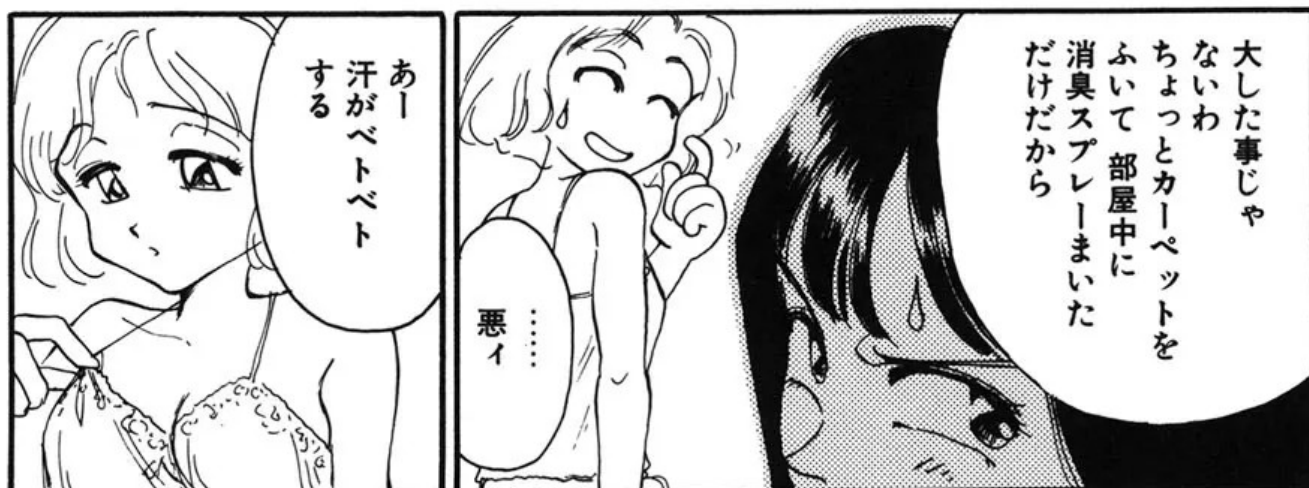
いつのまにか
逃げるのがクセ
みたいになってる…

今千恵ちゃんの
電話がなかったら
衝動的に家出
してたかも…

ガクッ

たあだ
いま—っ







いじらしー
子だよ！



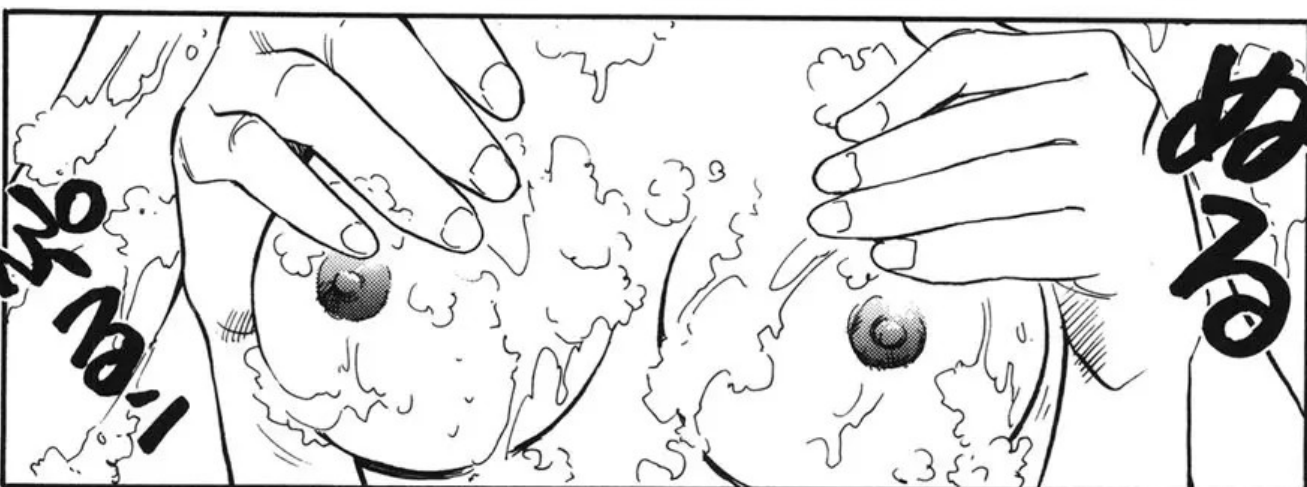
それであたしたちに
迷惑がかかるかと
心配してたって…



どーしてそんな
重要なこと
黙ってたのよ



なーんてね

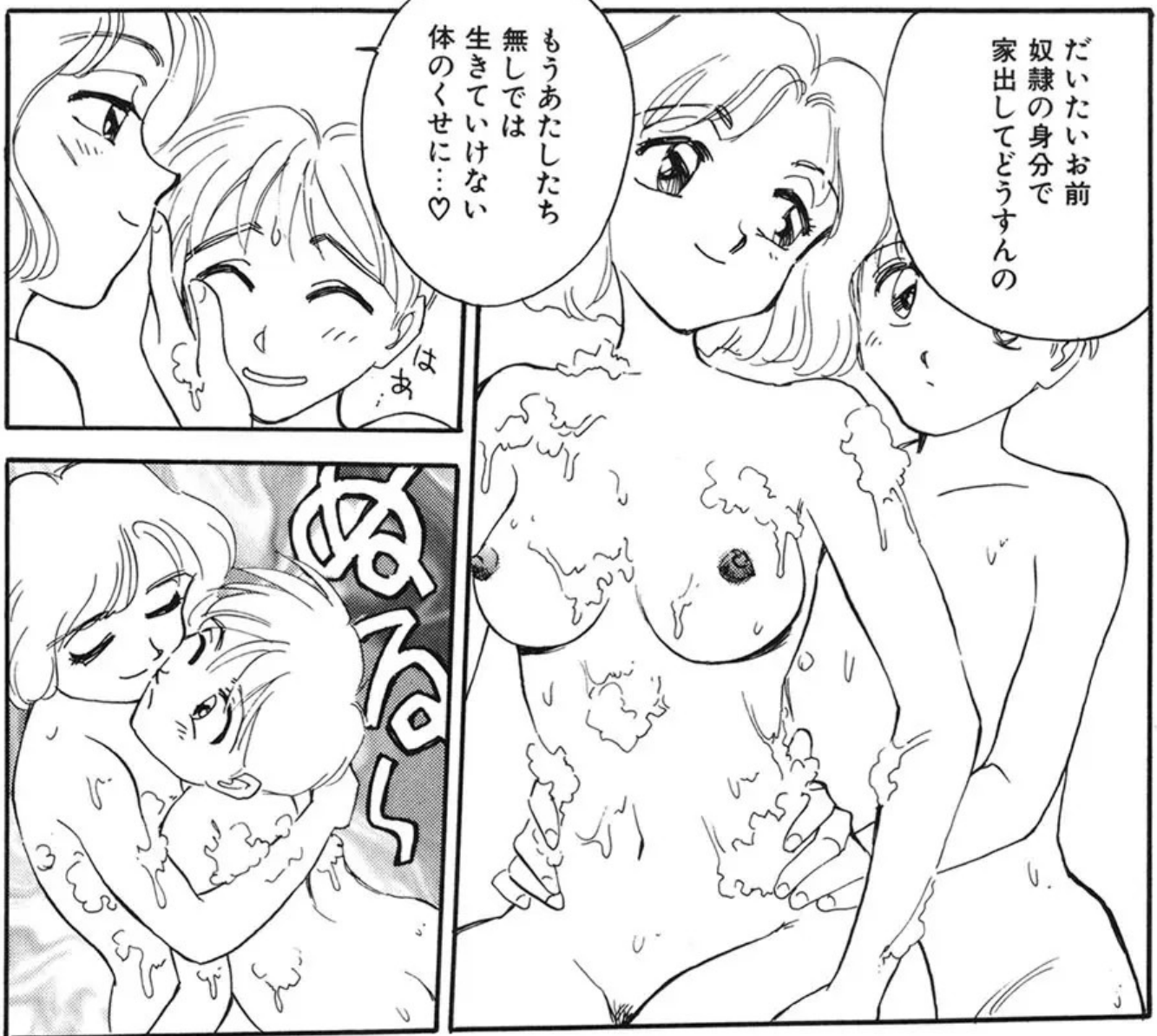


ペットを飼う
ときの心構え
くらいあるわ



そりゃあ
千恵の言う
通りね

迷惑だっと思う
くらいなら
最初からお前を
拾ったりしないよ





千恵ちゃん
も？

そ

それに比べても
お前は覚えが
いい方だから
教えがいがあるわ

ふふっ

そのかわいい
チン〇を
体じゅうに
こすりつけて

るん

ぬるん

んんん

ん…

んんん

びびん

くふ

はア…

んんん

にぎるん



こっちにも
来て…

あん

は

はあ

ああ

うぐうぐ

ぐぐ

う

あっ

あっ

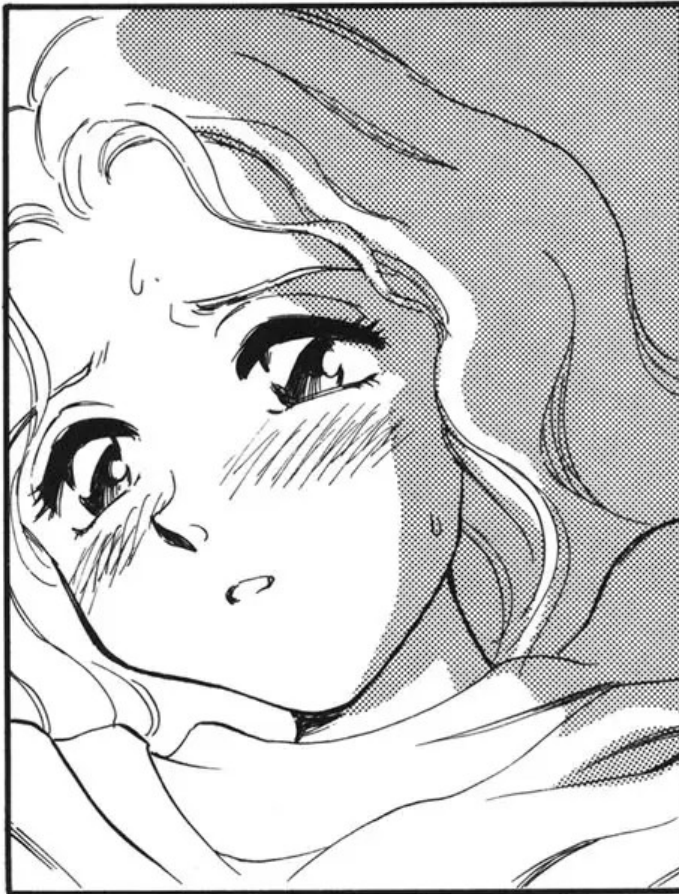
あっ

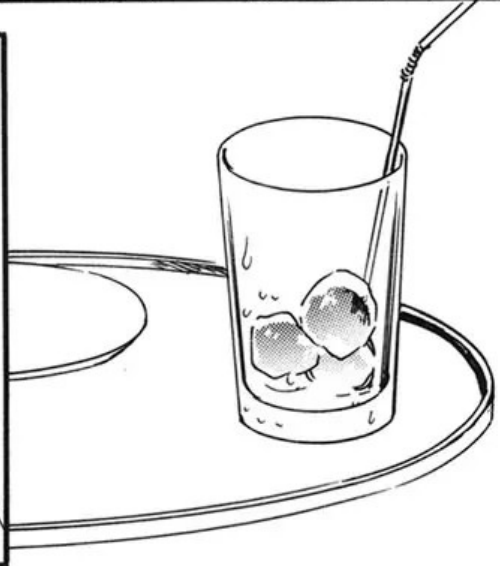
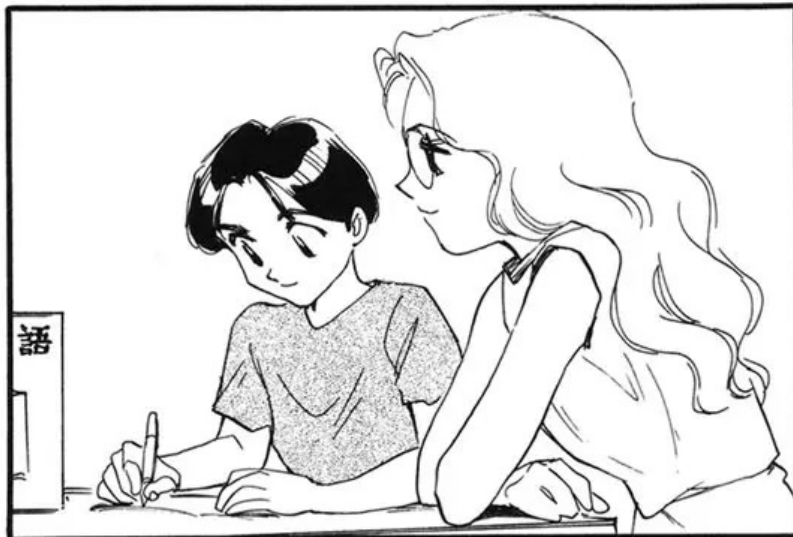
うぐうぐ

うぐうぐ









MY LIFE AS A CHICKEN

#6





うん…うん
あそう

そんなこと先生に伝言
頼めばいいじゃん
シャワー浴びてんだから

はいはい
わかった

じゃね

急な用事で遅くなるから
今回払う分の月謝を
おろして払っとけてさ

あとで銀行
行かなくちゃ

え…いいわよ
次のときで

また汗
かくし

ふーん

じゃいいか



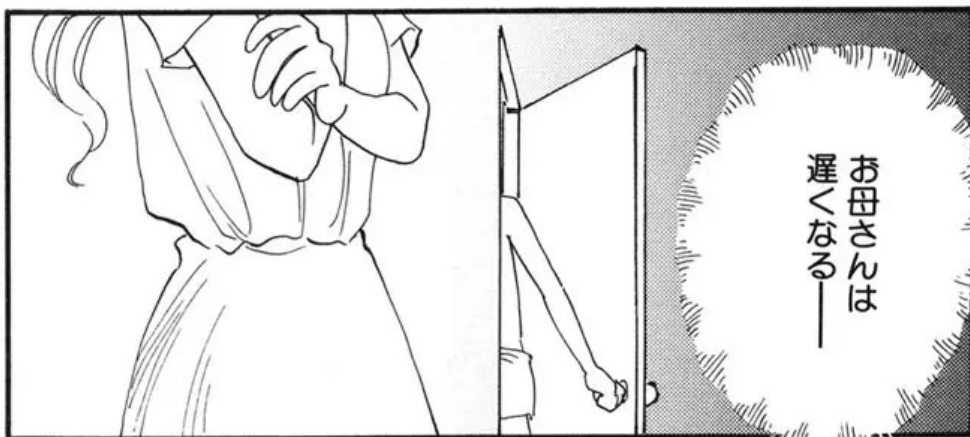
え…あ
あたしは…



よかったら
シャワー
使っていいよ



先生も汗
かいてるで
しょ



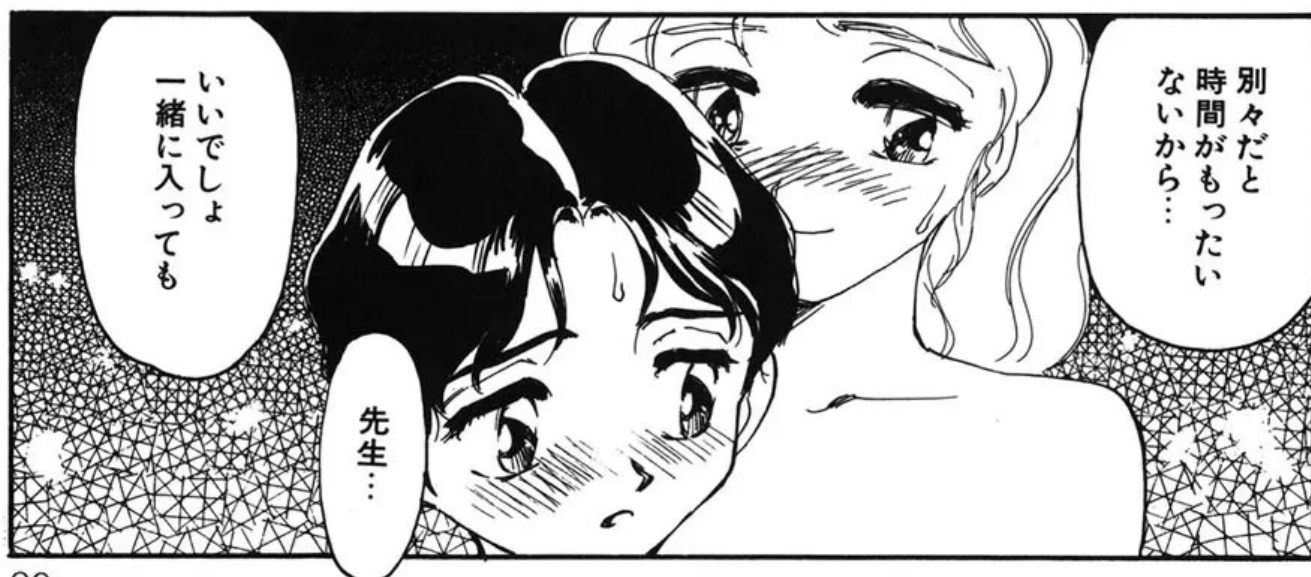
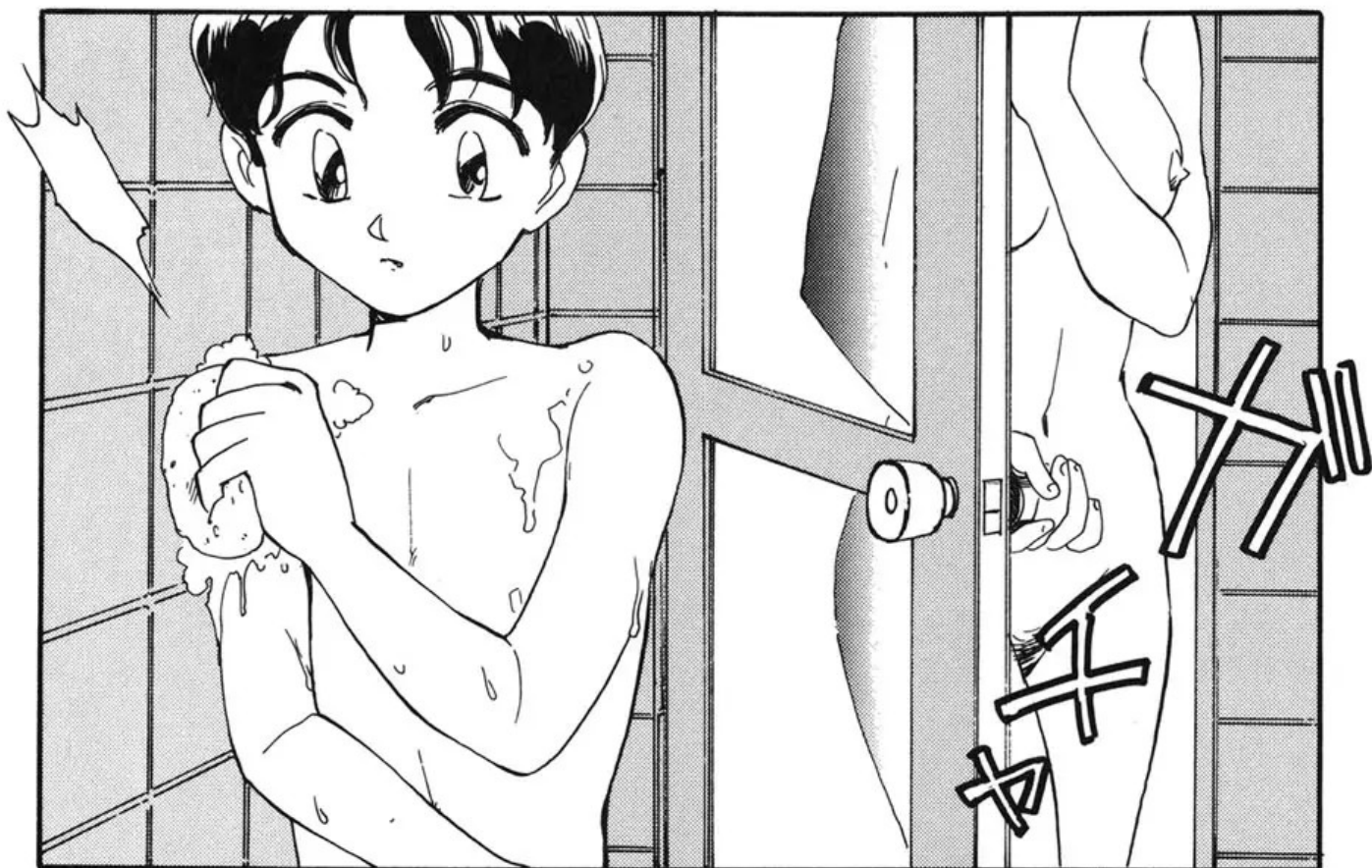
お母さんは
遅くなる—



でも…
気持ち
伝える
チャンスだ



いやだ…何
考えてんのよ



…どうして
こんなこと
するの

ムリやりH
しようとしたとき
あんなに怒った
のに…

おれを試してるの

そうじゃ
ない…

タオル
とって

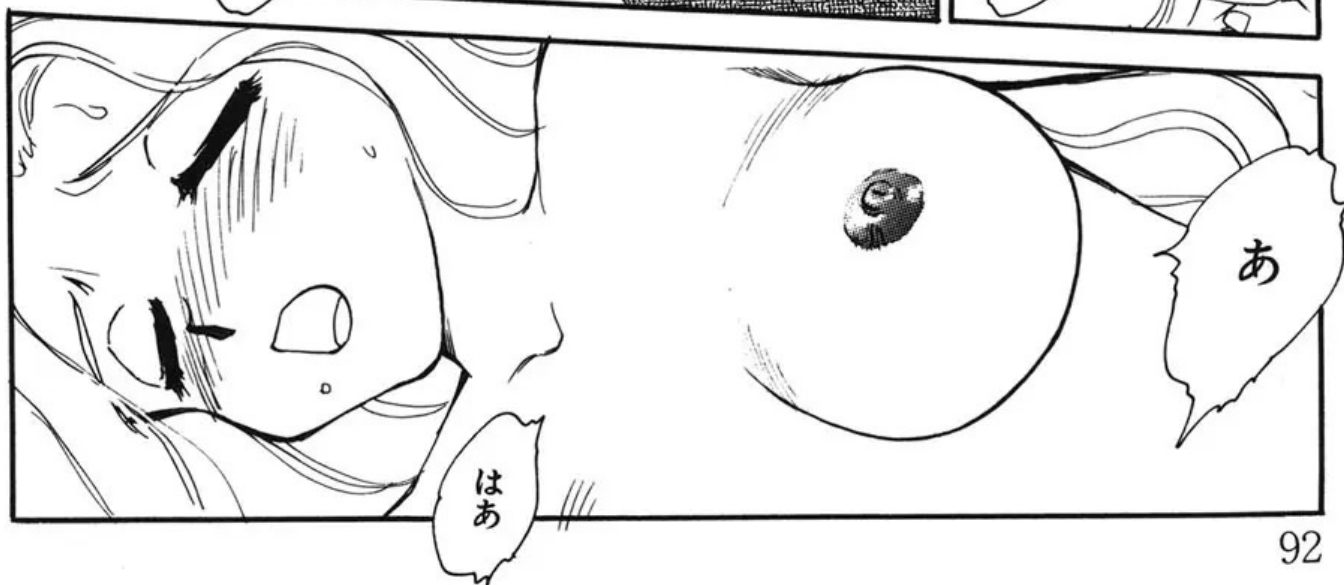
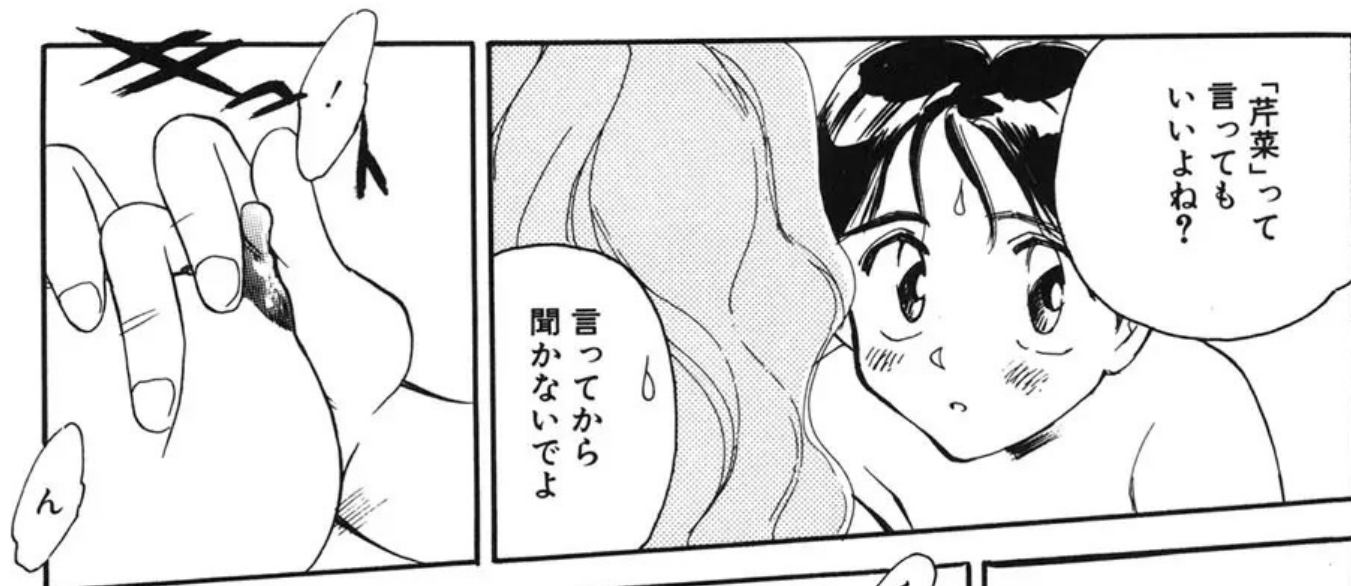
目隠し
するから

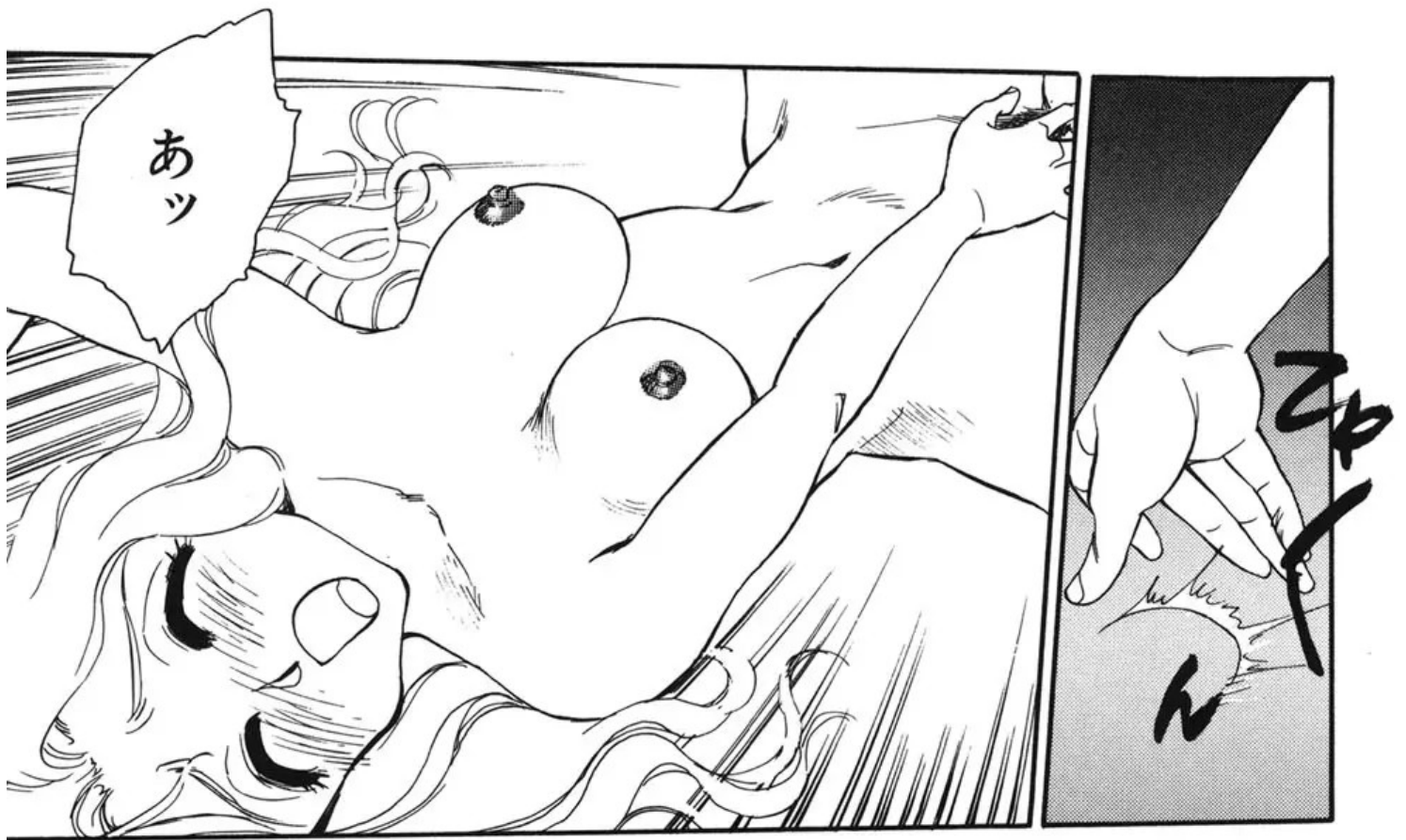
いいのよ
見ても

勝手な奴って
思われるかも
しれないけど

今はもっと
友達くんと
仲良くなりたい













あ
あ

あ

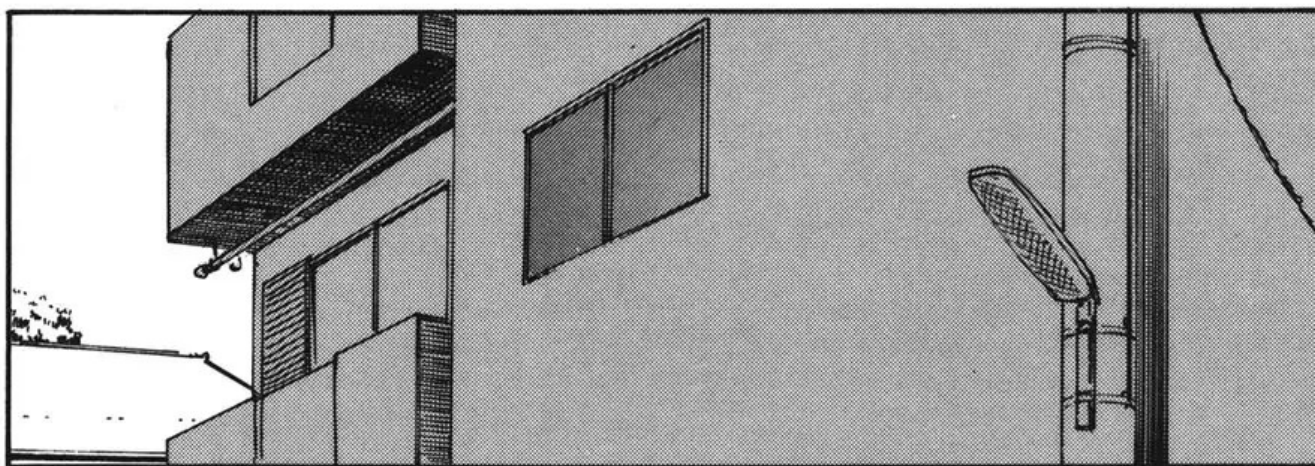
ん

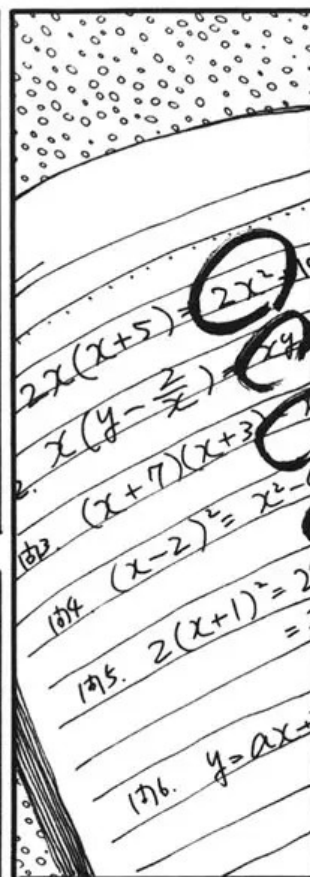
あ

あ

ん









もーそろそろ
来る頃だけど



ねえねえ
文ちゃん



例の子は
もう
来てるの？

MY LIFE AS A CHICKEN #7



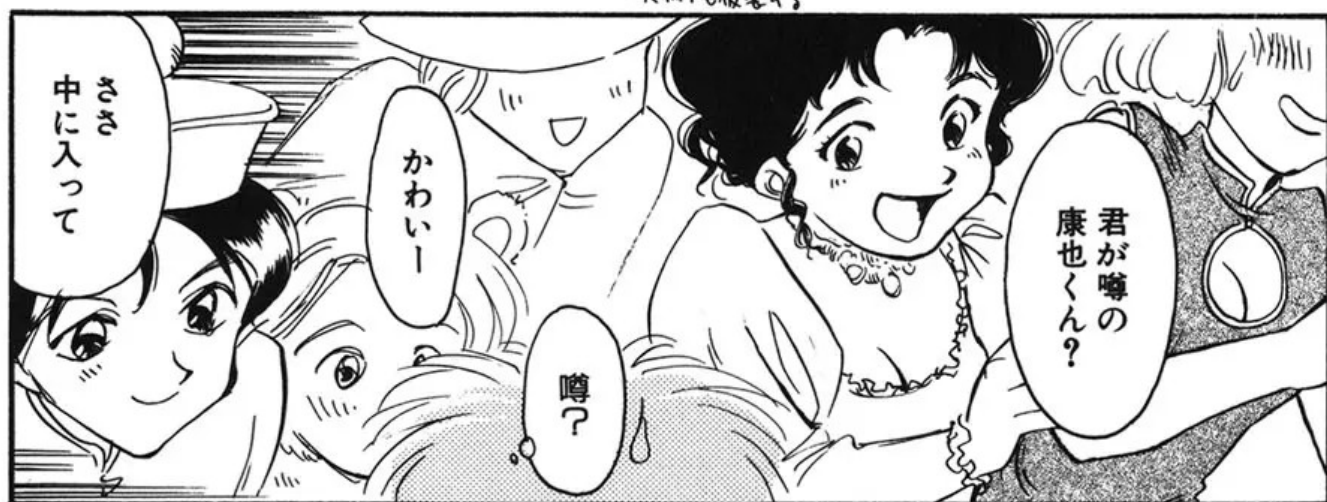
いーの
あたしが
持つてるから

パンフ
買わなきゃ

今日は
ご主人様の大学の
大学祭

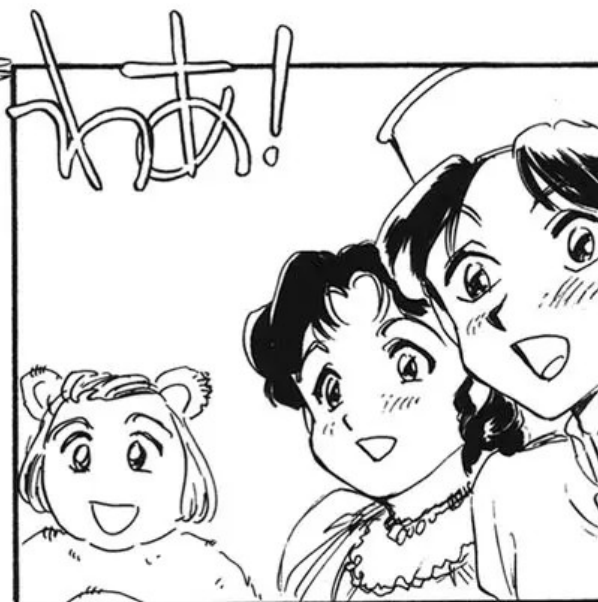
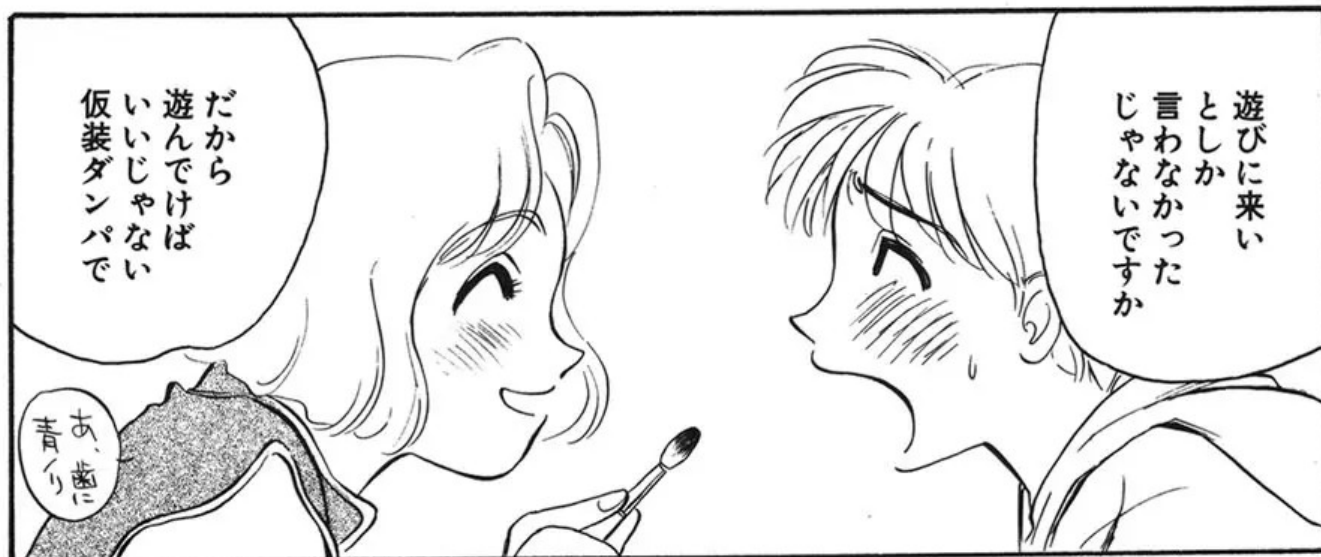


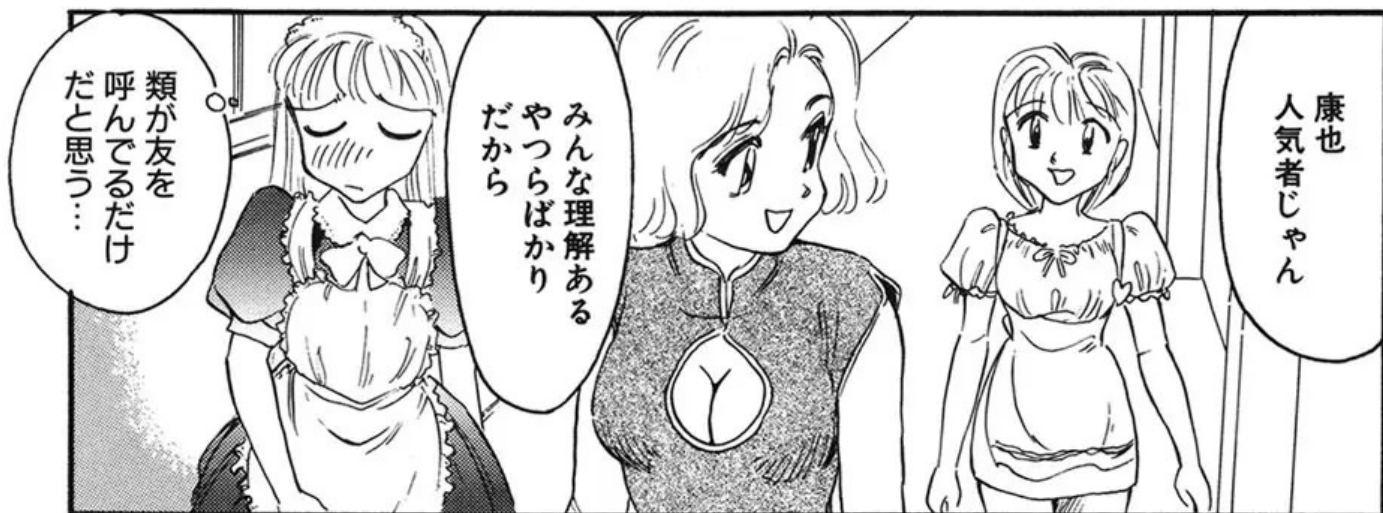
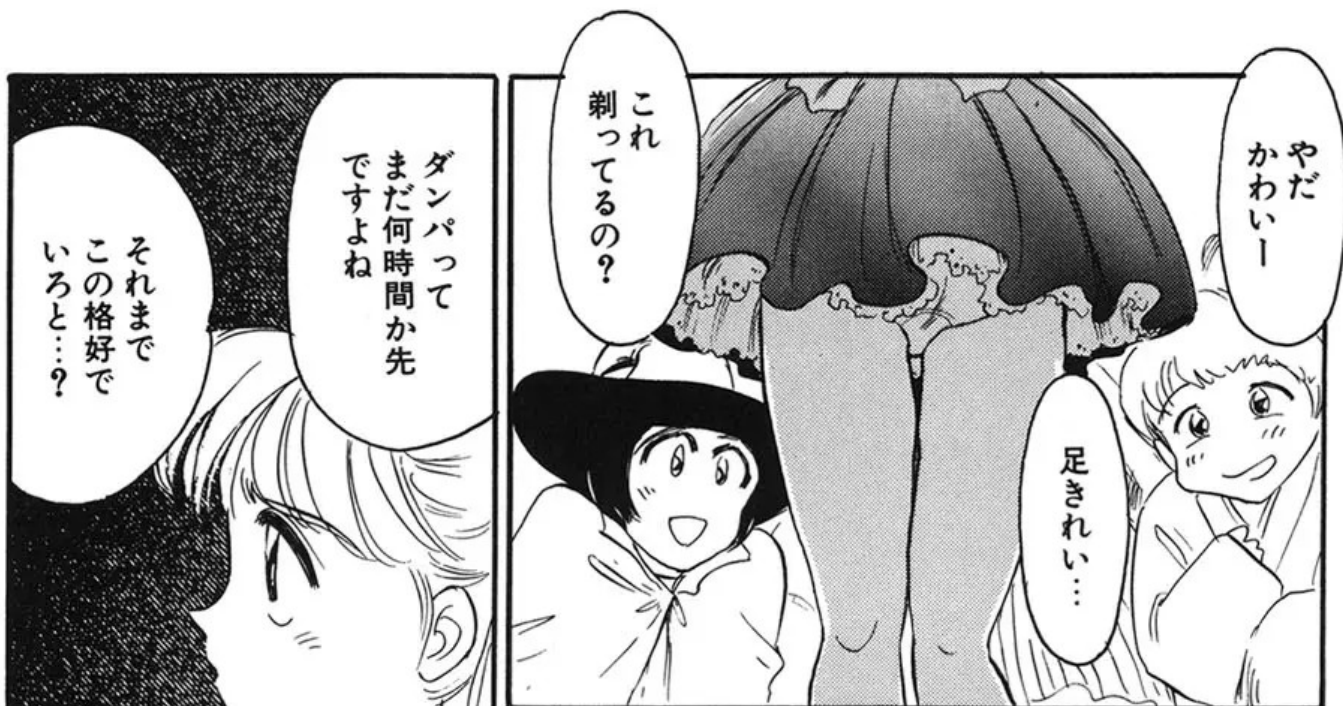
スリッパも仮装する

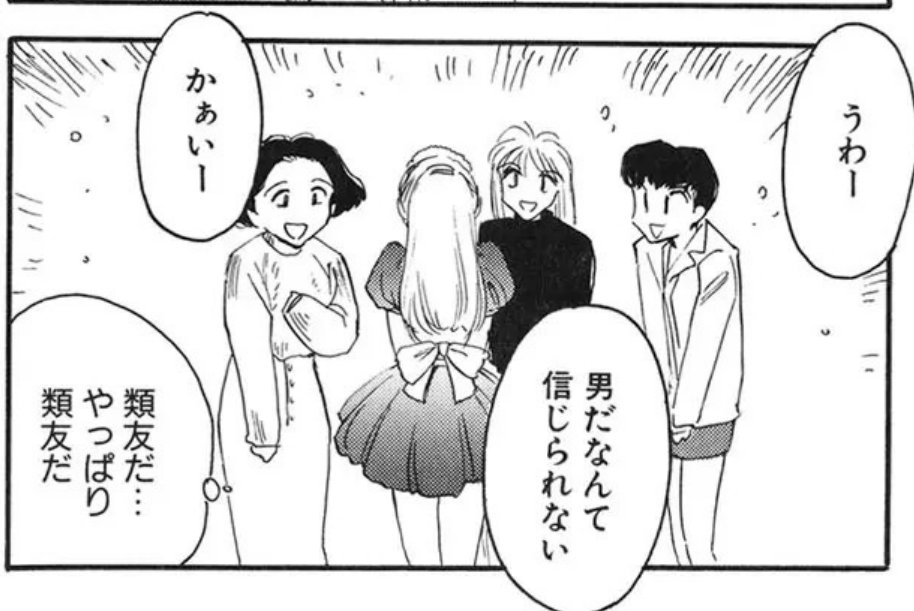
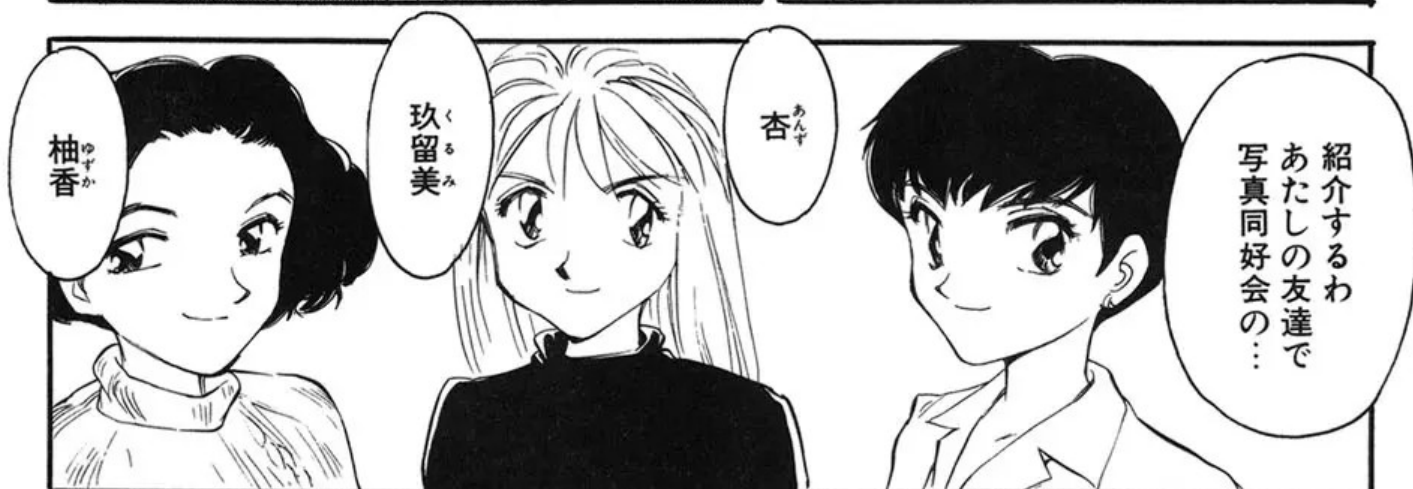
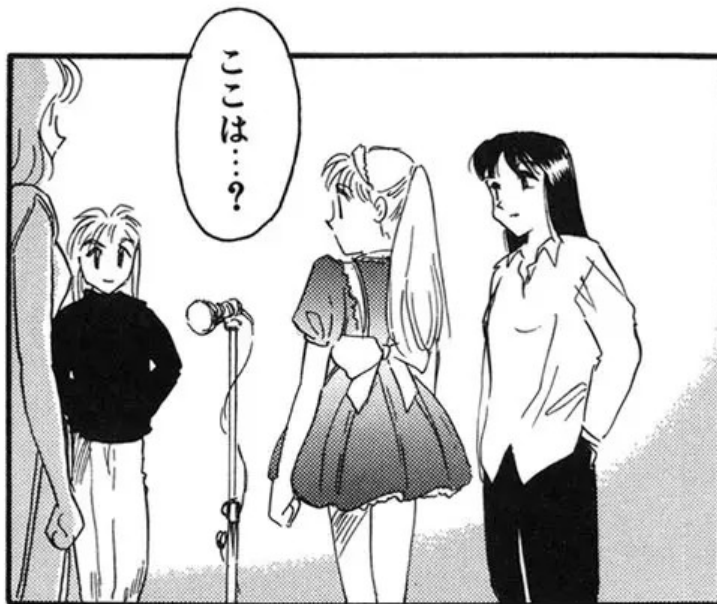


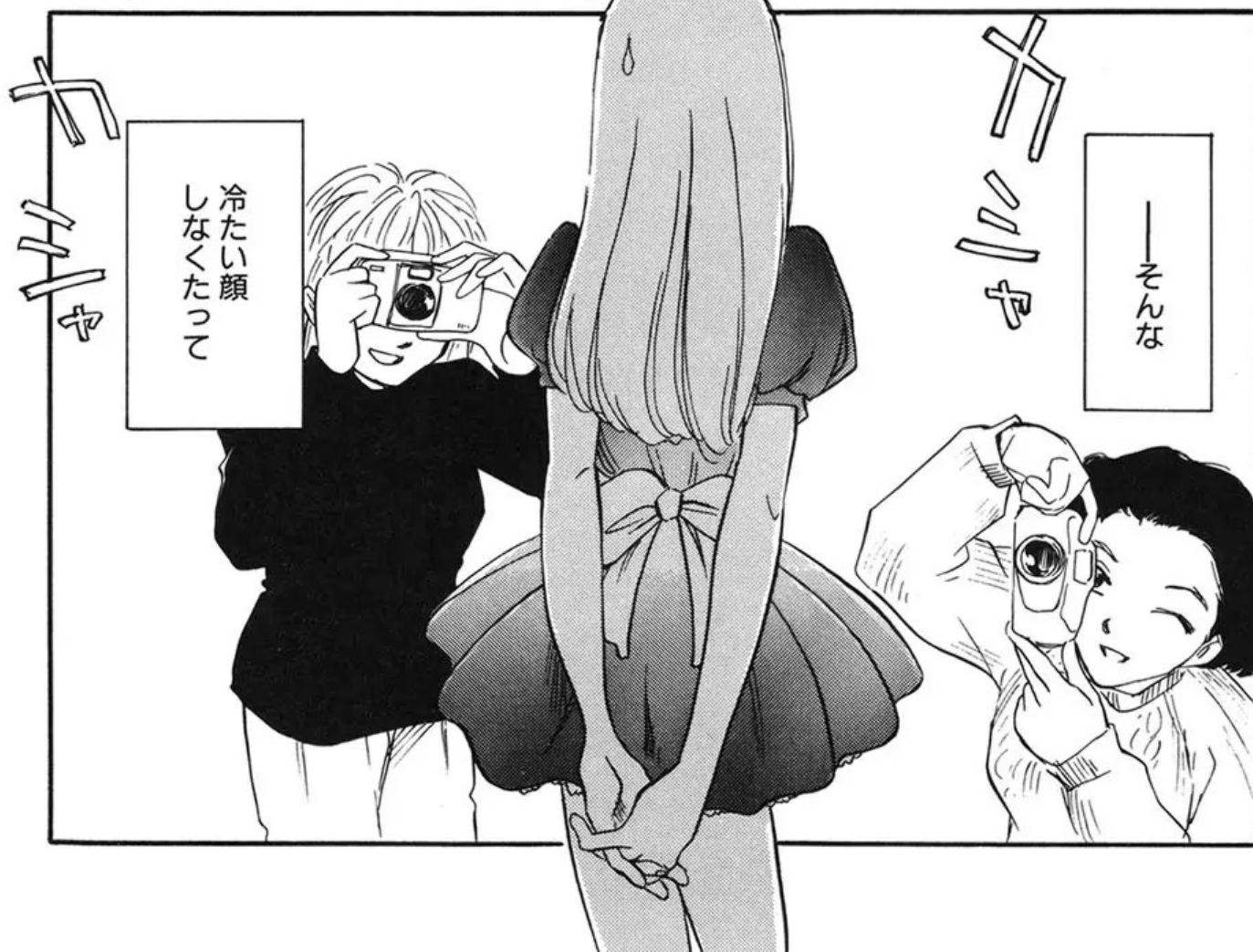
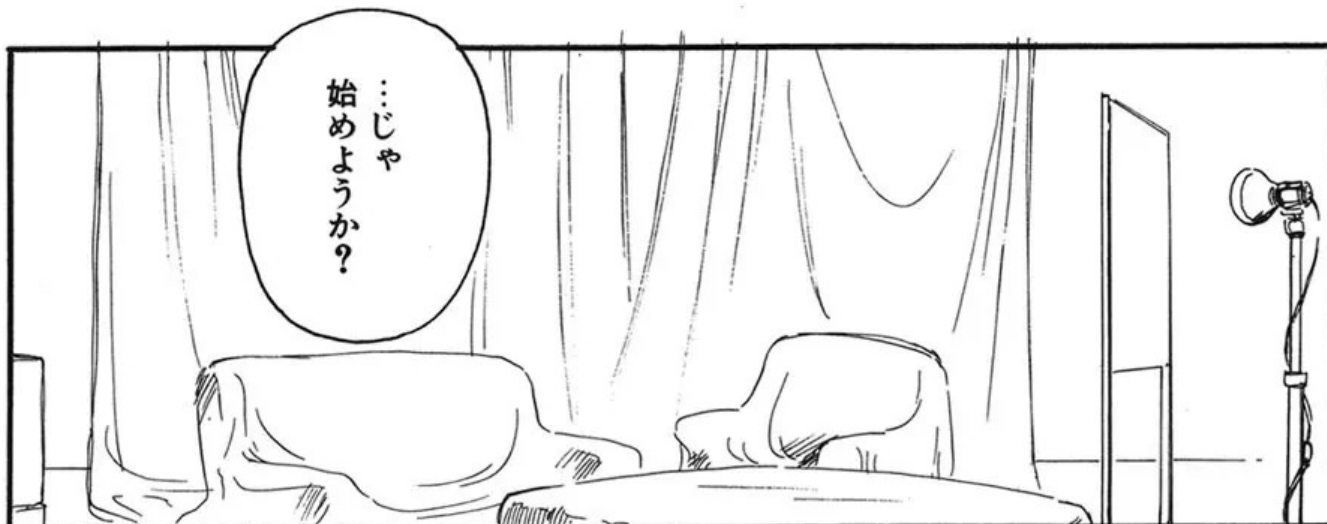
何の仮装かは内はぬよう

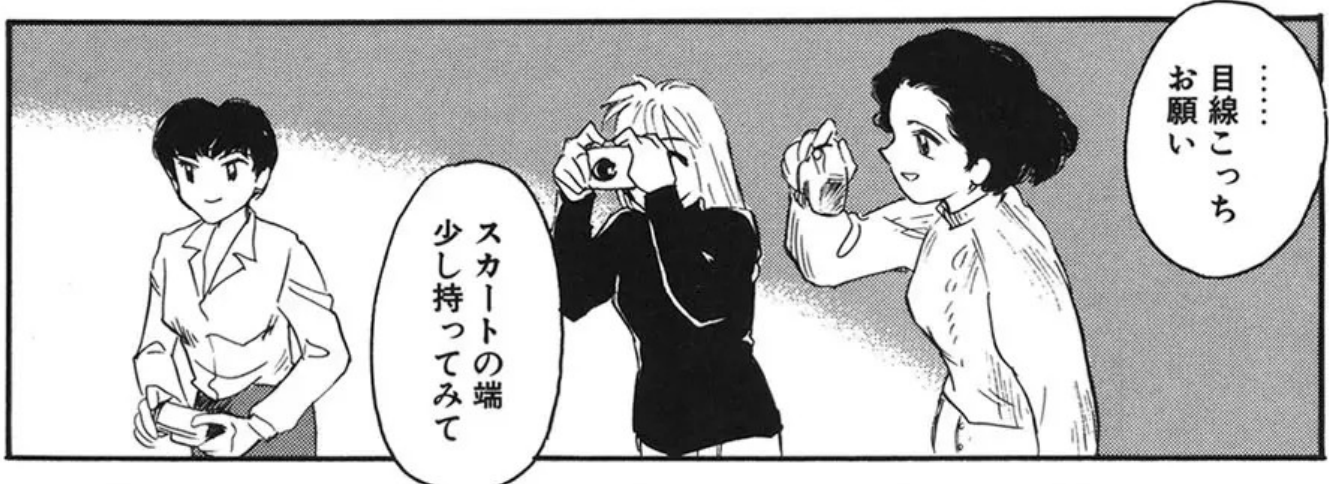
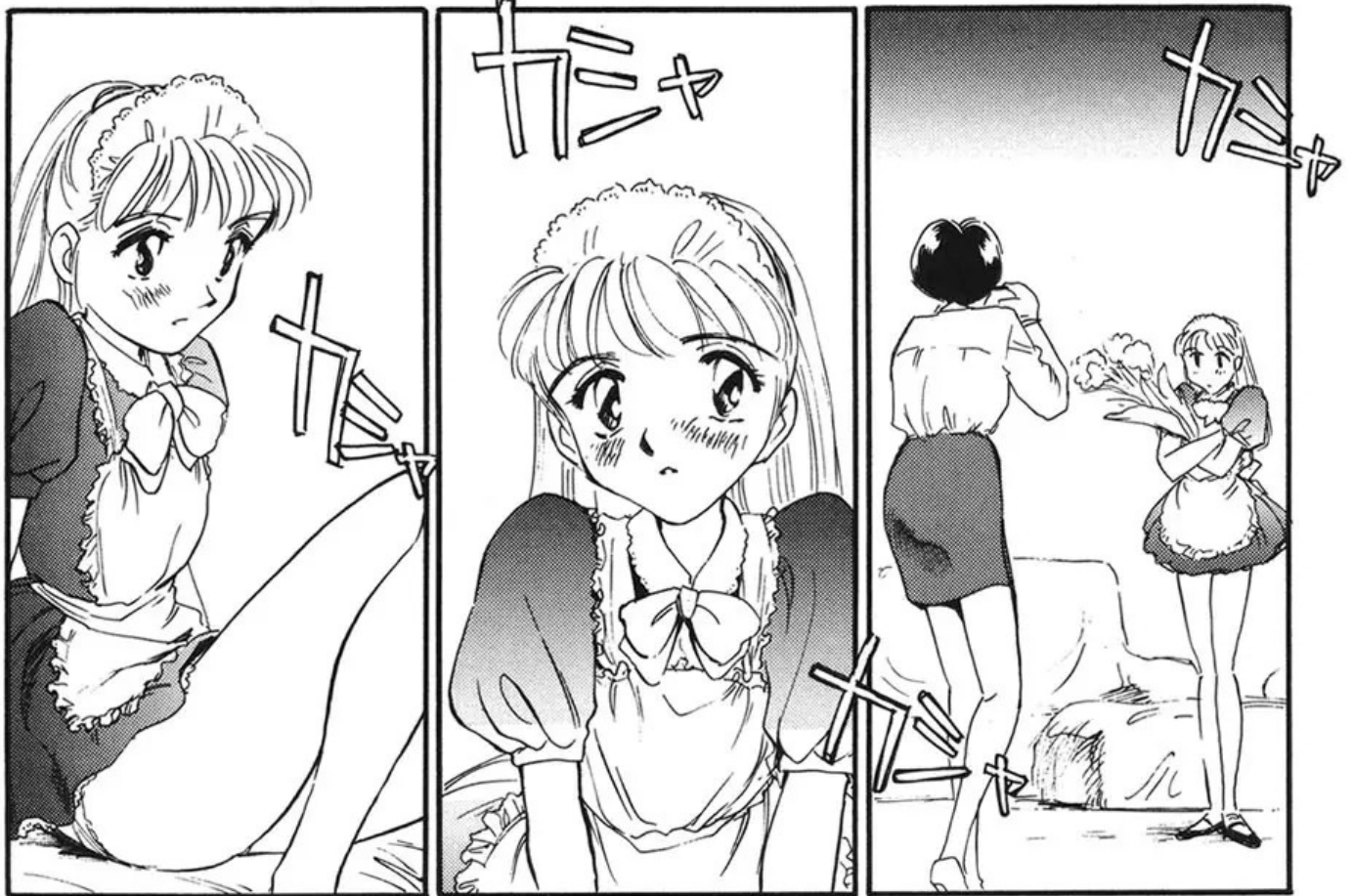


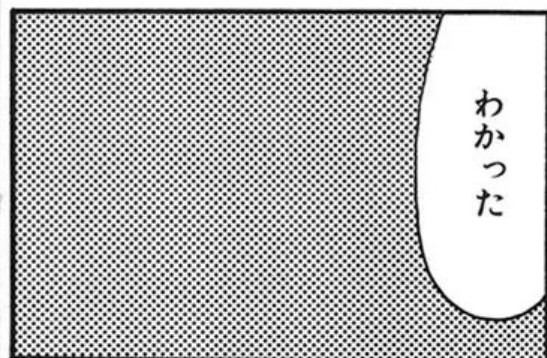
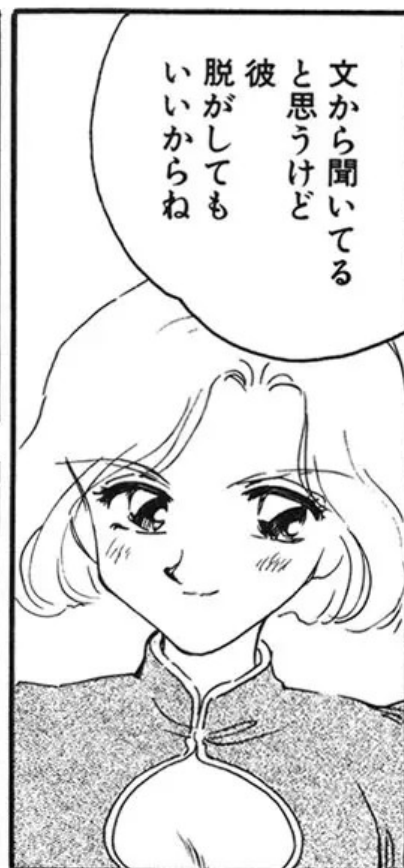
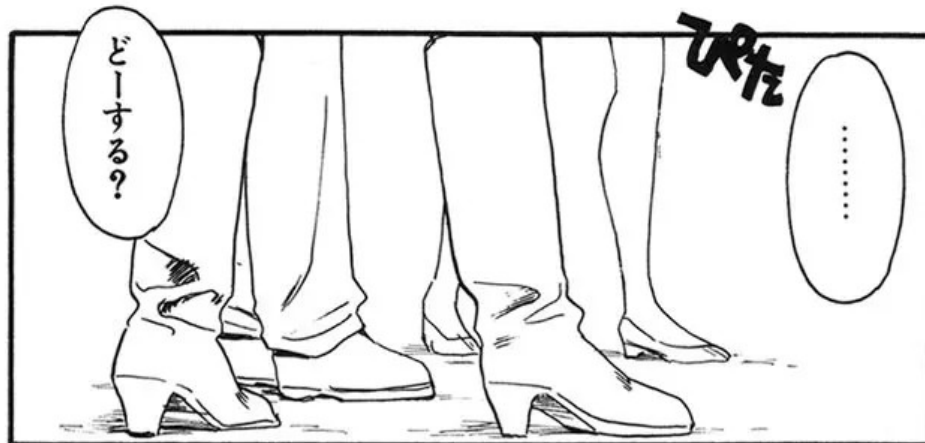












康菜
あたしの友達
なんだから
しっかりご奉仕
するのよ

カメラ
お願いね

交代
してよね

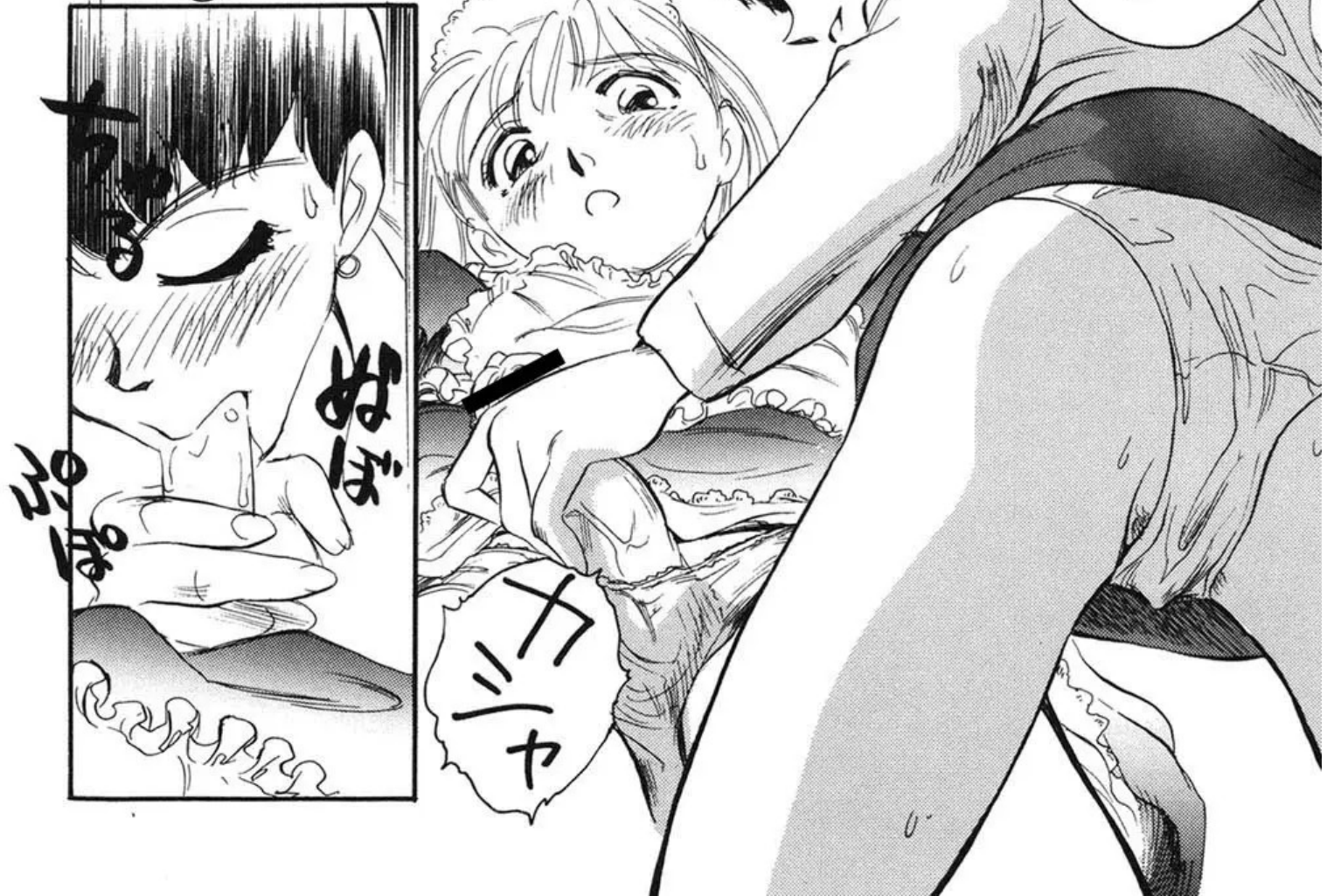
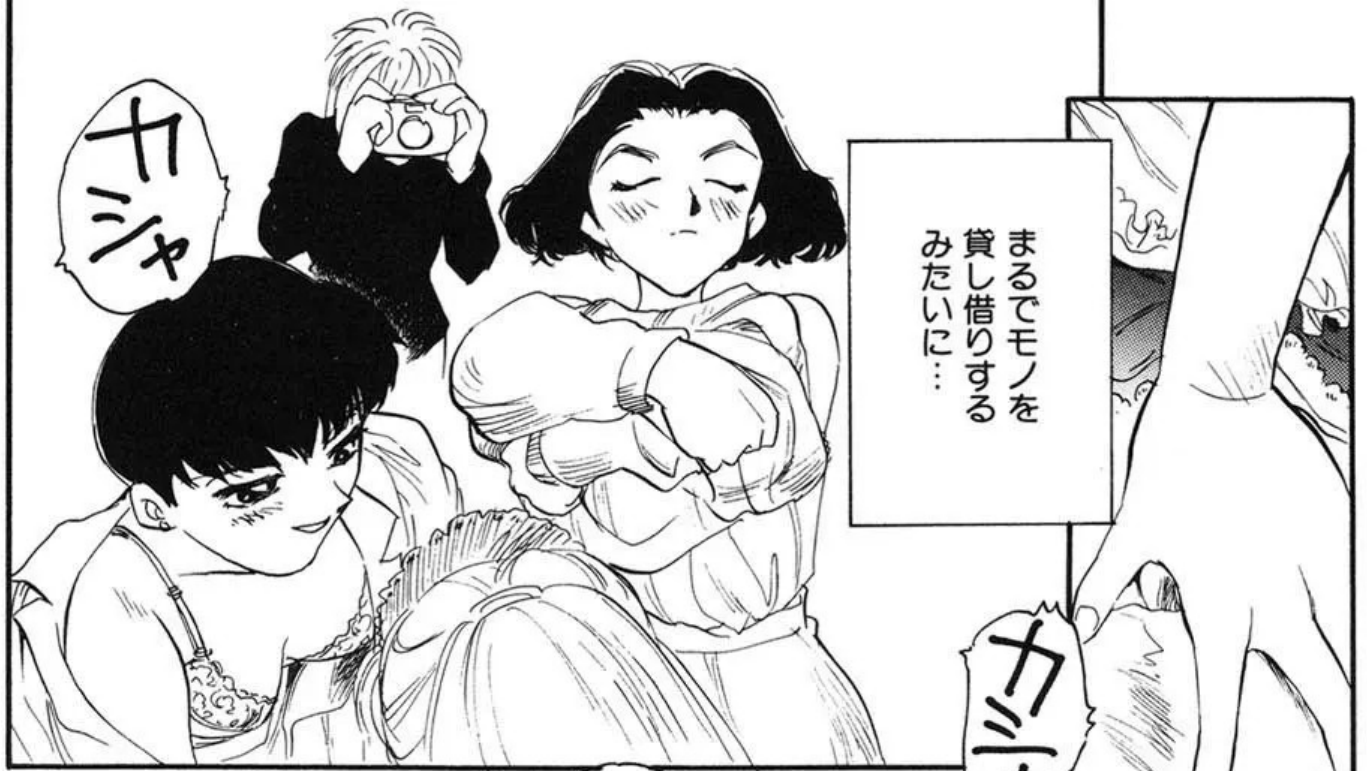
よろしく

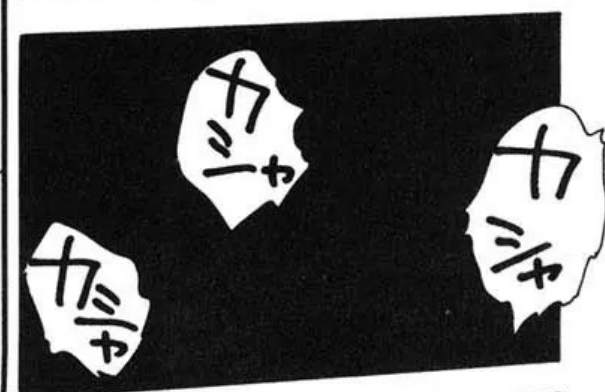
よ..
よろしく

あ..

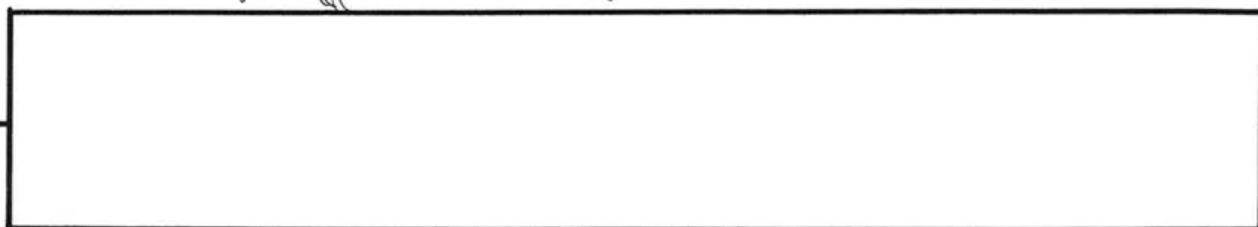
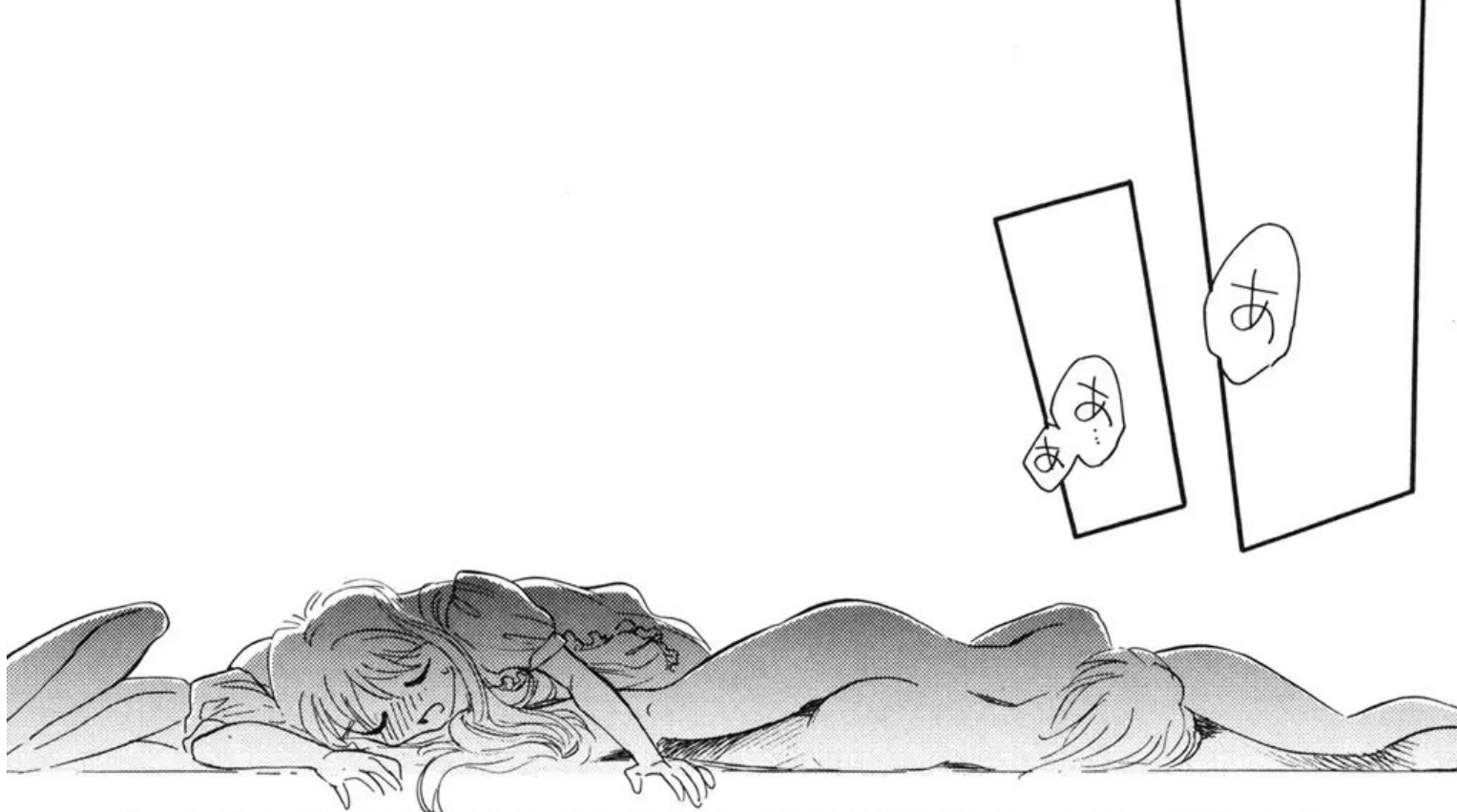
こんなに
堅く
しちゃって

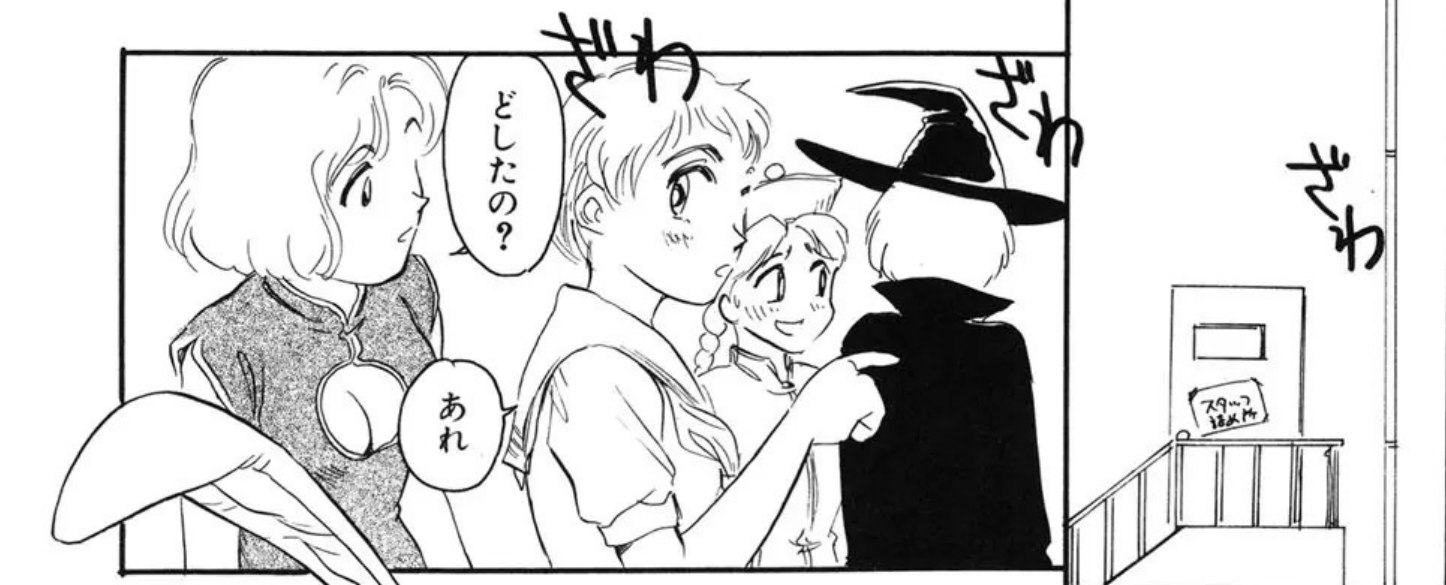
.....
ひびく

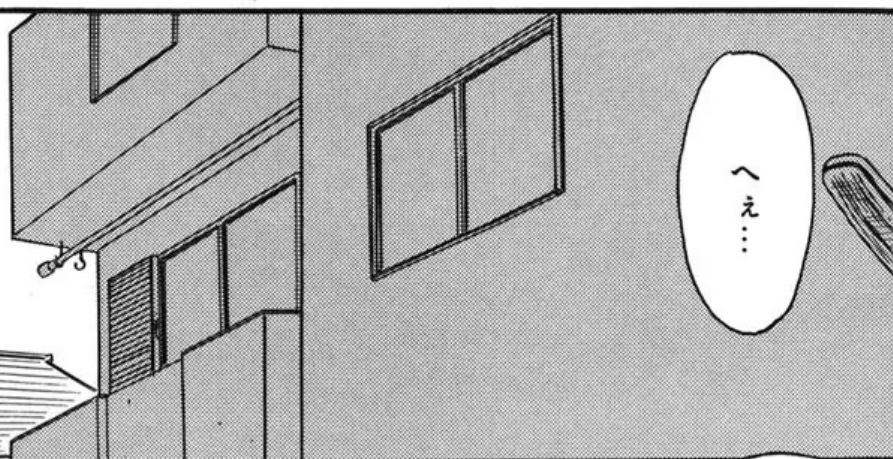
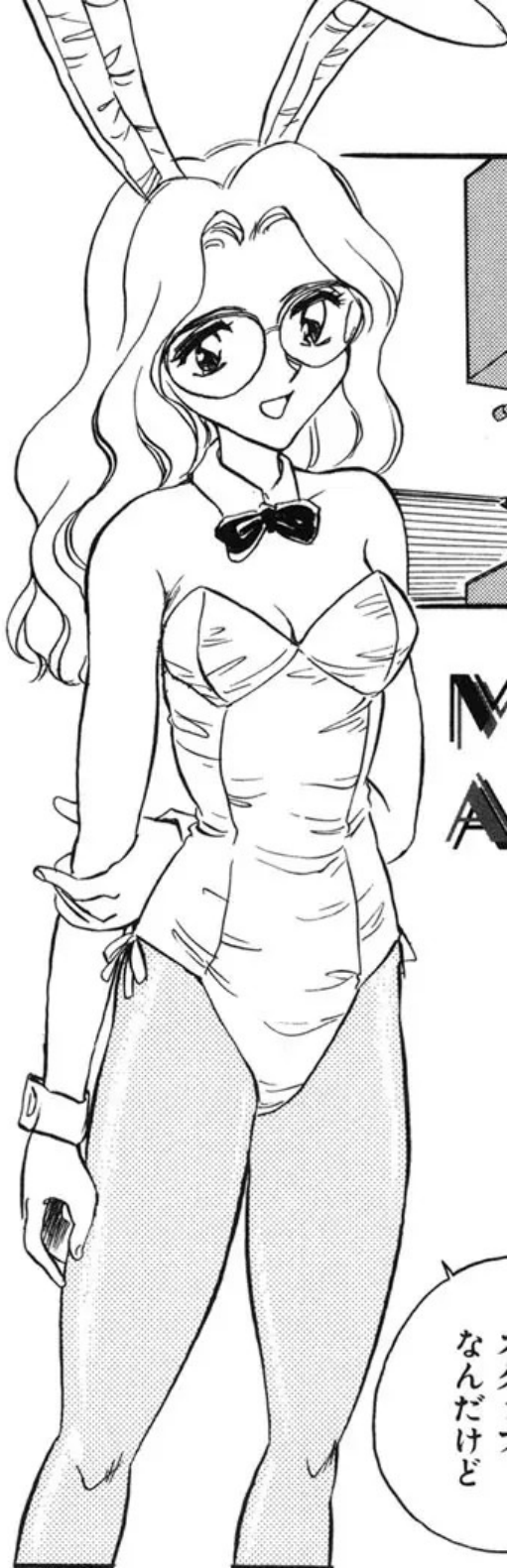












MY LIFE AS A CHICKEN #8

仮装
ダンパ
ね...

あたしは
スタッフ
なんだけど



に…似合う
かな…

…やっぱ
メガネやめて
コンタクトに
しようかな

もっとハイレグ
のほうが
いいな

つまんない

え

胸の谷間も
もっと見せ
なきゃ

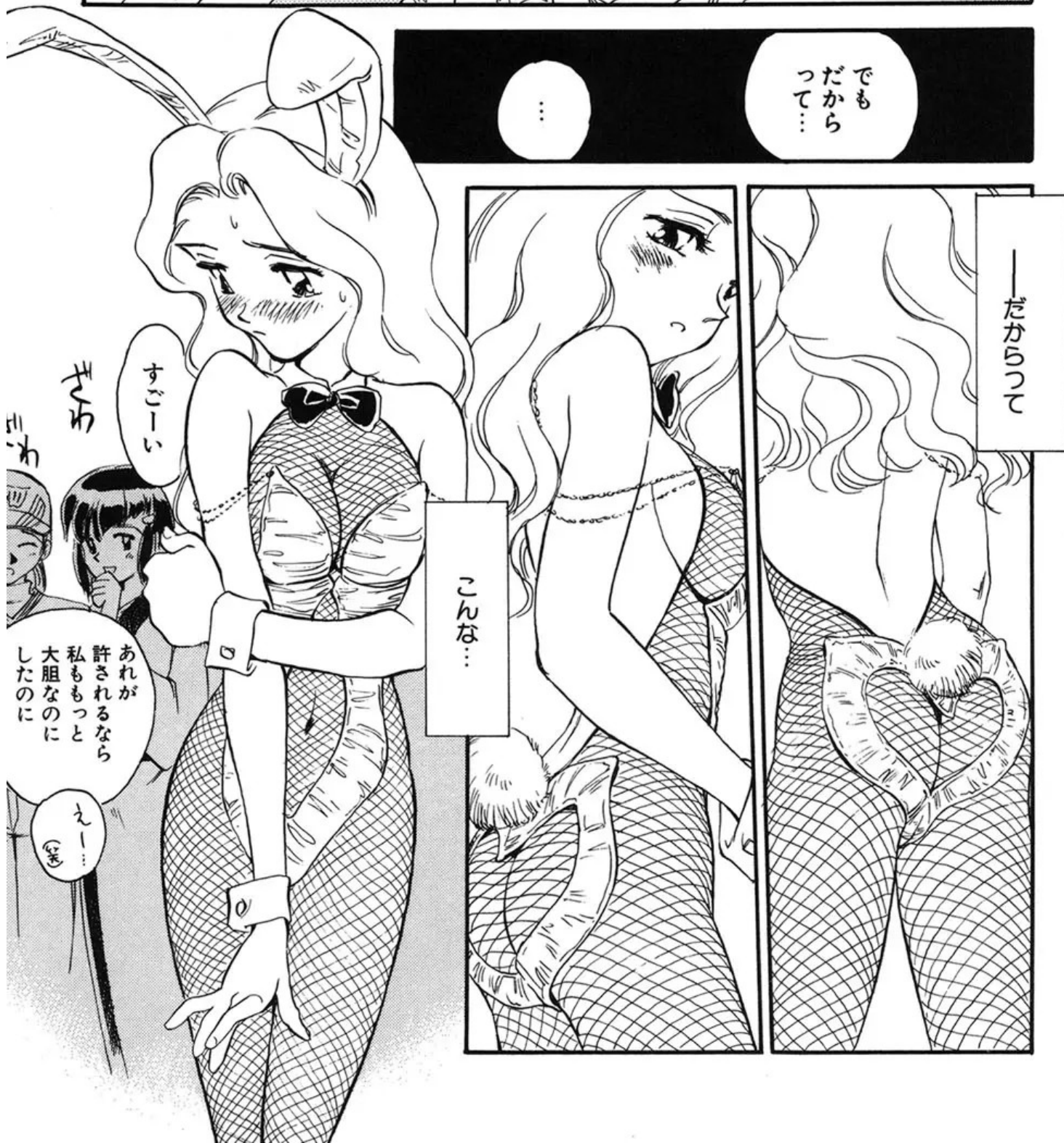
仕立て直そうよ

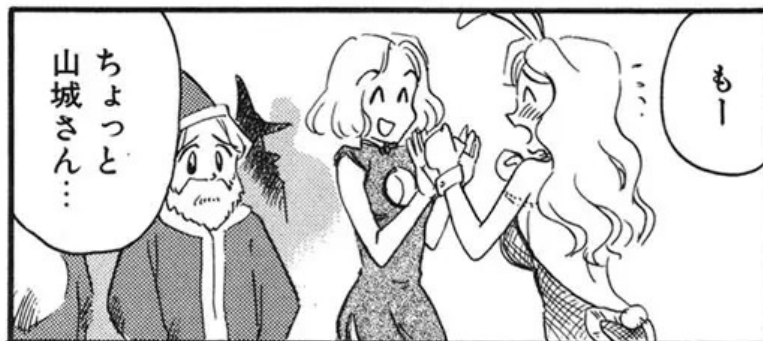
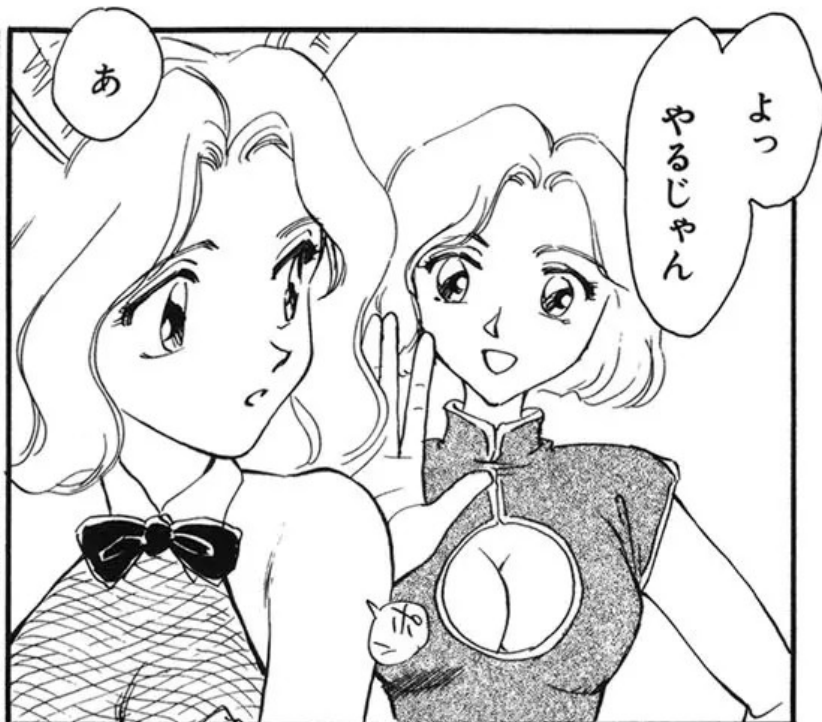
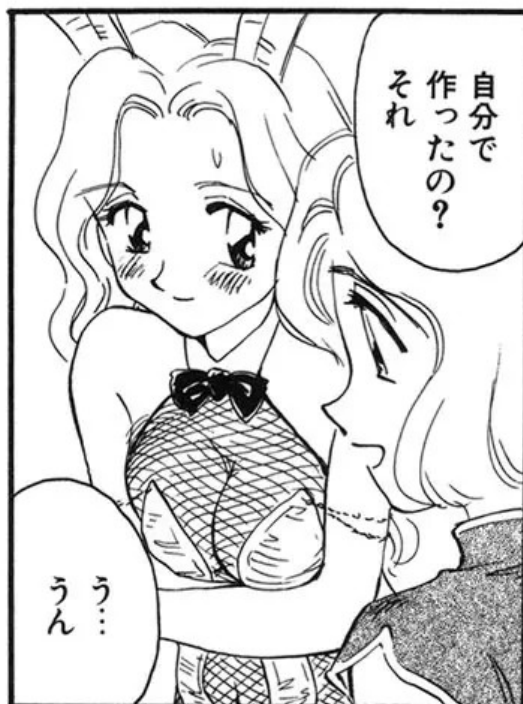
一番地味なの
を選んできた
のに…

ちよ…
ちよつと

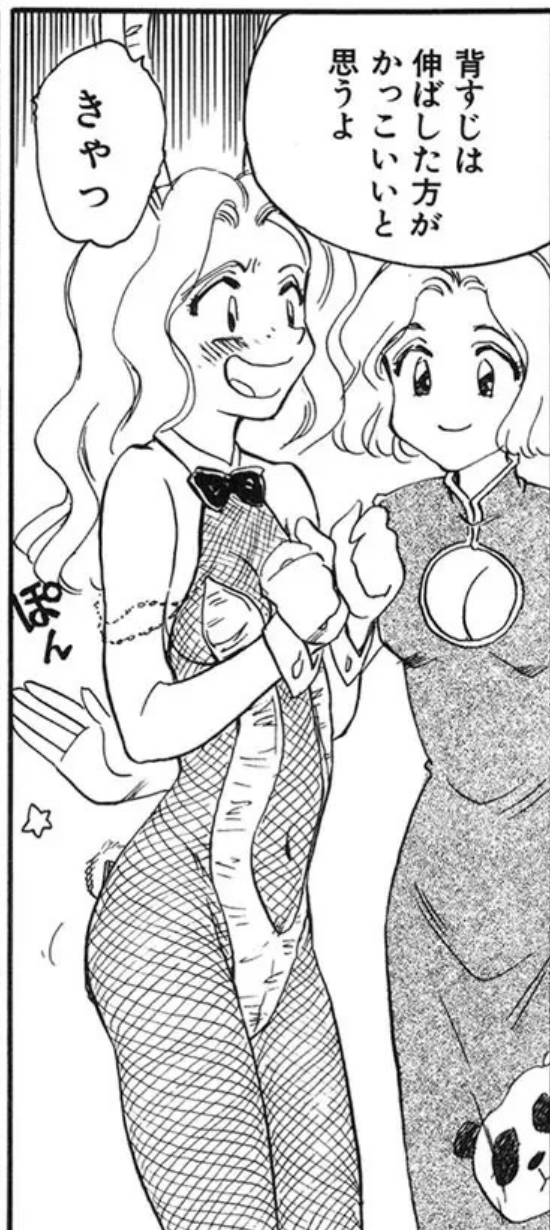
どうして？

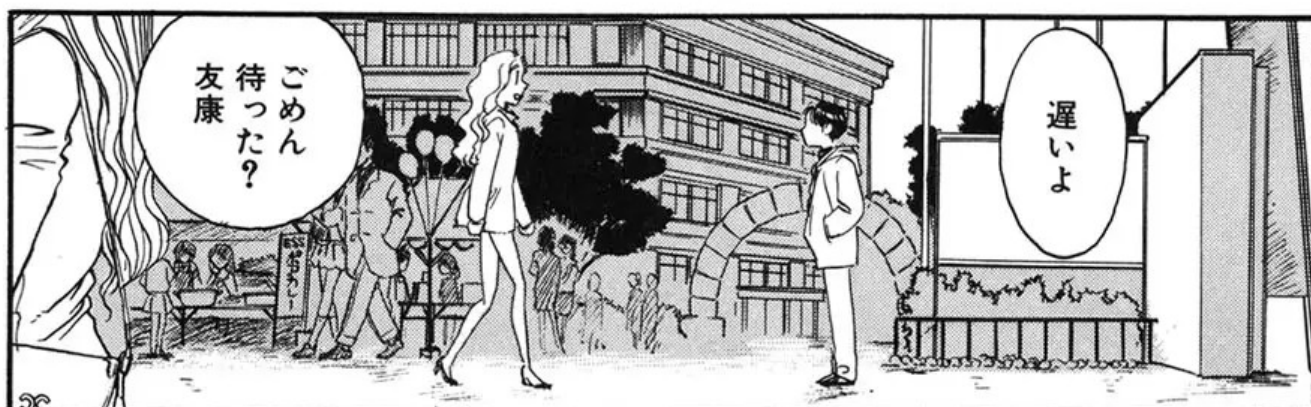
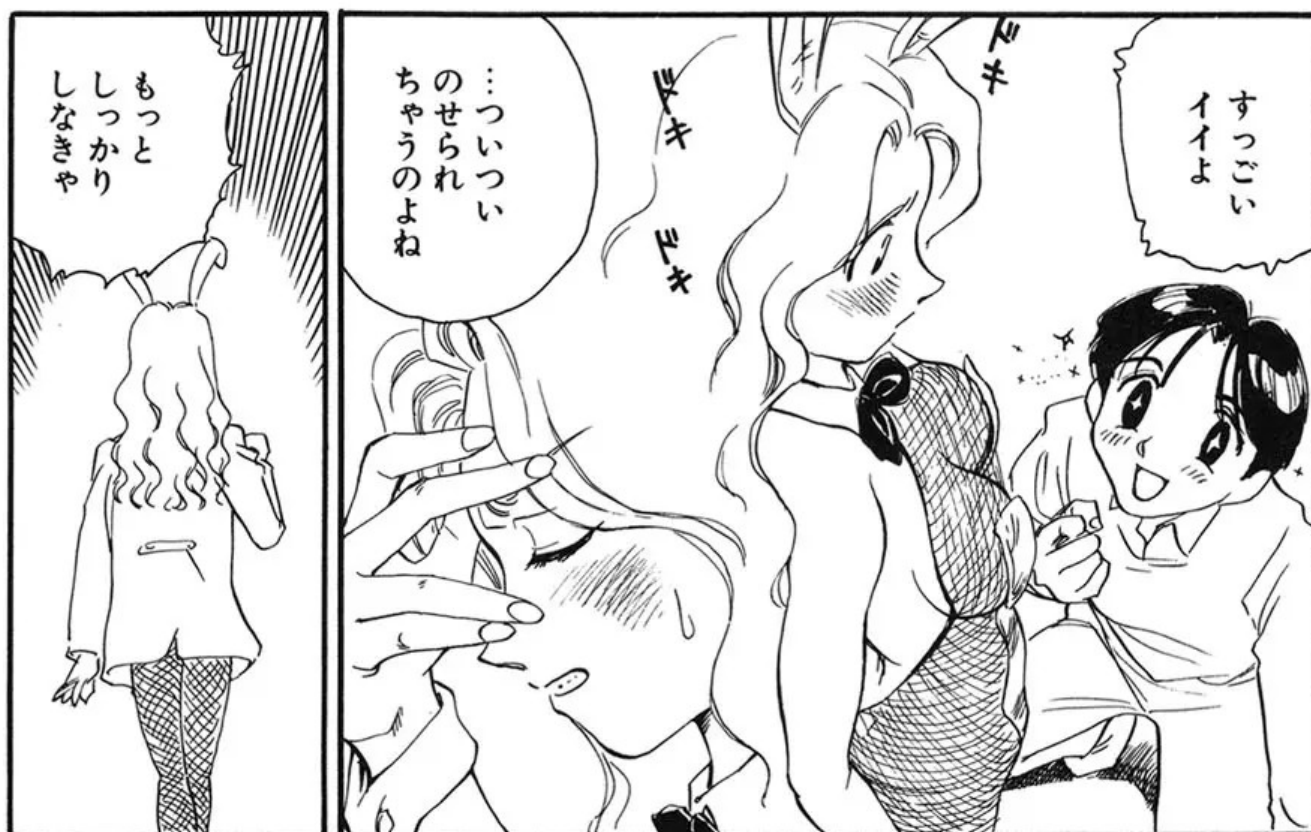
どうせやるなら
注目されたほうが
いいじゃない

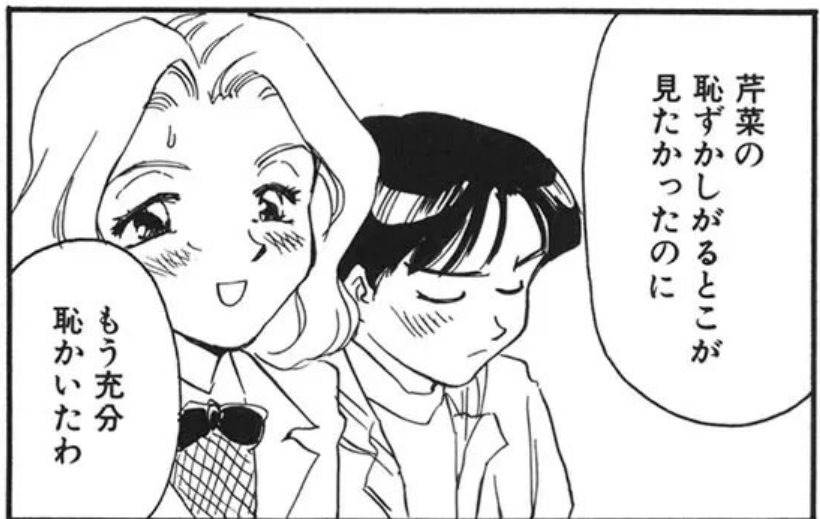


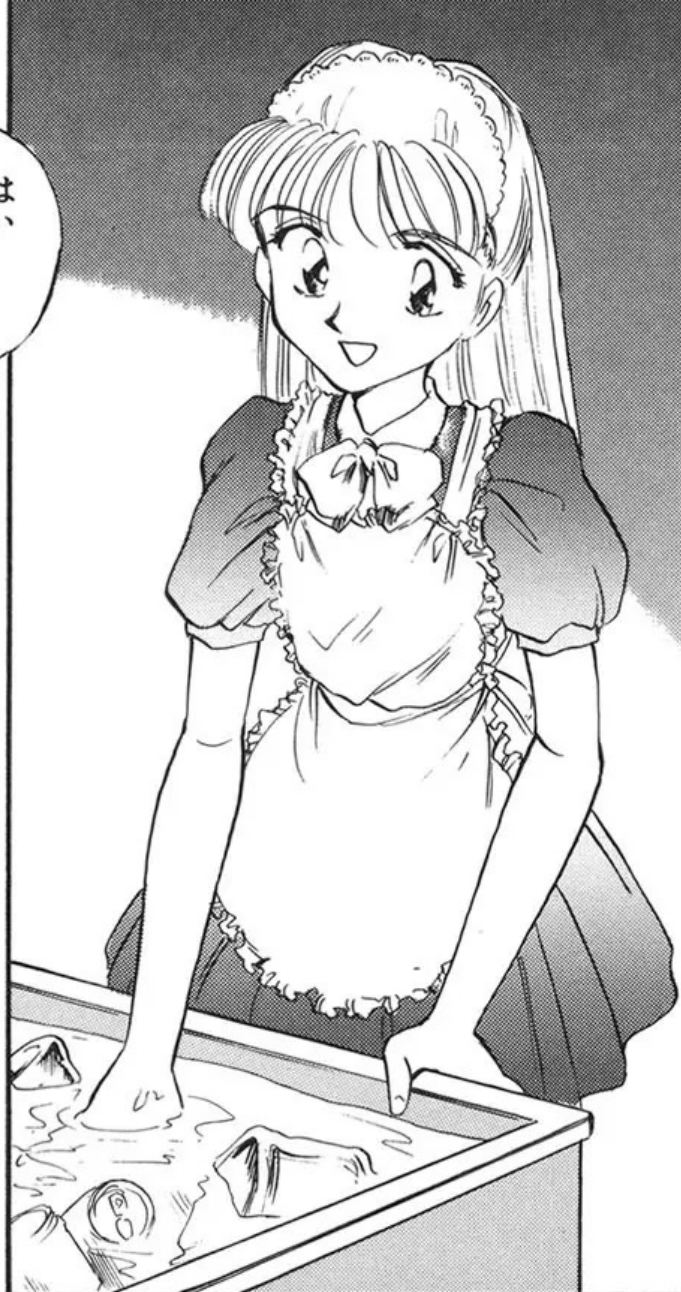


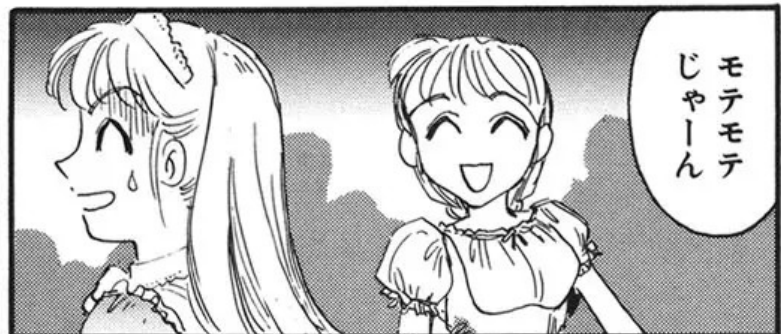
前回同様、何の仮装かは固はぬやうに。











あら
あのコが
気になるの？

.....

実は男のコ
なんだって

あのコはあそこで
ジュース売ってる
梨乃さんて人の
親戚だって

あたしさっき聞いて
驚いたんだけど...

えー
信じられ
ない

でしょ

ほら
アイサツ
して

いるのねー
こんなコ

こ...
こんにちわ

てなわけで
スタッフの間で
人気者よ

友康にそういう
趣味があるなら
紹介してって
頼んであげるけど

冗談だってば
そんな
怒らないでよ

どうして
こんなとこに

くそ

せっかく
忘れかけてた
のに

コート
脱いで

そ…そんな
怖い顔
しないでよ

だめだ…

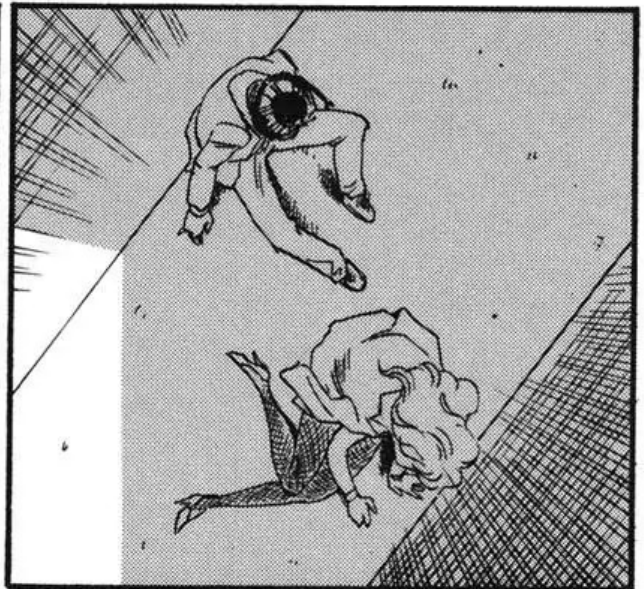
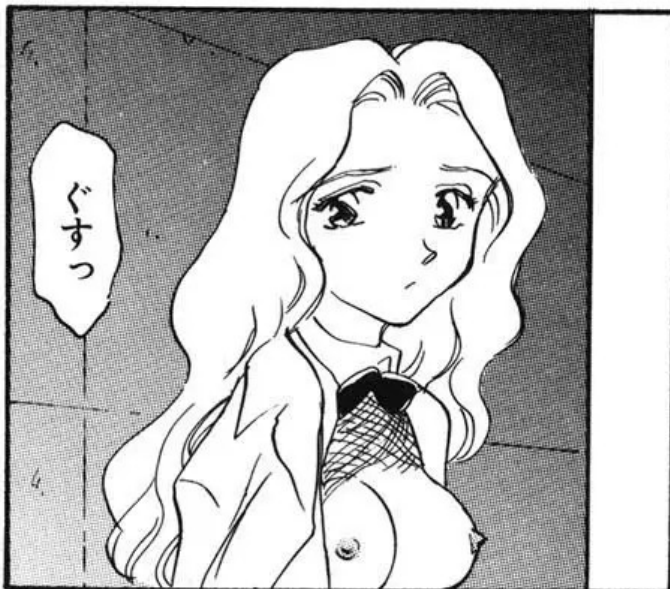
なに…
どこ行くの

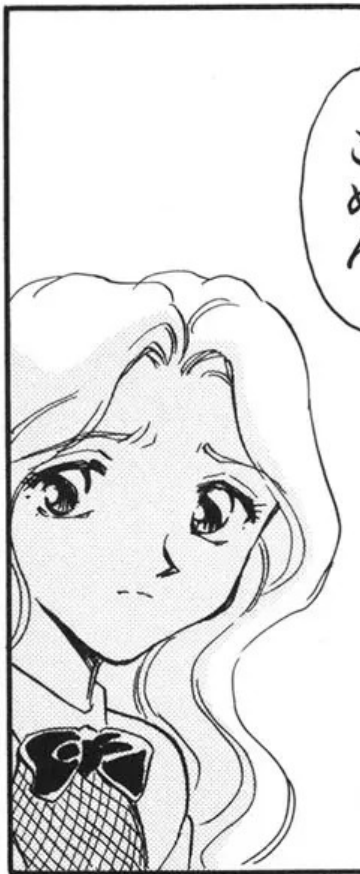
いけない



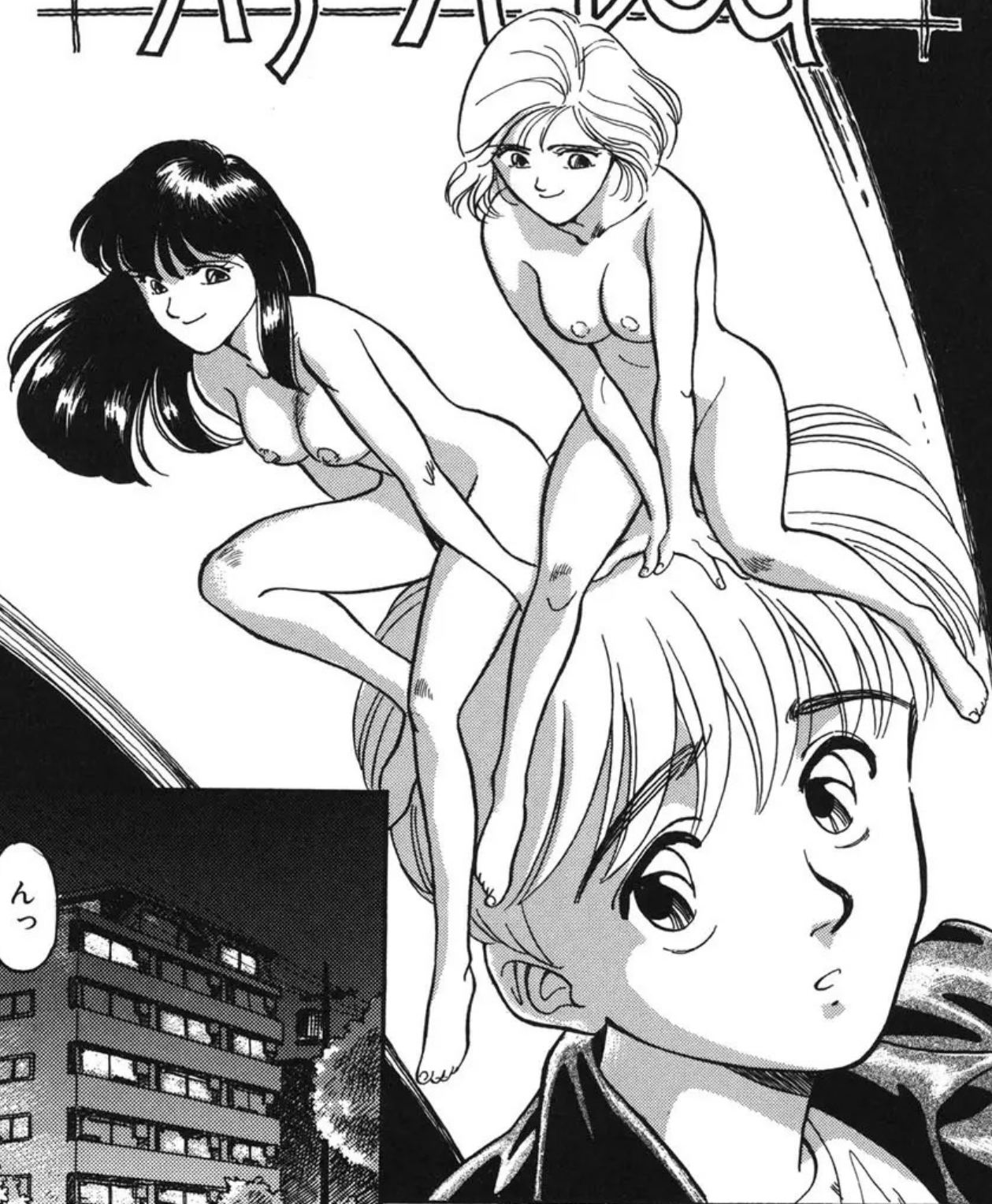








MY LIFE AS A DOG





よしよし
若い若い



しゅ
しゅ
しゅ
しゅ



はい交代

あの…
俺あした
早いから…

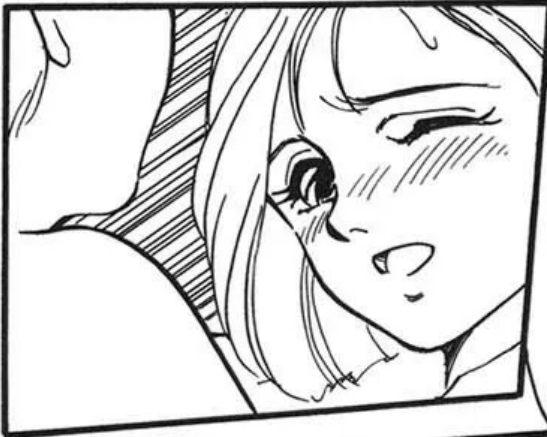
そー簡単に
バテないよね
康也♡



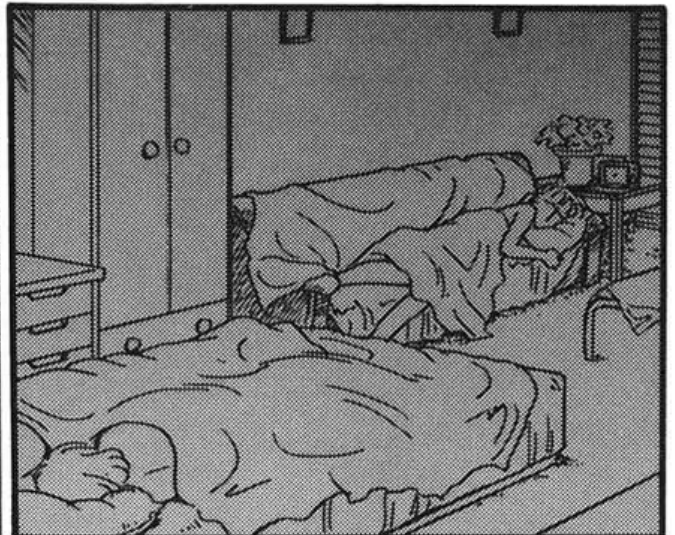
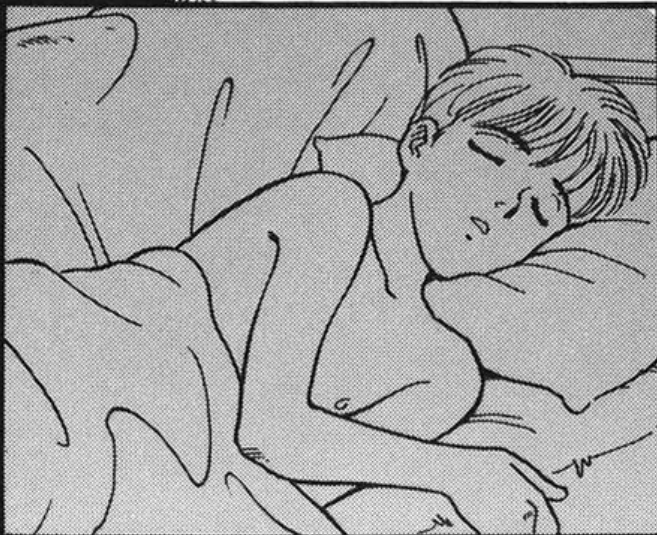
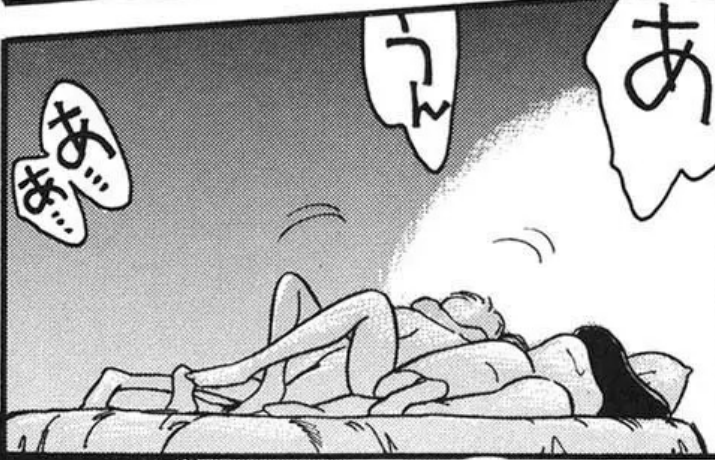
うだうだ
言わないの
居候!

…ずるい
よなあ
自分たちは
明日大学が
休みだから
って…

何言ってんの
好きなくせに



そーそー
その調子







はあ

はあ

はあ

はあ

ふう...

こんなのが
トラウマなんて
情けねーよ

あ!

やべえ

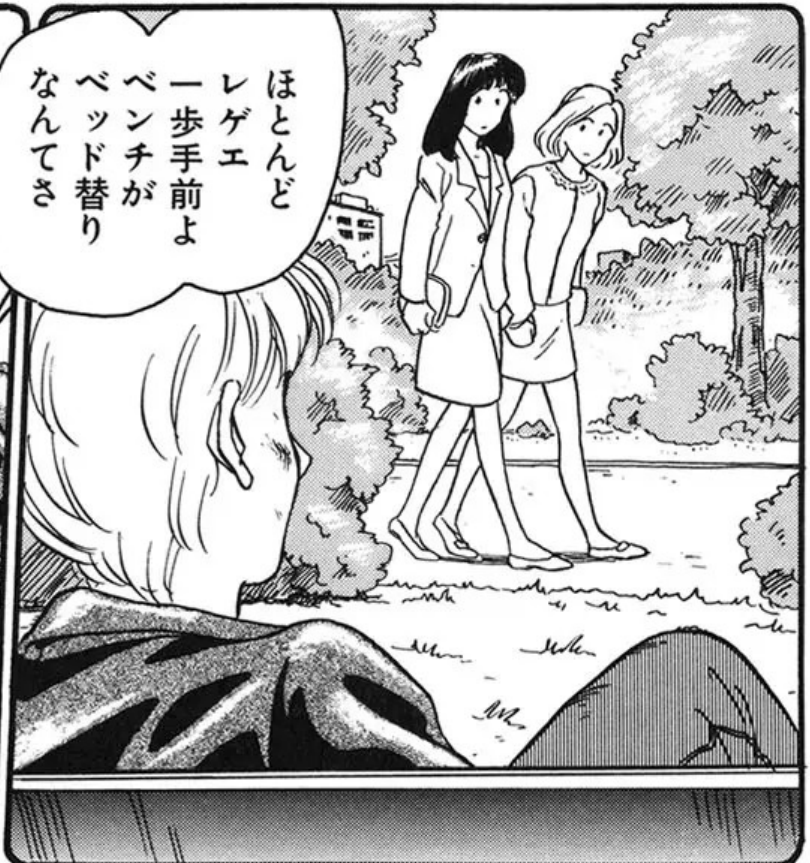
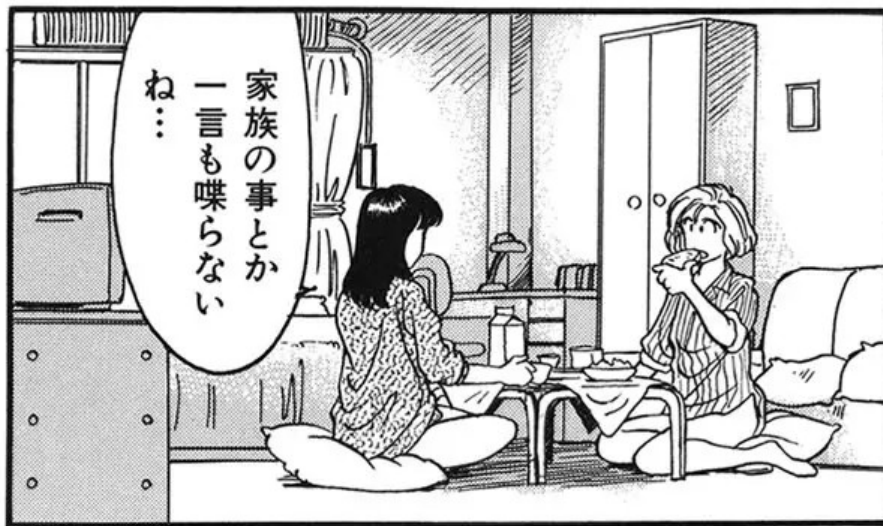
バイト

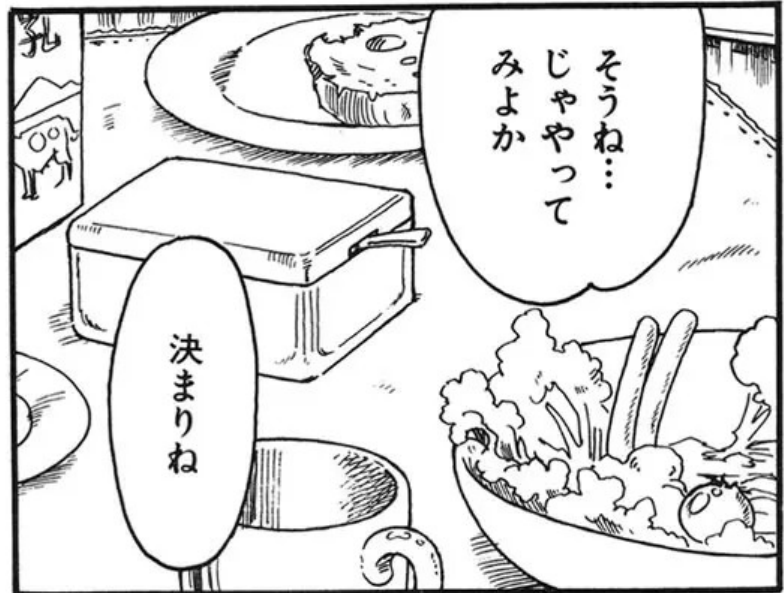
ばた

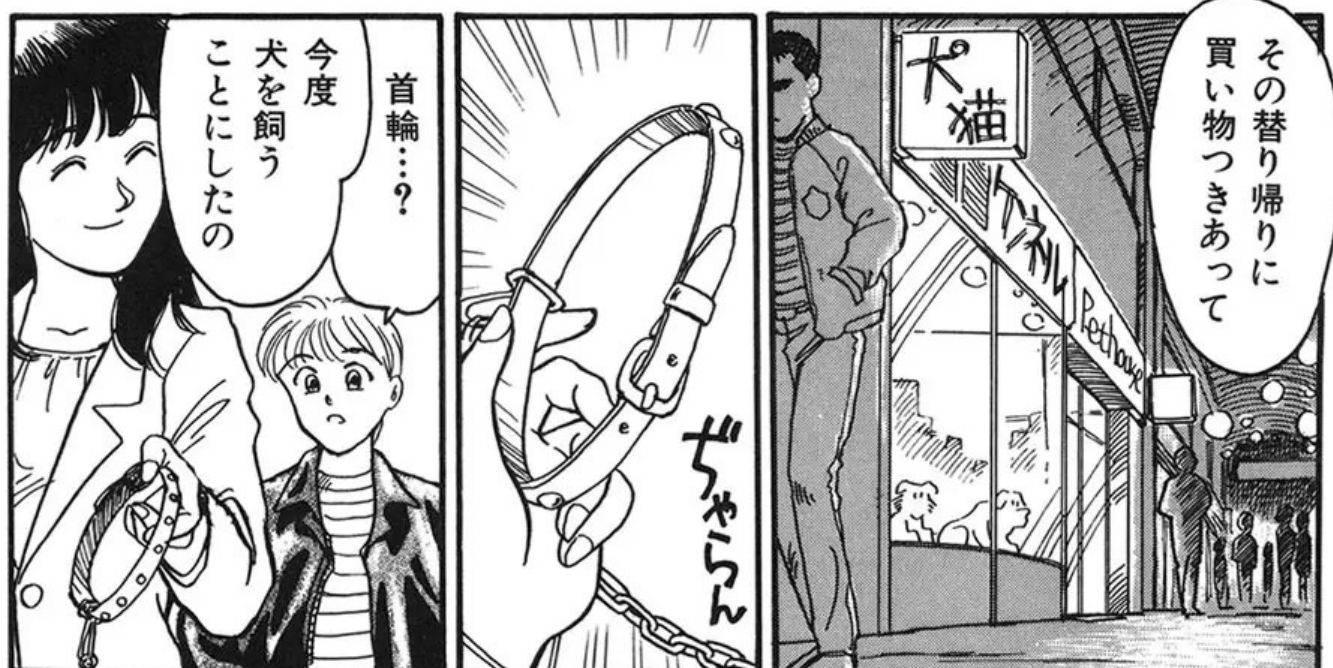
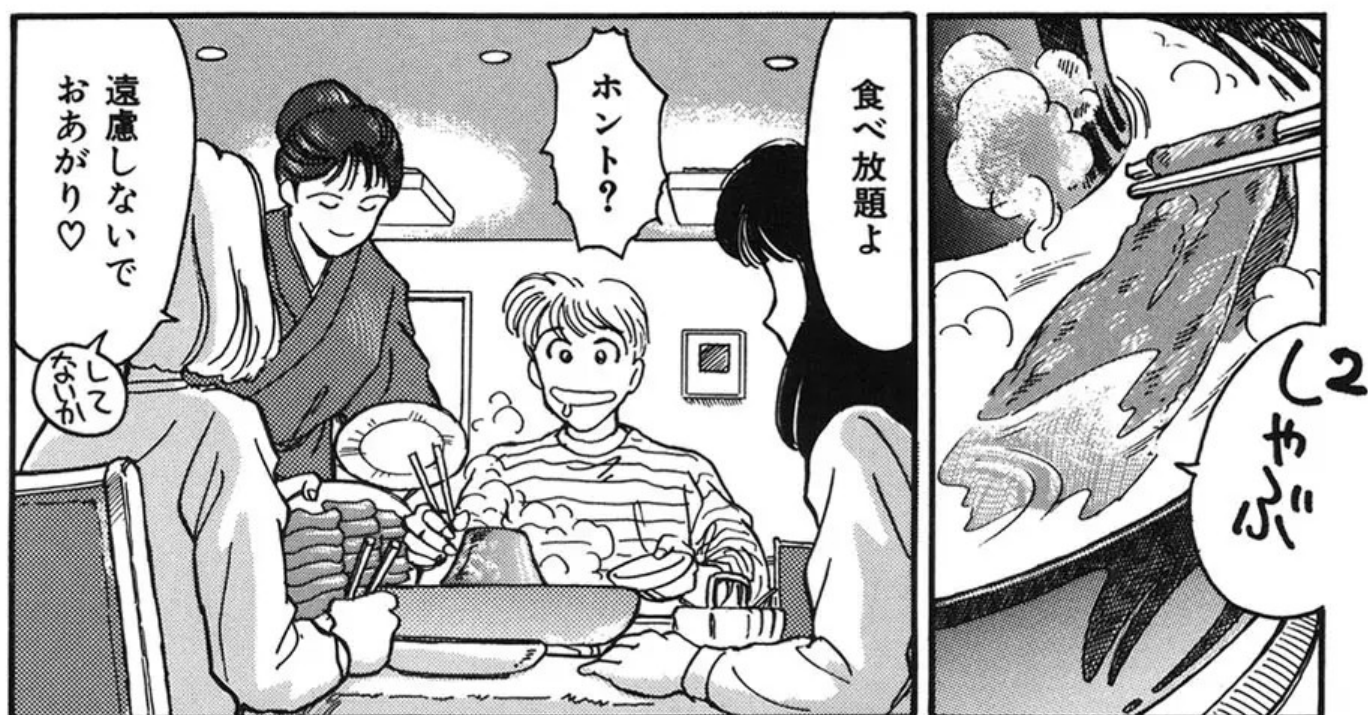
行っ
てき
まー
す!

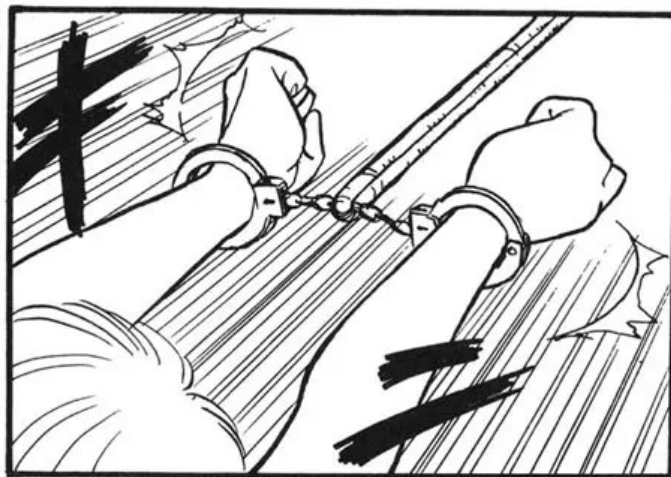
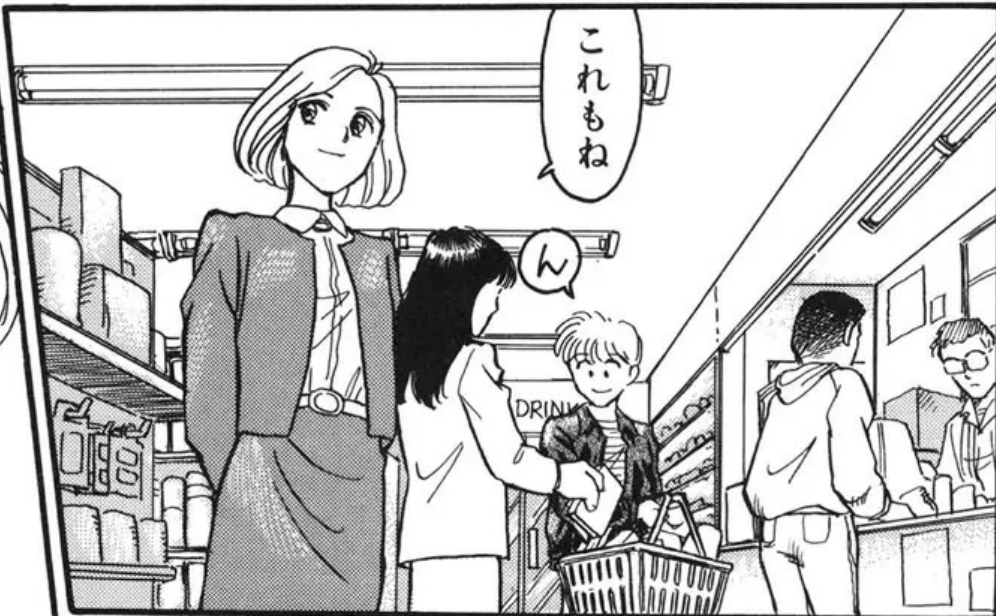
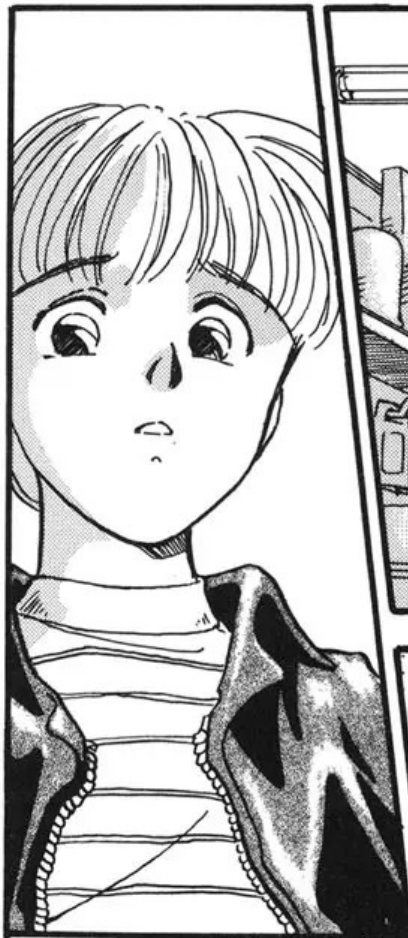
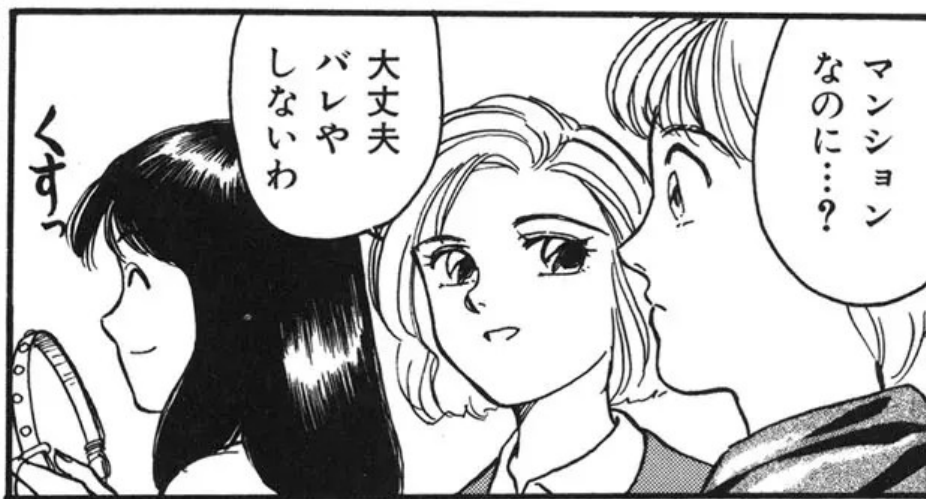
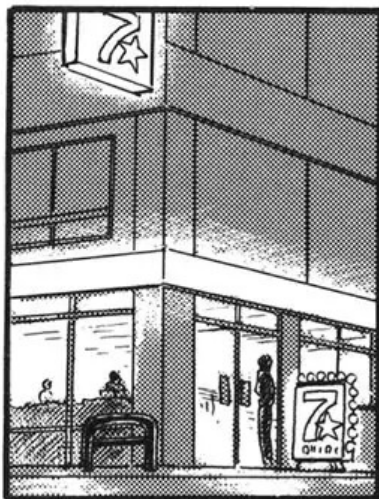
いっとういー

だーる
せー

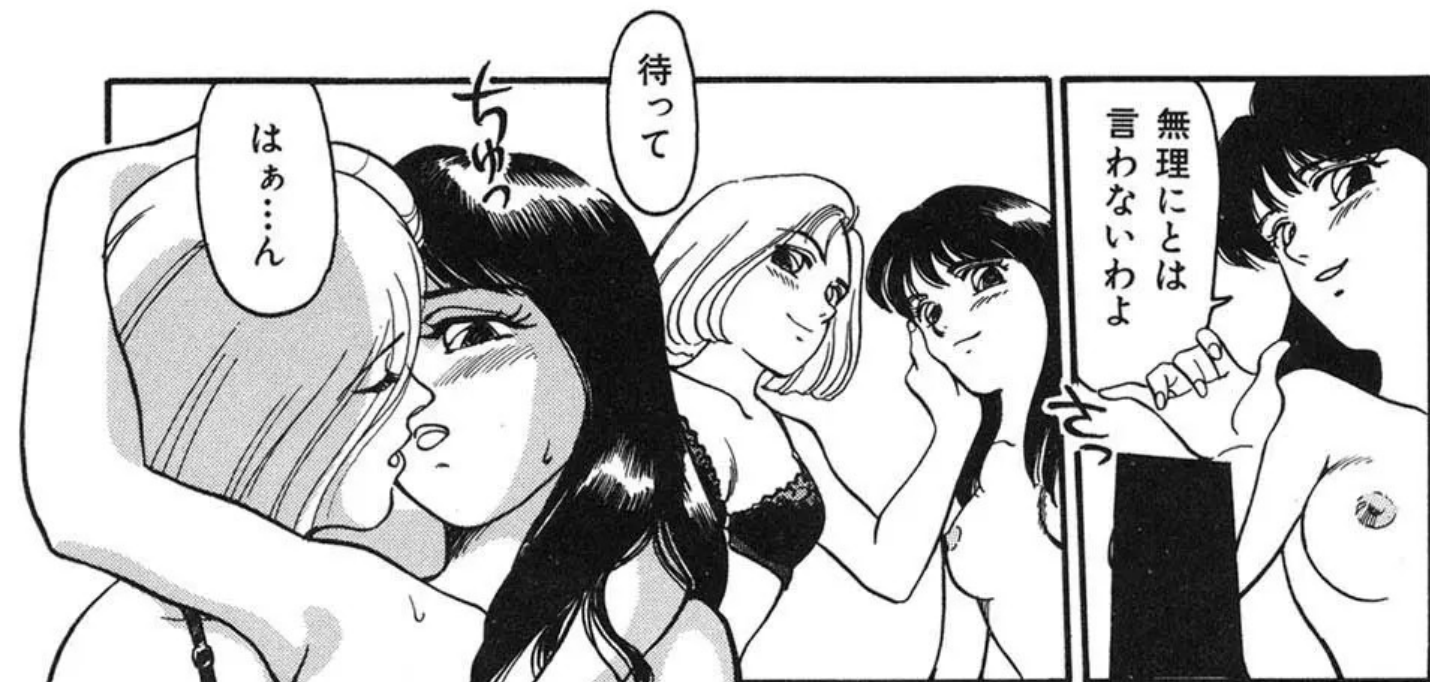




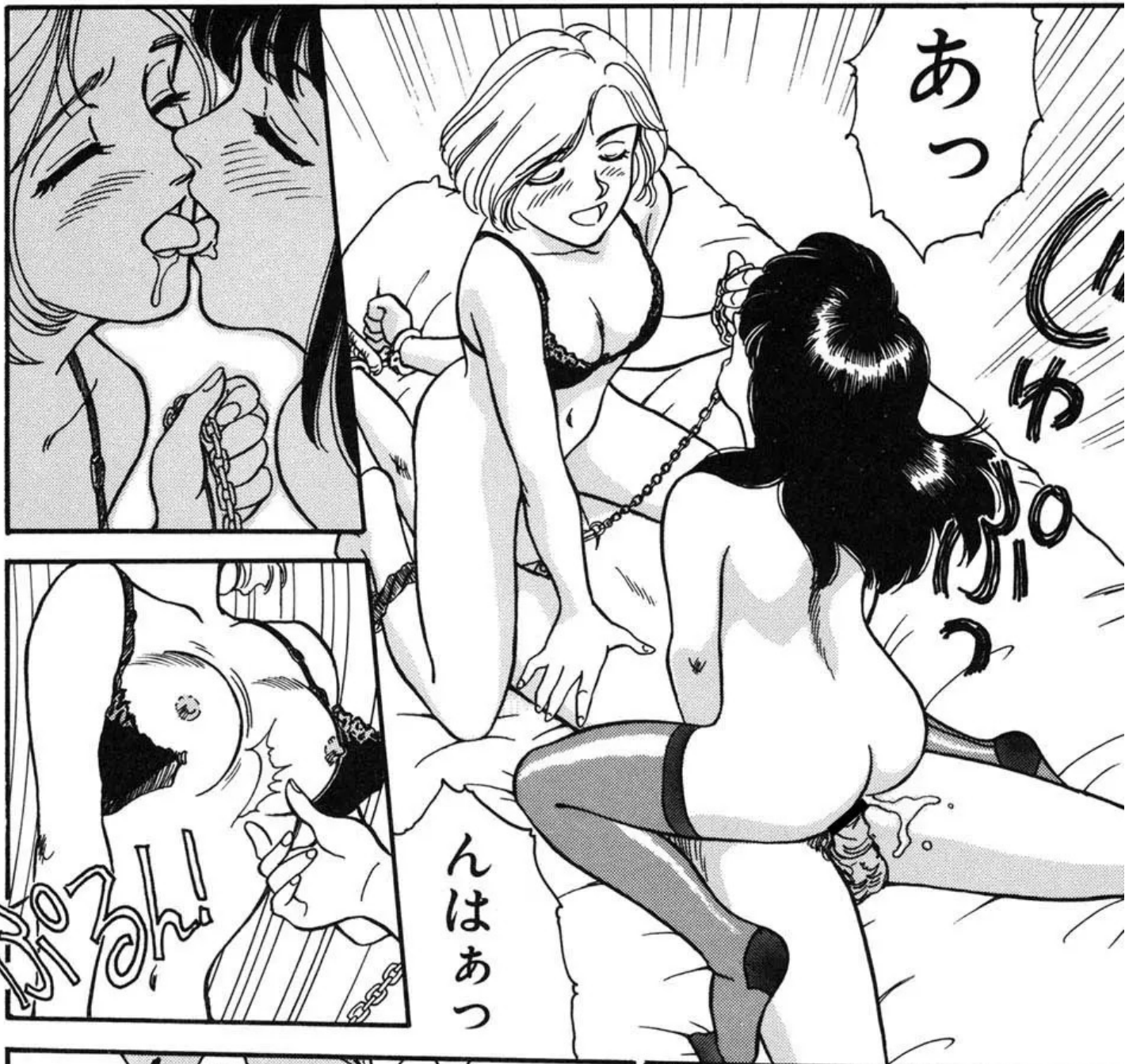


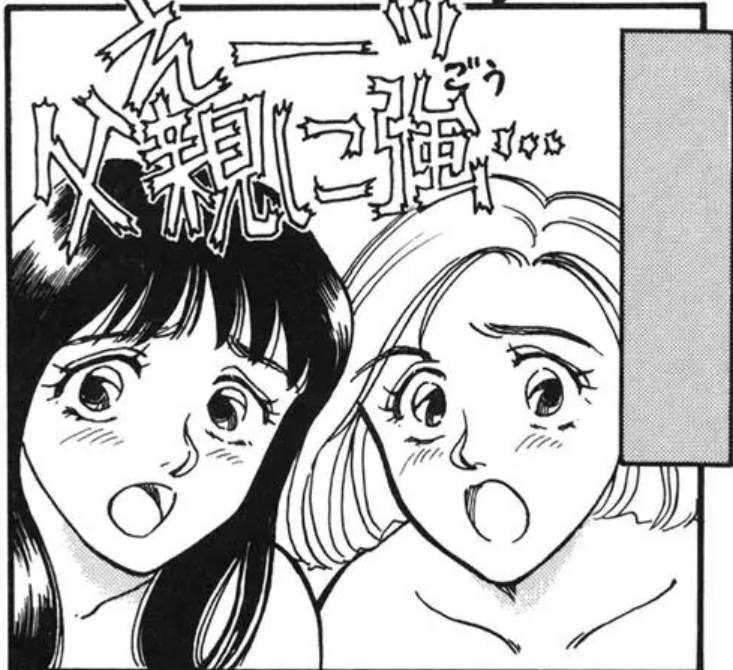
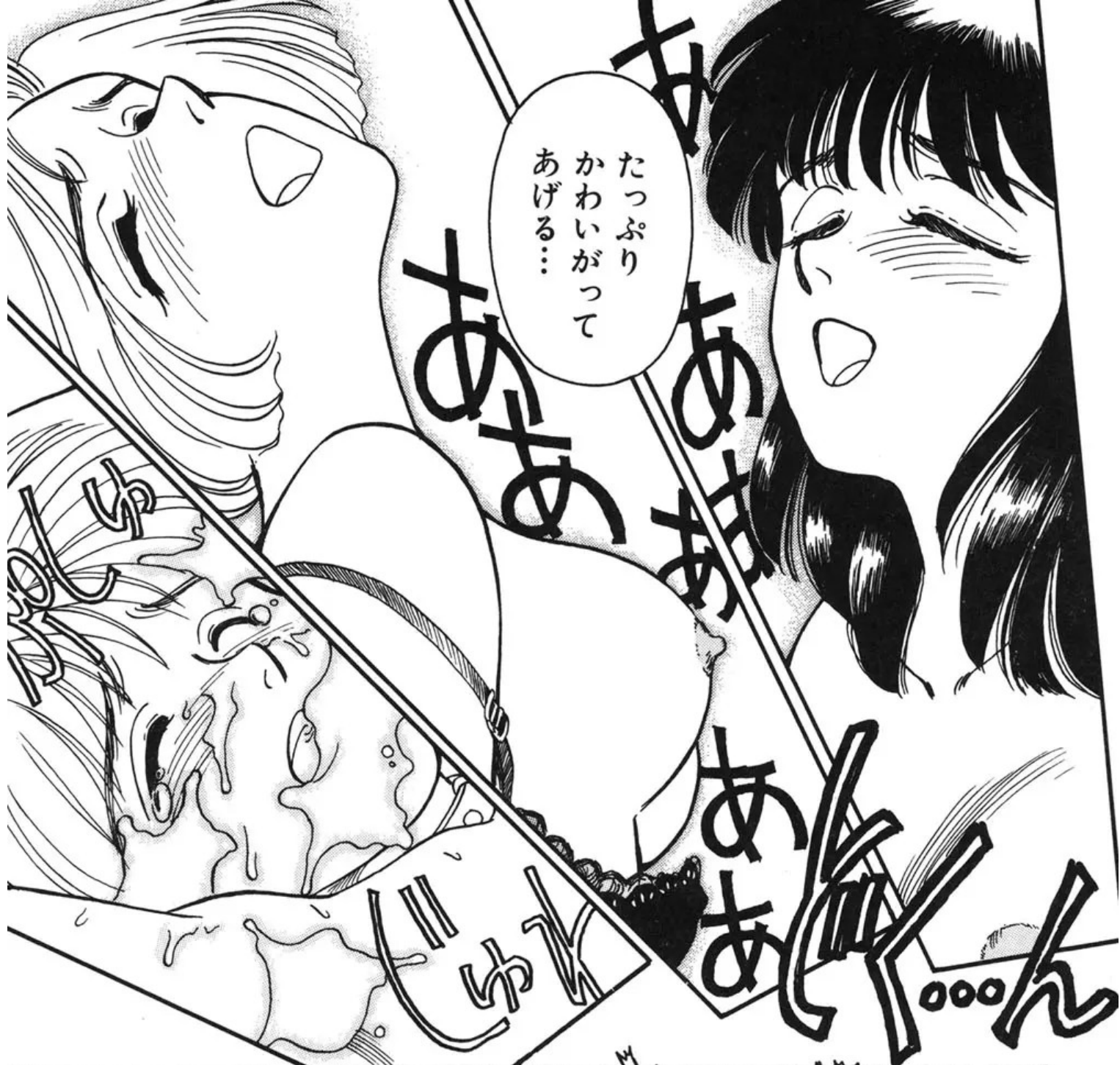


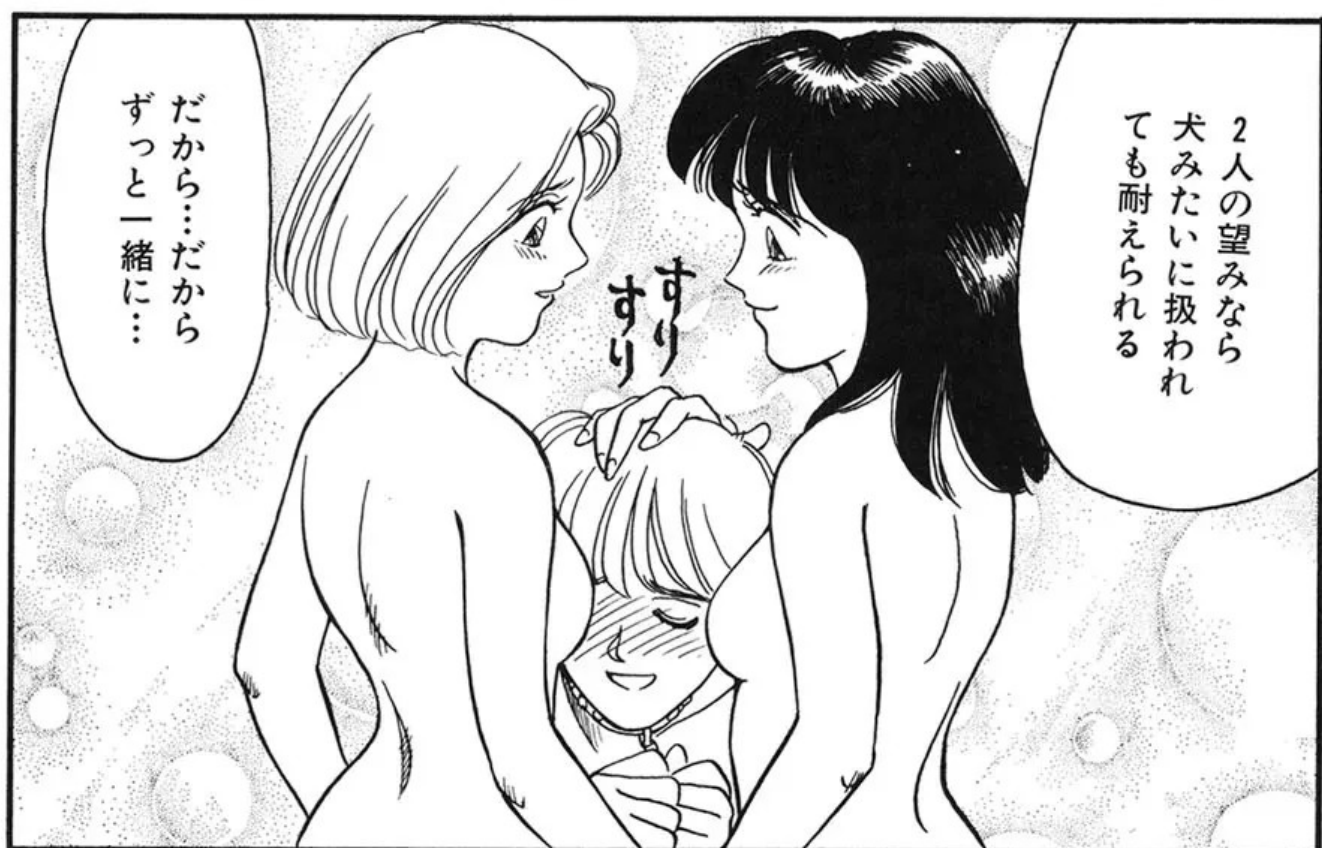












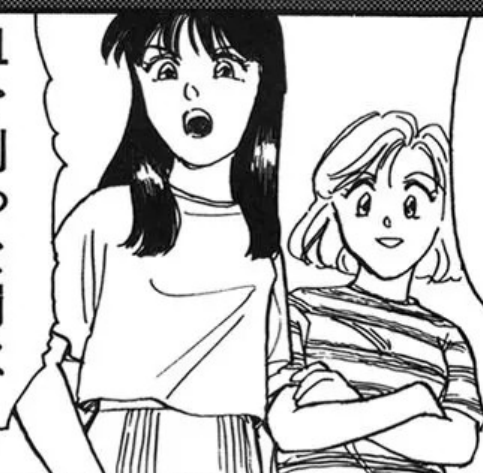




はい...

ぞくう

血を割った罰は
あとで与えるわ!



まっそれは
それとして

MY LIFE AS A DOG 2







お先に失礼
します

おつかい

康也君で
確かお姉さん
2人と同居...

うんまあ
家庭の事情
てやつ

ちゃんと祝って
もらえるんだ
誕生日

ちゃんと
かどーかは
ともかく一応...

それより

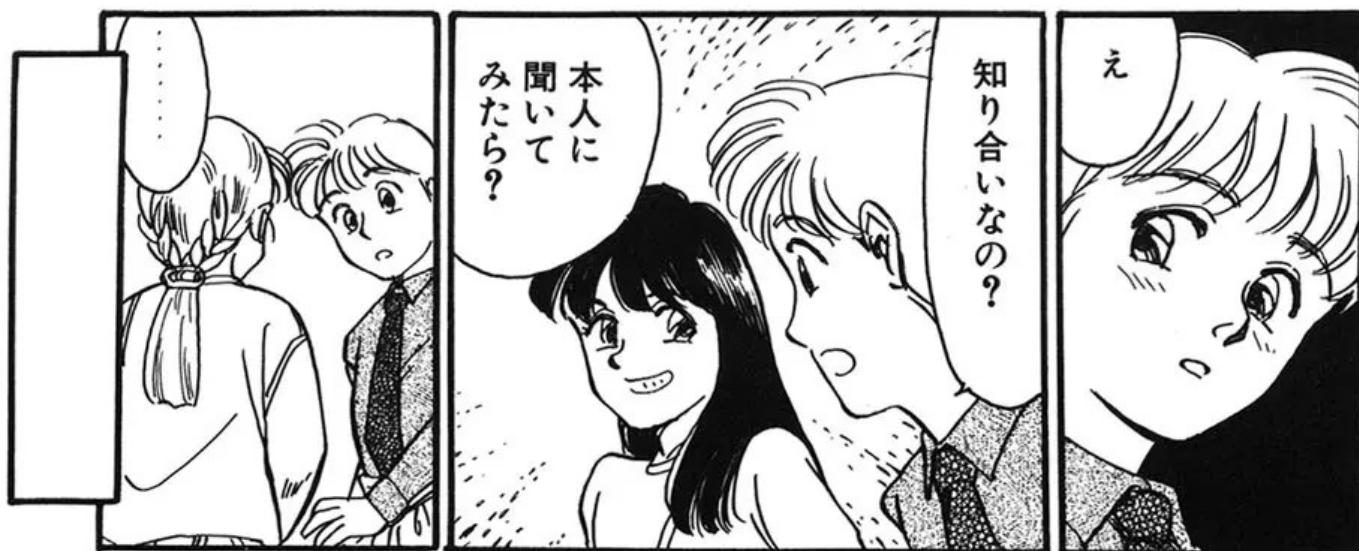
千恵ちゃんの
プレゼントが
一番うれしいよ

ともかく
一応?

あ、いや
その

あ、ちょっと
まがってる

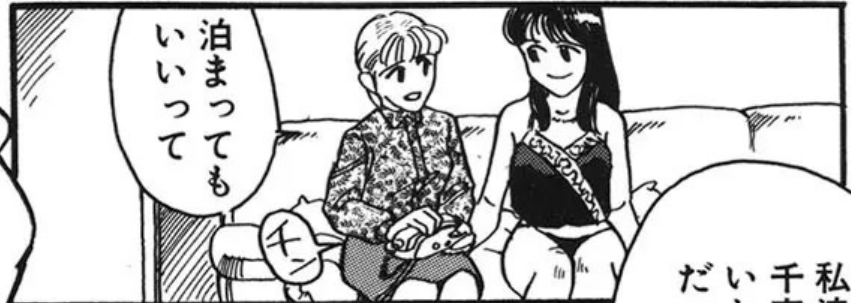
コメン





うん
大丈夫

じゃね

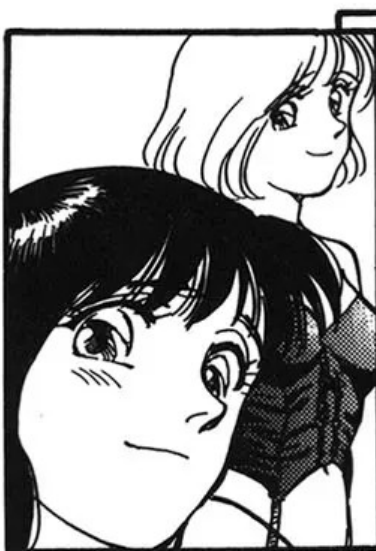


泊まっても
いいって

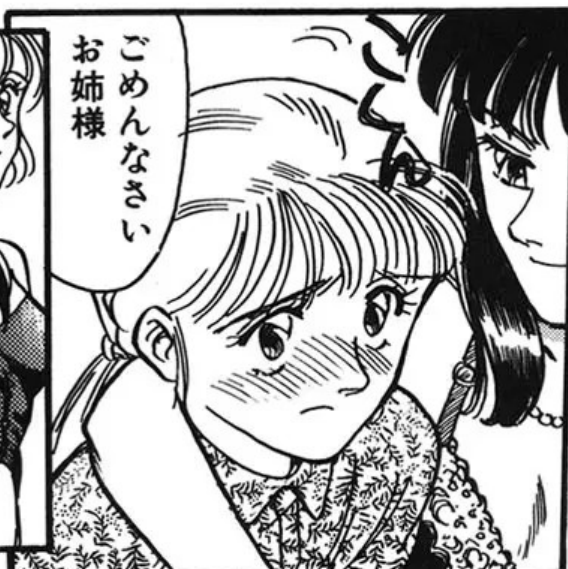
私達が女子高のとき
千恵は中等部でね：
いわゆるレズのペット
だったのよ



卒業以来会って
ないけど：
こういう形で
再会するとは
ねえ

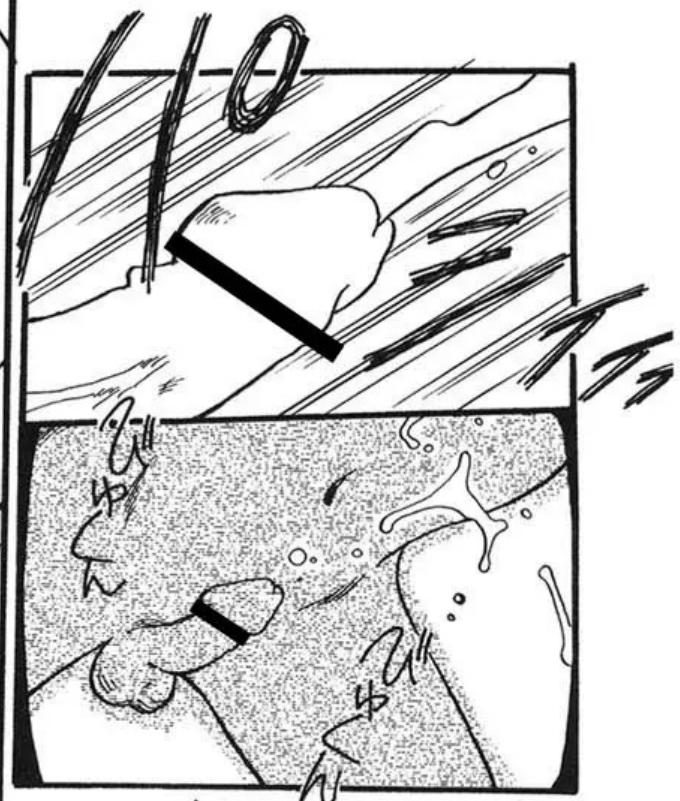


ごめんなさい
お姉様



千恵：
康也のこと
本当に好き？





さあ
命令して
ごらん

や…

康也くん
おねがい
な…なめて

ほら
大好きな
彼女の
命令よ

ああ…

キスもまだ
してないのに

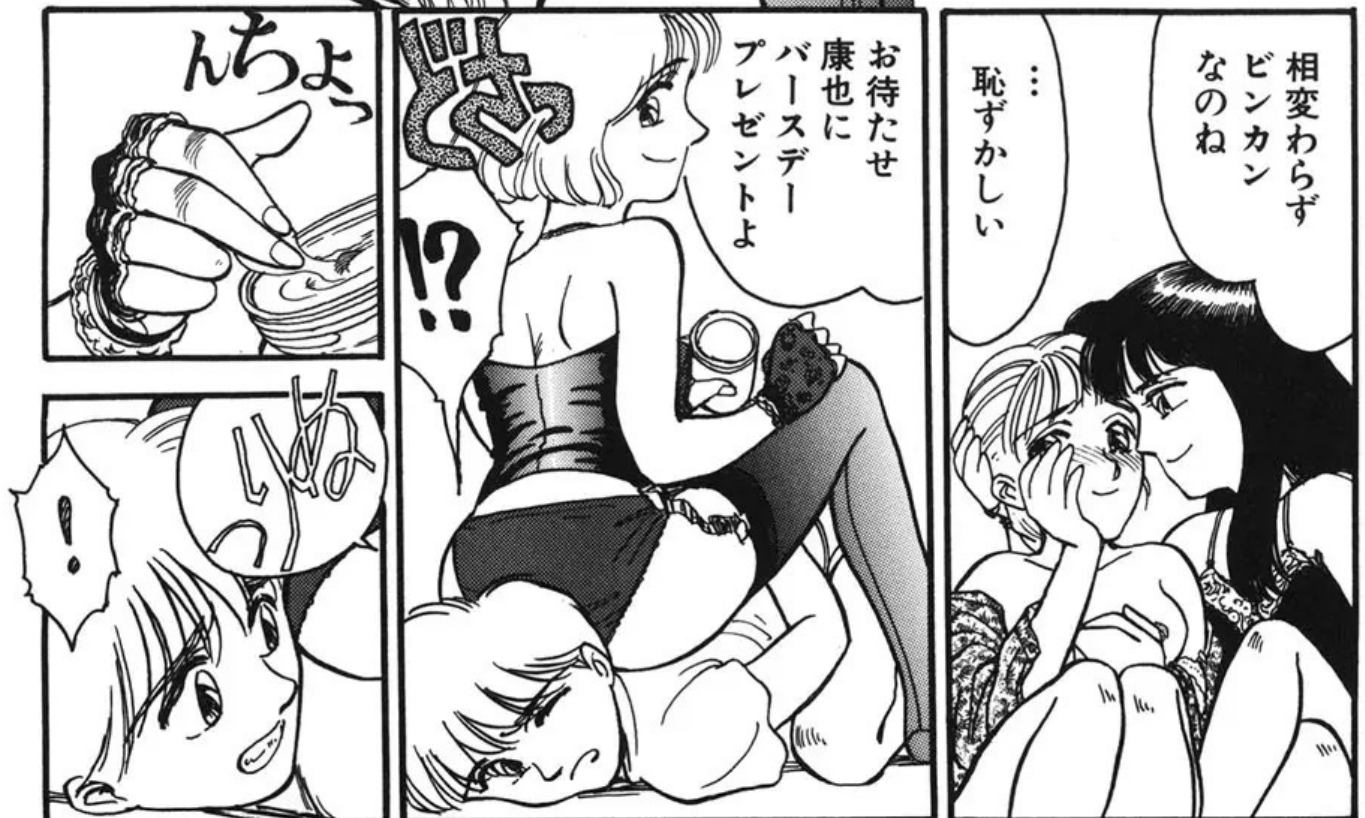
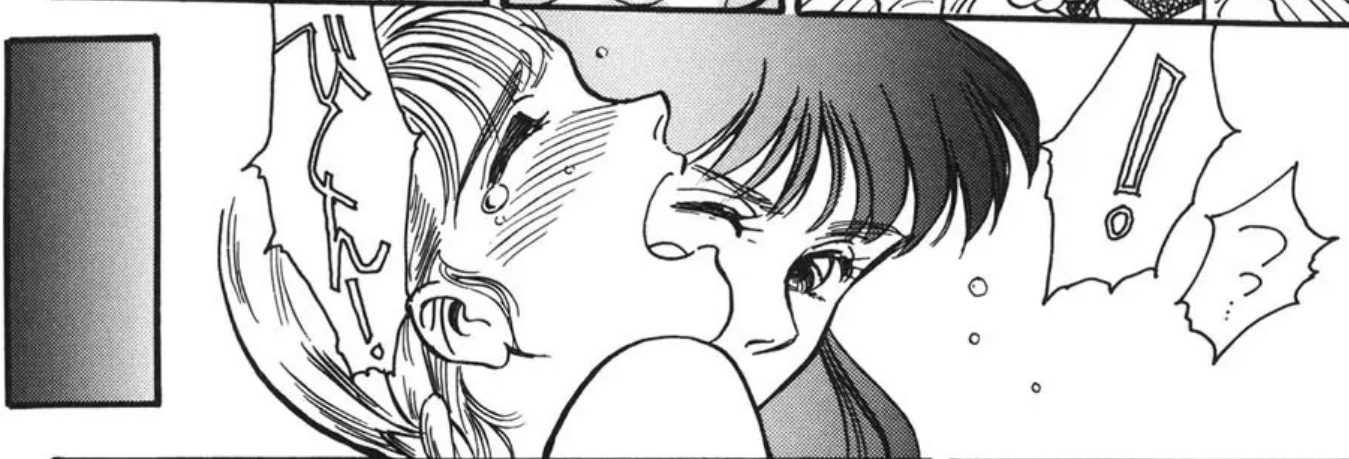
あっ

いいやっ
言わないで

エッチな
音ね

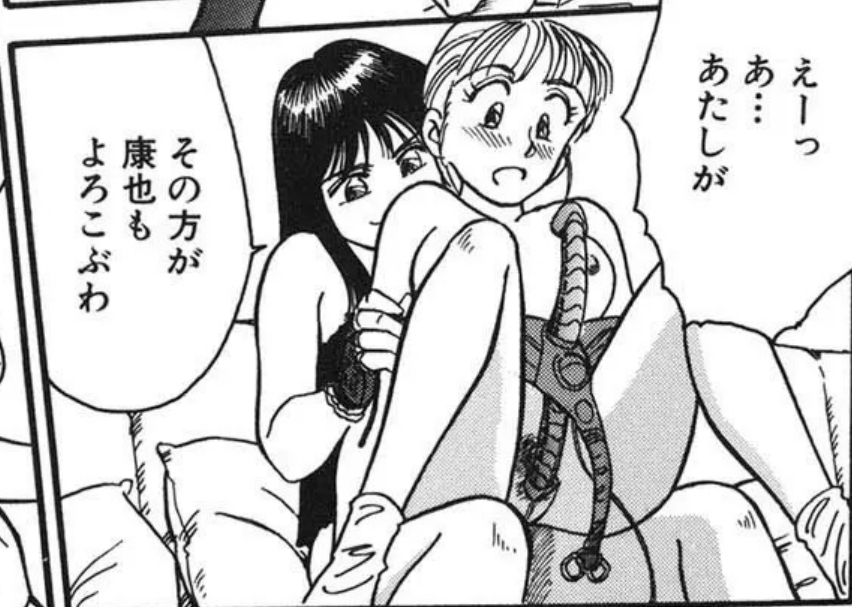
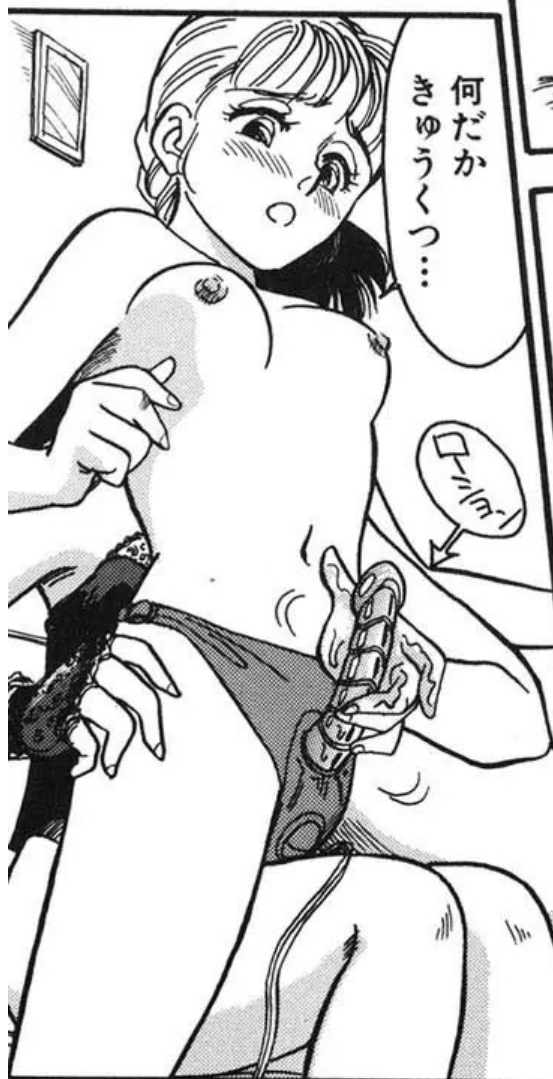
千恵ちゃんの
アソコ…

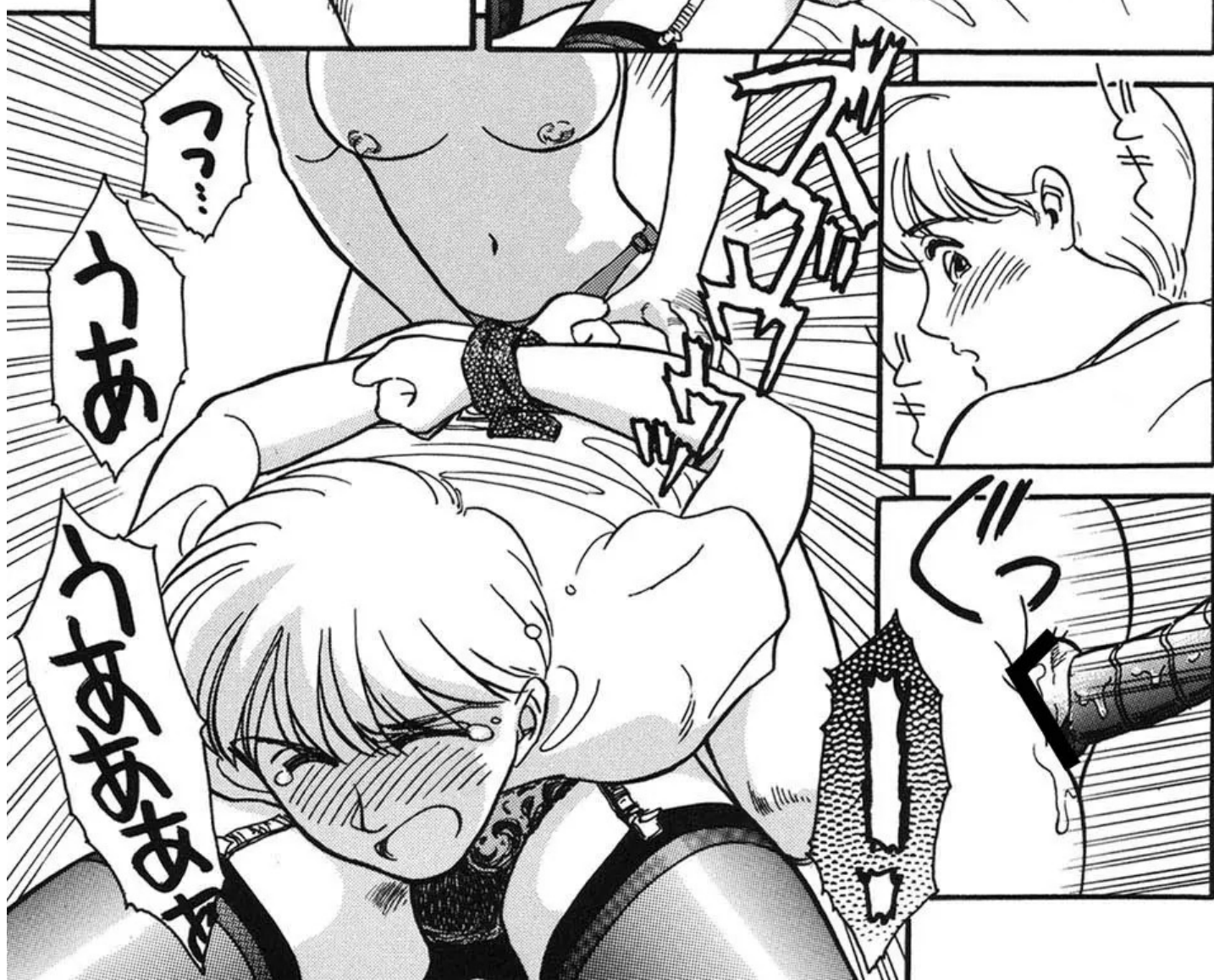
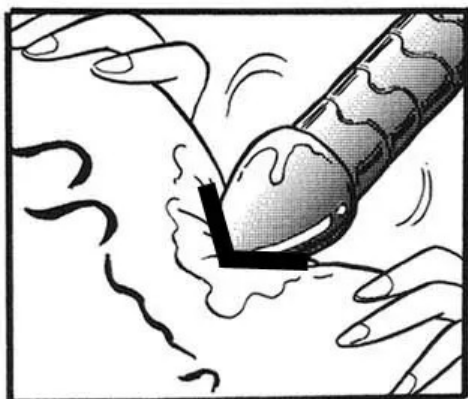
あったかい…

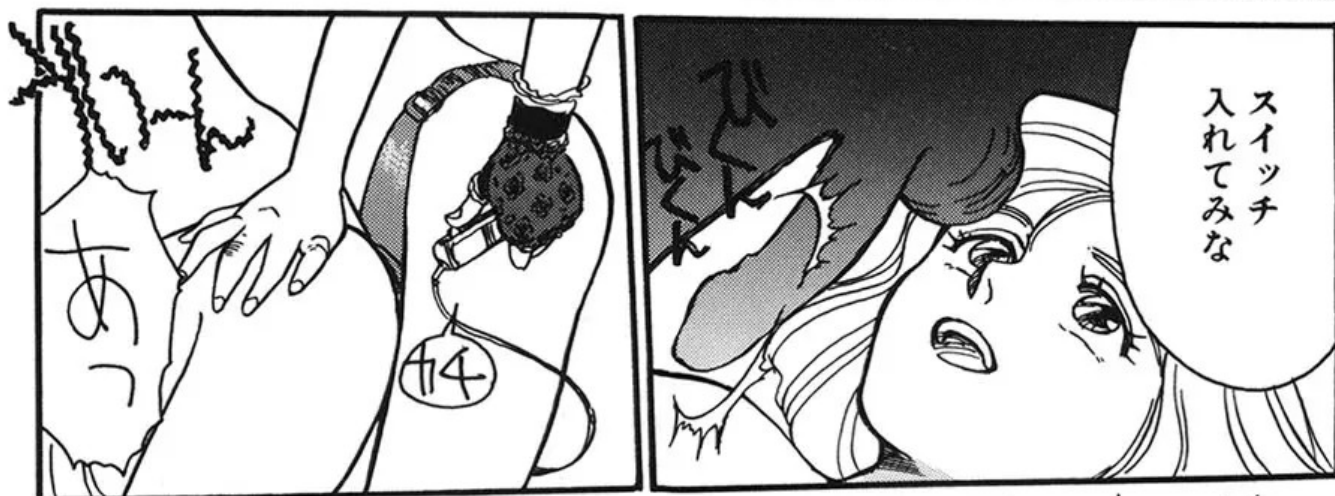




おとさんはバックは未だだ









C O N T E N T S

【初出一覧】

My Life As

A Chicken #1-----3
(1995年4月号)

A Chicken #2-----21
(1995年5月号)

A Chicken #3-----37
(1995年6月号)

A Chicken #4-----53
(1995年7月号)

A Chicken #5-----69
(1995年9月号)

A Chicken #6-----85
(1995年10月号)

A Chicken #7-----101
(1995年11月号)

A Chicken #8-----117
(1995年12月号)

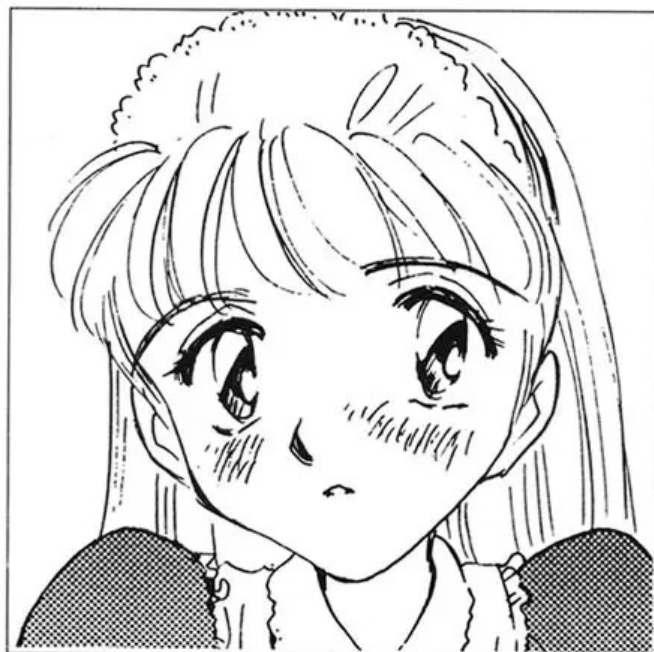
A Dog #1-----133
(『コミックロリポップ』1990年6月号<笠倉出版社>)

A Dog #2-----149
(『コミックロリポップ』1990年7月号<笠倉出版社>)

上記の月号で特記なきものは、『漫画ホ
ットミルク』の掲載月号を示します。



この度は、すえひろがり作品集[My Life As]をお買い上げ頂きありがとうございました。この作品を読まれた御感想・御意見がありましたら、次の住所までお送り下さい。〒171-8553 東京都豊島区高田3-7-11(株)コアマガジン ホットミルク編集部 [My Life As]係まで。皆様のお便りを心よりお待ちしております。



ホットミルクコミックスシリーズ85

My Life As①

1998年6月17日初版第1刷発行

1998年10月27日第2刷発行

著 者 すえひろがり ©Suehiro Gari 1998

装 丁 長谷川事務所

発行人 中沢慎一

編集人 長谷川浩靖

印刷／製版 三共グラフィック株式会社

発行所 〒171-8553 東京都豊島区高田3-7-11
電話(03)5950-5100

株式会社 コアマガジン

無断複写・複製・転載を禁じます。
乱丁・落丁本はおとりかえします。